



DBMaster

エラー・メッセージ参照編

CASEMaker Inc./Corporate Headquarters

1680 Civic Center Drive
Santa Clara, CA 95050, U.S.A.

Contact Information:

CASEMaker US Division

E-mail : info@casemaker.com

Europe Division

E-mail : casemaker.europe@casemaker.com

Asia Division

E-mail : casemaker.asia@casemaker.com(Taiwan)

E-mail : info@casemaker.co.jp(Japan)

www.casemaker.com

www.casemaker.com/support

©Copyright 1995-2015 by Syscom Computer Engineering Co.

Document No. 645049-236203/DBM54J-M09302015-ERRO

発行日:2015-09-30

ALL RIGHTS RESERVED.

本書の一部または全部を無断で、再出版、情報検索システムへ保存、その他の形式へ転作することは禁止されています。

本文には記されていない新しい機能についての説明は、CASEMakerのDBMasterをインストールしてからREADME.TXTを読んでください。

登録商標

CASEMaker、CASEMakerのロゴは、CASEMaker社の商標または登録商標です。

DBMasterは、Syscom Computer Engineering社の商標または登録商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは、Microsoft社の商標または登録商標です。

UNIXは、The Open Groupの商標または登録商標です。

ANSIは、American National Standards Institute, Incの商標または登録商標です。

ここで使用されているその他の製品名は、その所有者の商標または登録商標で、情報として記述しているだけです。SQLは、工業用語であって、いかなる企業、企業集団、組織、組織集団の所有物でもありません。

注意事項

本書で記述されるソフトウェアは、ソフトウェアと共に提供される使用許諾書に基づきます。

保証については、ご利用の販売店にお問い合わせ下さい。販売店は、特定用途への本コンピュータ製品の商品性や適合性について、代表または保証しません。販売店は、突然の衝撃、過度の熱、冷氣、湿度等の外的な要因による本コンピュータ製品へ生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。不正な電圧や不適合なハードウェアやソフトウェアによってもたらされた損失や損害も同様です。

本書の記載情報は、その内容について十分精査していますが、その誤りについて責任を負うものではありません。本書は、事前の通知無く変更することがあります。

目次

1	はじめに	1-1
1.1	その他のマニュアル.....	1-2
1.2	字体の規則	1-3
2	ODBC応答コードの説明	2-1
2.1	SQLCA.....	2-1
3	警告メッセージ.....	3-1
3.1	警告メッセージ 41-98	3-1
4	一般エラー・メッセージ.....	4-1
4.1	エラーメッセージ 101 - 339	4-1
4.2	エラーメッセージ 401 - 861	4-14
4.3	エラーメッセージ 902 - 972	4-29
4.4	エラーメッセージ 1002 - 1119	4-40
4.5	エラーメッセージ 1201 - 1335.....	4-56
4.6	エラーメッセージ 1401 - 2406	4-70
4.7	エラーメッセージ 3001 - 3909	4-79

4.8	エラーメッセージ 4001 - 4015.....	4-119
4.9	エラーメッセージ 5001 - 5391.....	4-124
4.10	エラーメッセージ 5502 - 5518.....	4-164
4.11	エラーメッセージ 5601 - 5642.....	4-168
4.12	エラーメッセージ 6002 - 6020.....	4-179
4.13	エラーメッセージ 6101 - 6199.....	4-186
4.14	エラーメッセージ 6201 - 6344.....	4-221
4.15	エラーメッセージ 6345 - 6370	4-271
4.16	エラーメッセージ 6501 - 6599.....	4-281
4.17	エラーメッセージ 6600-6667	4-315
4.18	エラーメッセージ 6802-6890.....	4-335
4.19	エラーメッセージ 7102-7123.....	4-367
4.20	エラーメッセージ 7401-7499.....	4-374
4.21	エラーメッセージ 7501-7555.....	4-375
4.22	エラーメッセージ 7701-7719.....	4-395
4.23	エラーメッセージ 8001-8077	4-402
4.24	エラーメッセージ 8100-8300.....	4-415
4.25	エラーメッセージ 8325-8349.....	4-431
4.26	エラーメッセージ 8401-8410.....	4-440
4.27	エラーメッセージ 9150-9899.....	4-443
5	中止エラー・メッセージ.....	5-1
5.1	中止メッセージ 10105-18065.....	5-1
6	切断エラー・メッセージ.....	6-1
6.1	切断メッセージ 20901-21012.....	6-1
6.2	切断メッセージ 21521-25350.....	6-6

7	クラッシュ・エラー・メッセージ.....	7-1
7.1	クラッシュメッセージ 30001-30017	7-1

1 はじめに

DBMasterのエラーメッセージ参照編へようこそ。DBMasterは、強力かつ柔軟なSQLデータベース管理システム (DBMS) です。会話型構造の問い合わせ言語(SQL)、Microsoftのオープンデータベース結合(ODBC) 互換インタフェース、およびC 言語対応組込みSQL (ESQL/C) をサポートします。唯一の公開アーキテクチャーであるODBCインタフェースは、多種多様なプログラミングツールを使用して顧客アプリケーションを構築し、既存のODBC-適合アプリケーションを用いてデータベースに問い合わせることを可能にします。

DBMasterは、シングルユーザーの個人データベースから、企業全体に分散するデータベースまでに容易にスケール化することができます。どのようなデータベース構成を選択しても、重要データの安全性は、DBMasterのセキュリティ、整合性、信頼性の先進的機能によって確実に保証されます。広範なクロスプラットフォームのサポートは、現在あるハードウェアの性能を高め、需要の変化に応じてより強力なハードウェアに拡大し、グレードアップすることを可能にします。

DBMasterは、優れたマルチメディア処理機能を提供し、あらゆるタイプのマルチメディアデータを保存、回収、操作を可能にします。バイナリラージオブジェクト(BLOB) は、DBMasterの先進的セキュリティと損傷リカバリ機能を全面的に利用して、マルチメディアデータの整合性を確実にします。ファイルオブジェクト(FO) は、マルチメディアデータを管理する一方で、既存のアプリケーションで各ファイルを編集できる機能を保持します。

本書は、DBMasterのデータベース・エンジンを使って、DBMasterのアプリケーションを使用する方、或いはその開発者の方に向けて書かれました。本書の中のエラーとそのメッセージは、DBMaster アプリケーション・ツールを使用する時や、DBMasterベースのアプリケーションを開発する時、或いはDBMasterで開発したインハウスのアプリケーションを使う際に遭遇するかもしれないものです。

本書では、DBMasterを使用する際に遭遇するかもしれないエラーとメッセージについての情報について説明します。この情報は6つのセクションに分かれています。各セクションには、特定の種類のエラーを掲載しています。6つのセクションは、情報メッセージ、警告メッセージ、一般メッセージ、中止エラー・メッセージ、切断エラー・メッセージ、障害エラー・メッセージです。

本書のエラーによっては、SQL文やODBCアプリケーション・プログラムのインターフェース、ESQL/CのようにDBMasterとは直接関係無い場合もあります。本書を参照編として利用して、エラー・メッセージを理解し、適切な方法で問題を解決して下さい。

1.1 その他のマニュアル

DBMasterには、本マニュアル以外にも多くのユーザーガイドや参照編があります。特定のテーマについての詳細は、以下の書籍をご覧ください。

- DBMasterの能力と機能性についての概要は、「*DBMaster入門編*」を参照して下さい。
- DBMasterの能力と機能性についての概要は、「*DBMaster入門編*」をご覧ください。
- DBMasterの設計、管理、保守についての詳細は、「*データベース管理者参照編*」をご覧ください。
- DBMasterの管理についての詳細は、「*JServer Managerユーザーガイド*」をご覧ください。

- DBMasterの環境設定についての詳細は、「*JConfiguration Tool*参照編」をご覧ください。
- DBMasterの機能についての詳細は、「*JDBA Tool*ユーザーガイド」をご覧ください。
- DBMasterで使用しているdmSQLのインターフェースについての詳細は、「*dmSQL*ユーザーガイド」をご覧ください。
- Java クエリツールについての詳細は「*Java*クエリツールユーザガイド」をご覧ください。
- DBMasterで採用しているSQL言語についての詳細は、「*SQL文と関数*参照編」をご覧ください。
- ESQLプログラムについての詳細は、「*ESQL/C*プログラマー参照編」をご覧ください。
- ODBCとJDBCプログラムについての詳細は、「*ODBC*プログラマー参照編」と「*JDBC*プログラマー参照編」をご覧ください。
- ネイティブDCI APIについての詳細は、「*DCI*ユーザーガイド」をご覧ください。
- SQLストアードプロシージャにIについての詳細は、「*SQL*ストアードプロシージャ参照編」をご覧ください。

1.2 字体の規則

本書は、標準の字体規則を使用しているので、簡単かつ明確に読むことができます。

斜体	斜体は、ユーザー名や表名のような特定の情報を表します。斜体の文字そのものを入力せず、実際に使用する名前をそこに置き換えてください。斜体は、新しく登場した用語や文字を強調する場合にも使用します。
太字	太字は、ファイル名、データベース名、表名、カラム名、関数名やその他同様なケースに使用します。操作の手順においてメニューのコマンドを強調する場合にも、使用します。
キーワード	文中で使用するSQL言語のキーワードは、すべて英大文字で表現します。
小さい 英大文字	小さい英大文字は、キーボードのキーを示します。2つのキー間のプラス記号(+)は、最初のキーを押したまま次のキーを押すことを示します。キーの間のコンマ(,)は、最初のキーを放してから次のキーを押すことを示します。
注	重要な情報を意味します。
➤ プロシージャ	一連の手順や連続的な事項を表します。ほとんどの作業は、この書式で解説されます。ユーザーが行う論理的な処理の順序です。
➤ 例	解説をよりわかりやすくするために与えられる例です。一般的に画面に表示されるテキストと共に表示されます。
➤ コマンドライン	画面に表示されるテキストを意味します。この書式は、一般的にdmSQLコマンドやdmconfig.iniファイルの内容の入/出力を表示します。

2 ODBC応答コードの説明

2.1 SQLCA

実行された各SQLコマンドのステータスコードはSQLCA（SQL Communication Area）に返されます。DBMasterはこのデータ構造に含まれる変数を使って、Cプログラムにステータス情報を送信します。Cプログラムでは、問題がないかどうか、情報が分析、処理されます。データベースサーバからのステータス情報はSQLCAから返送されます。データを分析し、エラーや警告は、アプリケーションプログラムによって処理されます。SQLCAのステータスコードを調べて、エラーや警告を処理するようアプリケーションプログラムに指示するには、2つの方法があります。それには、Cコードでコマンドを作成するか、SQL、WHENEVERコマンドを使ってCコードの前処理の間にエラー処理を行うようにできます。

☞ 例

SQLCA構文定義：

```
#define MAX_ERR_STR_LEN 256
/*-----
 * SQLCA - the SQL Communications Area (SQLCA)
 *-----*/
typedef struct sqlca
{
  unsigned char sqlcaid[8]; /* the string "SQLCA " */
  long sqlcabc; /* length of SQLCA, in bytes */
```

```
long sqlcode; /* SQLstatus code */
long sqlerrml; /* length of sqlerrmc data */
unsigned char sqlerrmc[MAX_ERR_STR_LEN]; /* name of object cause error */
unsigned char sqlerrp[8]; /* diagnostic information */
long sqlerrd[6]; /* various count and error code */
unsigned char sqlwarn[8]; /* warning flag array */
unsigned char sqlext[8]; /* extension to sqlwarn array */
} sqlca t;
#define SQLCODE sqlca.sqlcode /* SQL status code */
#define SQLWARN0 sqlca.sqlwarn[0] /* master warning flag */
#define SQLWARN1 sqlca.sqlwarn[1] /* string truncated */
```

DBMasterのエラー、警告、その他のコードはsqlca.sqlerrd[0]に保存されます。取り込んだ行数はsqlca.sqlerrd[3]に保存されます。FETCH記述に複数の行を取り込むと、それらの行を参照できます。詳しくは、の「エラーおよびメッセージリファレンスガイド」を参照してください。

SQLCODE	MEANING
SQL SUCCESS or 0	Success
SQL ERROR or -1	Error
SQL NO DATA FOUND or 100 condition	No rows satisfied the search
SQL_SUCCESS_WITH_INFO or 1	Warning

表 2-1 サンプルコード

3 警告メッセージ

この章では、DBMaster使用中に発生するかもしれない警告メッセージを全て紹介しています。警告メッセージは、トランザクションの実行状態が正常でないものの、既に何らかの内部アクションが取られていることを意味します。警告メッセージによっては、特に何もする必要はありませんが、トランザクションを完了するために、トランザクションの修正やデータベースの設定が必要な場合もあります。

3.1 警告メッセージ 41-98

ERROR 41

ODBC Return Code	SQL_NO_DATA_FOUND
ODBC SQLState	01000
Warning Message	タプルはこれ以上ありません
引数	無し
解説	SQLFetch()コマンドを実行しましたが、結果セットにフェッチするレコードがもうありません。

ERROR 43

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000

Warning Message	作動中のトランザクションが取消されました
引数	無し
解説	データベースから切断する際に、最後のトランザクションがアボートされた、又はデータベースが終了された、他のトランザクションを強制的にアボートしています。この警告は、データベースが自動コミット・オフで走行しているときに強制的にトランザクションをアボートすることによって発生します。以下のようなアクションは、強制的にトランザクションをアボートします
対策	データベースから切断する前に、COMMIT WORK文を出します。 データベースを終了する前に、他の接続ユーザーに作業をコミットしてデータベースから切断するように通知します。

○ 例

COMMIT WORK文を出さずに、アクティブ・トランザクションをデータベースから切断します。自動コミット・オフのデータベースを切断すると、全てのアクティブ・トランザクションはアボートされます。

ERROR 44

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	一時表はロックできません
引数	無し
解説	ロックすることができるのは、永久表だけです。

○ 例

```
CREATE TEMPORARY TABLE t1 (c1 int, c2 int);  
LOCK TABLE t1 IN SHARE MODE;
```

一時表を作成し、その表をロックしようとした。ロックできるのは永久表のみです。PC上のシングルユーザー・モードの場合は、一時表をロックしようとしても警告メッセージは出ません。

ERROR 45

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	前回のバックアップ・モードにリストアされます
引数	古いバックアップ・モード
解説	このエラーはユーザーが完全バックアップを実行し、そのバックアップをアボートしようとする時に発生します。オンライン完全バックアップ中にバックアップモードが変更されましたが、バックアップは完了前にアボートされました。バックアップがアボートされると、データベースをバックアップ開始前の状態に戻して整合性を保ちます。バックアップモードは、バックアップ開始前の元のモードに戻されます。
対策	これは設計仕様です。この警告メッセージは単なるユーザーの心覚え用です。

ERROR 46

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	ローデバイスに生成されたシステム表領域は拡張できません。

引数	無し
解説	初期設定のシステム表領域は拡張可能ですが、既存のデータベースはローデバイスとして初期設定システム・ファイルが指定されています。ローデバイスは拡張できません。

ERROR 47

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	整合性チェックでエラーが見つかりました
引数	無し
解説	整合性チェック中にエラーが見つかりました。出力エラーに従って問題を解決します。データベースに不整合があります。ディスク障害のようなハードウェア障害が原因かもしれません。
対策	CASEMaker社の製品サポート員に相談してください。

ERROR 52

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	存在しないプロセスを実行しようとしています
引数	無し
解説	リソースを待機しているデータベース処理を試みました。しかしながら、その処理はもう存在しません。別のユーザーが削除したかもしれません。このエラーはその処理を試みたユーザーへの警告に過ぎ

ません。

ERROR 53

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	正常にジャーナルファイルをロールオーバーしましたが、さらにジャーナルファイルが必要です
引数	無し
解説	ロールオーバーの際に、入力したバックアップ・ジャーナル・ファイルのサイズは、リストア処理するための前回のジャーナル・ファイルのものではありません。追加のジャーナル・ファイルが必要です。リストア処理に提供するジャーナル・ファイルがもうない場合は、前回のジャーナル・ファイルの状態までリストアします。

ERROR 54

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	ロールオーバーのためのバックアップ・ジャーナルファイルを開けません
引数	ファイル名
解説	ロールオーバー処理の際、入力したバックアップ・ジャーナル・ファイルを開くことができません。問題を解決して、ロールオーバーを再処理します。

ERROR 55

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
------------------	-----------------------

ODBC SQLState	01000
Warning Message	ロールオーバーのためのバックアップ・ジャーナルファイルを読み込めません
引数	ファイル名
解説	ロールオーバー処理の際、入力したバックアップ・ジャーナル・ファイルを読み込むことができません。問題を解決して、ロールオーバーを再処理します。

ERROR 56

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	バックアップのジャーナルファイルに有効なジャーナル状態ブロック(JSTS)がありません
引数	ファイル名
解説	ロールオーバー処理の際、入力したバックアップ・ジャーナル・ファイルは無効です。不正なジャーナル・ファイルを指定したかもしれません。アーカイブされたジャーナル・ファイルのいくつかの内容が無効であるか、連番になっていません。問題を解決して、正しいジャーナル・ファイルを与えます。
対策	別の有効なジャーナル・ファイルを指定します。 或いは、ジャーナル・ファイルの問題を解決してから再指定します。

ERROR 57

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
------------------	-----------------------

ODBC SQLState	01000
Warning Message	ジャーナルファイルのバックアップIDが順番どおりになっていません
引数	ファイル名と必要なバックアップID
解説	ロールオーバー処理の際、入力したバックアップ・ジャーナル・ファイルIDが連番になっていません。不正なジャーナル・ファイルを指定したかもしれません。問題を解決し正しいジャーナル・ファイルを指定します。

ERROR 58

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	バックアップされたジャーナル・ファイルを閉じることはできません
引数	ファイル名
解説	OSエラーのためにジャーナル・ファイルを閉じることができないので、ロールオーバーを実行する際にエラーが起きました。エラーを解決してからロールオーバーを再処理します。

ERROR 59

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	ジャーナルファイルの順番が正しくありません
引数	ファイル名と必要なジャーナル・ファイルの通常の番号

解説	クラッシュしたジャーナルファイルの一つが、ロールオーバーを行うための正しい順序になっていません。
対策	クラッシュしたジャーナルファイルを正しい順序で指定します。

ERROR 60

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	ロールオーバー用のジャーナル・ファイルが足りません
引数	クラッシュ・ジャーナルファイルの有効な番号
解説	ロールオーバーするために十分なクラッシュ・ジャーナルファイルがありません。
対策	データベースにN個のジャーナルファイルがあるときは、N個のクラッシュ・ジャーナルファイルを指定する必要があります。正しい数（N個）のクラッシュ・ジャーナルファイルを指定しなければ、無効な入力となります。

ERROR 61

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	バックアップ用のジャーナルファイルのサイズが無効です
引数	ファイル名、必要なファイルのサイズ
解説	ロールオーバー処理の際、入力したバックアップ・

ジャーナル・ファイルのエントリが正しくありません。間違ったジャーナル・ファイルを使用している可能性があります。正しいジャーナル・ファイルで再度指定します。

ERROR 62

ODBC Return Code	SQL_NO_DATA_FOUND
ODBC SQLState	01000
Warning Message	カラムからこれ以上のデータが得られません
引数	無し
解説	SQLGetData()でデータを得ようとしたましたが、カラムにはもうデータがありません。

ERROR 63

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01004
Warning Message	違う型からの変換なので、データが切り捨てられました
引数	無し
解説	データ型を異なるデータ型に変換しようとした際に、データの一部が切り捨てられました。

➡ 例

DECIMALデータ型のデータ「123.44」をINTEGERデータ型に変換すると「123」になります。

ERROR 64

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
------------------	-----------------------

ODBC SQLState	01004
Warning Message	バッファ不足のためデータが切り捨てられました
引数	無し
解説	データを取得/代入しようとしたが、バッファが小さすぎます。

⇒ 例

サイズが1000文字のデータを代入しようとしたが、バッファのサイズが1000文字未満です。

ERROR 66

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01S02
Warning Message	オプション値が変更されました
引数	無し
解説	オプション値が変更されていますが、古い値を使用しました。
対策	次のカーソルで新しい値を使用します。

⇒ 例

カーソルのオープンで最大の行の値をセットするために、SQL_ATTR_MAX_ROWS属性と共に、SQLSetStmtAttrが使用された場合、ドライバはこの警告を返します。

ERROR 67

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01006

Warning Message	指定されたユーザーはDBA権限を持っていないため、DBA権限を取り消すことができません
引数	無し
解説	DBA権限のないユーザーからDBA権限を取り消そうとする際に当該エラーが戻されます。

⇒ 例

```
REVOKE DBA FROM user1;
```

user1はDBA権限がありません。

ERROR 68

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01006
Warning Message	指定されたユーザーがRESOURCE権限を持っていないため、RESOURCE権限を取り消すことができません
引数	無し
解説	ユーザーはRESOURCE権限を持っていないユーザからその権限を取り消しようとする際に、当該エラーが戻されます。

⇒ 例

```
REVOKE RESOURCE FROM user1;
```

user1はRESOURCE権限がありません。

ERROR 69

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01006

Warning Message	指定されたユーザーがこの権限を持っていないため、取消することができません
引数	sel del alter index ins upd ref
解説	sel/del/alter/index/ins/upd/refの権限がないユーザーから、それらの権限を取り消そうとしました。

⇒ 例

```
REVOKE INSERT ON t1 FROM user1;
```

user1はINSERT権限がありません。

ERROR 70

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	バックアップ・サーバーが起動されません、 SETSYSTEMOPTION('BKSVR','1')を通じて起動してください
引数	無し
解説	ジャーナルが一杯になりバックアップ・サーバーが呼ばれましたが、バックアップ・サーバーが応答しません。ジャーナルが一杯でバックアップ・サーバーが呼ばれた時、DBMasterはバックアップサーバーがシステムに存在しないことを見つけます。この警告は、バックアップモードとバックアップ・サーバーの両方がONのときに発生します。
対策	ジャーナルファイルが一杯になった時に、手動でバックアップを取ります。 或いはデータベースを終了し、データベースとバックアップ・サーバーを再起動します。

ERROR 71

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	ライブラリのロード時に、ライブラリ・ファイルが見つからないか無効な関数が見つかりました
引数	無し
解説	データベースの作成、起動、接続時にライブラリ・ファイルが見つからないので、関数ライブラリをロードすることができません。

ERROR 72

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	満杯になったジャーナル・ファイルのみがバックアップされます
引数	無し
解説	コンパクト・バックアップと増分バックアップが循環しています。

ERROR 73

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	データベースはすでにユーザーがセットしようとしているバックアップ・モードになっています
引数	無し
解説	無し

ERROR 74

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01007
Warning Message	指定されたユーザーはすでにこの表に対する全権限を持っています
引数	UID
解説	全てのオブジェクト権限を有するユーザーに、新たに権限を与えようとした。

☞ 例

```
GRANT ALL ON t1 TO user1;
```

user1には、既に表t1の全権限があります。

ERROR 75

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01007
Warning Message	指定したユーザーはすでにこれらの権限を持っています
引数	UID、SEL DEL ALTER INDEX INS UPD REF
解説	オブジェクトに指定した権限を既に有するユーザーに、新たにその権限を与えようとした。

☞ 例

```
GRANT SELECT TO user1;
```

user1には、既にSELECT権限があります。

ERROR 76

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
------------------	-----------------------

ODBC SQLState	01007
Warning Message	指定したユーザーはすでに存在しています
引数	無し
解説	既にCONNECT権限のあるユーザーに、新たにCONNECT権限を与えよう(ユーザー作成)とする際に当該エラーが戻されます。

例

```
GRANT CONNECT TO user1;
```

user1は既にデータベースに存在します。

ERROR 77

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01007
Warning Message	DBA権限はすでに当該ユーザーに与えられました
引数	無し
解説	DBA権限を持つユーザーにDBA権限を与える際に当該エラーが戻されます。

例

```
GRANT DBA TO user1;
```

user1は既にDBA権限があります。

ERROR 78

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01007
Warning Message	RESOURCE権限はすでにユーザーに与えられました

引数	無し
解説	RESOURCE権限を持つユーザーにRESOURCE権限を与える際に当該エラーが戻されます。

☞ 例

```
GRANT RESOURCE TO user1;
```

user1は既にRESOURCE権限があります。

ERROR 79

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	dmconfigファイルに無効な値があります
引数	無し
解説	dmconfig.iniに無効な値があります。
解決	無し

☞ 例

接続タイム (DB_LTIMO) を-5に設定すると、データベース接続時にこのメッセージが表示されます。(有効値： -1~65535; 初期設定値： 5)

ERROR 81

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	無効の定義を持っているビューをロードしようとして しました
引数	無し
解説	無効なビューをロードしようとしてしました。

例

```
CREATE TABLE t2 (c1 int);
CREATE VIEW v1 AS SELECT * FROM t2 WHERE c1 IN (SELECT * FROM t1);
ALTER TABLE t1 ADD c2 int;
UNLOAD db TO TTT;
DISCONNECT;
CREATE db db2 LOAD db FROM TTT;
```

ビュー作成後にt1を修正することで、表t1の一部を基にしているそのビューは無効になります。

ERROR 82

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	ユーザーリストに重複した名前があります
引数	無し
解説	このエラーは、データベースやグループにユーザーを追加/削除しようとした際に、重複するユーザー名を指定した場合に起こります。

例

```
ADD user1, user1 TO GROUP g1;
REMOVE user1, user1 FROM GROUP g1;
```

ERROR 83

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	一般すぎる言葉が検索パターンに含まれています。
引数	無し
解説	いくつかの高頻度で使われる言葉が検索パターンに

	含まれています。
--	----------

ERROR 84

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	BLOBはすでに削除されました
引数	無し
解説	このエラーはread uncommittedの分離レベル設定下でBLOBデータを取得しようとしたときに発生します。BLOBデータの処理保持中にデータが削除されました。

ERROR 85

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	このBLOBはロールオーバー後に切り捨てられたので、データに誤りがあるかもしれません
引数	無し
解説	データベースでBLOBデータのバックアップを設定していません。データベースをリストアする時、BLOBデータは切り捨てられ、そのサイズは0になります。

ERROR 86

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	ファイル・オブジェクトのロード：ファイルが存在

	しません。指定した場所にファイルがあるかどうかを確認してください
引数	ファイル名
解説	データベースにデータをロードしようとしてしました。データにFILEデータ型があり、指定した場所にその物理ファイルが存在しません。

ERROR 87

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	一部ACL設定が存在しません
引数	設定
解説	破棄しようとしているACLの設定がありません。

ERROR 88

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	トランザクションに更新がないので、直接コミットします
引数	無し
解説	コミット準備中に、トランザクションに全く更新が無い場合、DBMasterはトランザクションを直接コミットします。呼出し側は再びトランザクション・コミット文を出す必要がありません。

ERROR 89

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
------------------	-----------------------

ODBC SQLState	01000
Warning Message	GTRECOサーバーが起動できません
引数	無し
解説	dmconfig.iniファイルを開いて、DD_GTITV環境設定値を変更することができません。無効な値のため、グローバル・トランザクション・リカバリ・デーモンを起動できません。

ERROR 90

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	指定されたデーモンが存在していません
引数	デーモンの名称
解説	シングルユーザーモードで SETSYSTEMOPTION('bksvr', '1')をコールする場合、 バックアップサーバーは起動していない際に当該エラーが戻されます。 すなわち、SETSYSTEMOPTION('stsvr', '1')をコールする場合、更新統計サーバーが起動されていません； SETSYSTEMOPTION('idxsv', '1')をコールする場合、インデックスサーバーが起動されていません。

ERROR 91

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	シングルユーザー・モードではデーモンを起動でき

	ません
引数	無し
解説	無し

ERROR 92

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	データベースが壊れている可能性があります。データベース整合性チェックを実行してください。
引数	無し
解説	統計更新の際に、データベースの破壊が表示されました。データベース整合性チェック(DBCC)を実行して、エラーをチェックして下さい。

ERROR 93

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01S01
Warning Message	行セットの操作でエラーが見つかりました
引数	無し
解説	SQLSetPos()の操作中に行セットのある行でエラーがありました。

ERROR 94

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	I/Oサーバーが起動できません

引数	無し
解説	無効な環境設定値によって、I/Oデーモンを起動することができません。DMERROR.LOGでこのエラーを見つけることができます。以下の原因で、I/Oデーモンを起動することができません。 dmconfig.iniを開けない。 DB_IOITV、DB_IOBUF、DB_IOSCAの値が無効。 データベース・サーバーが起動できない。
対策	dmconfig.iniファイルをチェックします。

ERROR 95

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	非同期表レプリケーションのログ・データが書き込めません
引数	実際のエラー
解説	非同期レプリケーションのログ・データを書き込むことができません。実際のエラーは引数にあります。主サイトの操作を中止することはできません。

ERROR 96

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	増分バックアップ或いは差分バックアップを行う前に新たなオンライン完全バックアップが必要です
引数	無し

解説	データベース起動の際の警告です。有効なオンライン完全バックアップがありません。或いは何らかの操作により以前の完全バックアップが無効になっています。又、バックアップ・モードがONになっています。増分バックアップを行う前に、有効な完全バックアップを作成します。
----	--

ERROR 97

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	戻り値がNULLで、チェック用の変数がありません
引数	n番目の出力カラム
解説	ESQLプログラムの中の間合せの際、戻り値がNULLであるのに関わらず、NULL情報を取得するための出力変数の後にインジケータ変数がありません。

例

```
EXEC SQL select c1,c2 from t1 where c3 = 100 into :c1, :c2;
```

c1かc2がNULLの場合、この警告が発生します。この警告を避けるには、以下のようにコードを記述し、宣言セクションで整数でインジケータ変数を宣言します。

```
EXEC SQL select c1, c2 from t1 where c3 = 100 into :c1 :ind1, :c2 :ind2;
```

ERROR 98

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01000
Warning Message	環境初期化とデーモン終了に失敗しました
引数	デーモン名

解説

OSエラーのために、DBMasterデーモンを起動/終了することができません。

4 一般エラー・メッセージ

この章では、DBMasterの一般的なエラー・メッセージについて説明します。一般的なエラー・メッセージは、予期せぬ状態によってトランザクションの実行が終了したことを示します。エラーの原因は、エラー・メッセージに表示されます。トランザクションを完了するために、エラーに応じてトランザクションやデータベースの設定を修正します。

4.1 エラーメッセージ 101 - 339

ERROR 101

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	オブジェクトを挿入する領域が足りません
引数	データ/BLOBファイル
解説	ディスクが一杯なので、拡張表領域にオブジェクトを挿入するスペースがありません。このエラーは、標準表領域が一杯になった場合にも発生します。
対策	表領域に新規データファイルを追加します。 表領域に新規BLOBファイルを追加します。 システム管理者と相談して、データベースで使用するためにディスク領域を開けるかストレージを追加

	します。
--	------

☞ 例

例1：データレコードを挿入しようとしたましたが、表領域の全てのデータファイルが一杯です。

例2：BLOBレコードを挿入しようとしたましたが、表領域の全てのBLOBファイルが一杯です。

例3：BLOBレコードを挿入しようとしたましたが、表領域にBLOBファイルがありません。

例4：使用可能なディスク容量がシステムに残されていません。

ERROR 115

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スキーマが存在しません、無効なスキーマ名です
引数	無し
解説	存在しないスキーマ、または無効なスキーマ名を指定するときに、このエラーが返されます。

☞ 例

例1：スキーマs1が存在しないとき、スキーマs1に表t1を作成しようとした。

例2：スキーマs1が存在しないとき、スキーマs1の消去を試みました。

ERROR 116

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	スキーマはすでに存在しています
引数	無し
解説	同じ名前を持つ他のスキーマが存在しているときにスキーマを作成しようとする、このエラーが返されます。

ERROR 117

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	オブジェクトを含むスキーマを削除することはできません
引数	オブジェクト名、つまり、表、シノニムまたはドメインなど。
解説	スキーマオブジェクトを含むスキーマの削除を試みているときに、このエラーが返されます。
対策	スキーマからスキーマオブジェクトを削除し、スキーマを削除してください。

ERROR 303

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なオフセットからBLOBデータをフェッチしようとしています
引数	無し
解説	オフセット値が0以下、又はBLOBデータのサイズより大きいです。

ERROR 304

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBバッファのサイズが無効です
引数	無し
解説	入力BLOBバッファのサイズが0より小さいです。或いはファイルオブジェクトのファイル名をフェッチするために使用する文字列全体を保存するに足る十分なサイズがありません。

ERROR 305

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOB OIDが無効です
引数	無し
解説	エンジンの関数がBLOBにアクセスする際に無効なBLOB OIDを使用しました。これは、削除または存在しないBLOBにアクセスしたり、不正なBLOB OIDの形式を使用するなどによるものです。

ERROR 308

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOB pe入力が無効です
引数	無し
解説	割り当てたBLOBフレームを取得しようとしてしました

	が、そのBLOBは無効なBLOB PEエントリに属します。不正なフレームを含んだBLOBファイルは損傷しています。
--	---

ERROR 309

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBフレームOIDが無効です
引数	無し
解説	無効なフレームOIDを使って、次のDIR1フレーム、DIR2フレーム、DATAフレームを取得しようとした。そのOIDは不正なフレームから来ているかもしれません。不正なフレームを含んだBLOBファイルは損傷しています。

ERROR 310

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBフレームに無効なuTim2があります
引数	無し
解説	ディスクからフレームを読み込む際に、異なるタイプスタンプの画像がありました。これはこのフレームが完全なものではないことを意味します。不正なフレームを含んだBLOBファイルは損傷しています。

ERROR 311

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBフレームのタイプが無効です
引数	無し
解説	BLOBフレームを読み込みましたが、フレームがDIR1、DIR2、DATAフレームではありません。不正なフレームを含んだBLOBファイルは損傷しています。

ERROR 312

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBフレームのヘッダが無効です
引数	無し
解説	ディスクからBLOBフレームを読み込みましたが、フレームのデータ構造が正しくありません。BLOBファイルに不正なフレームのため損傷しています。

ERROR 315

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	サーバー上にユーザー・ファイルが存在しません
引数	ファイル名
解説	このエラーは、ユーザー・ファイル・オブジェクトにリンクし、サーバーが対応する外部物理ファイルを見つけれない時に発生します。リンク操作は、ファイル・オブジェクトの挿入、更新、削除の際に発生します。

ERROR 316

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DB_USRFO = 0の場合、ユーザー・ファイル・オブジェクトにリンクできません
引数	DB_USRFO
解説	セキュリティ上の理由で、ユーザーのファイル・オブジェクトの更新ができません。環境設定ファイルのDB_UsrFoキーワードは、ユーザー・ファイル・オブジェクトの設定を切り替えます。
対策	データベースを終了し、dmconfig.iniファイルにキーワードDB_USRFO = 1を指定し、ユーザー・ファイル・オブジェクトを利用可能にします。データベースを再起動して、再度SQL文を実行します。

例

外部ファイルをファイル・オブジェクトとしてデータベースにリンクしようとしたが、dmconfig.iniのファイル・オブジェクト設定がOFFになっています。

ERROR 317

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザー・ファイル・オブジェクトのパスが絶対パスではありません
引数	ファイル・オブジェクトのパス
解説	相関ディレクトリの代わりに絶対ディレクトリを使います。

ERROR 318

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル・オブジェクトの物理ファイルが見つかりません
引数	ファイル名
解説	ファイル・オブジェクト名を修正する前に、新しい名前の物理ファイルを用意します。

ERROR 319

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル・オブジェクトの物理ファイルがファイルではなくディレクトリとなっています
引数	ファイル名
解説	ファイル・オブジェクトは、ディレクトリにリンクできません。

ERROR 320

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル・オブジェクトの読み取り許可が得られません
引数	ファイル名
解説	データベース・サーバーは、読み込み許可が無いファイル・オブジェクトを外部物理ファイルにリンク

しようしました。

ERROR 321

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル・オブジェクト名が最大長を超えています
引数	ファイル名
解説	外部物理ファイル名のサイズが長すぎてファイル・オブジェクトとして保存することができません。

ERROR 322

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルにファイル・オブジェクトのディレクトリがないので、ファイル・オブジェクトを挿入できません
引数	DB_FODIR
解説	システム・ファイル・オブジェクトの挿入操作を使用可能にしようしましたが、システム・ファイル・オブジェクトがあるFOディレクトリにDB_FoDirキーワードがセットされていません。

ERROR 325

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル名が無効です（ファイル名の最後に/が付いています）

引数	無し
解説	/をファイル名の最後に付けることはできません。

ERROR 326

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SYSFILEOBJのカタログにターゲットのファイル・オブジェクトがすでに存在しています
引数	ターゲットのファイル名
解説	ファイル・オブジェクトを移動する際、新しいファイル名が既にカタログに存在します。

ERROR 327

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBカラムがまだ開かれていない、或いは生成されていません
引数	無し
解説	データにアクセスする際に、まず一時BLOBファイルを作成するか、次の処理のハンドルを取得するために既存のBOLBを開く必要があります。

ERROR 328

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBカラムのオフセット値が無効です

引数	無し
解説	入力引数が間違った検索型、又は新しいオフセットがBLOBデータの範囲外です。DBMasterには3つの検索の種類があります。現位置+オフセット、開始位置+オフセット、終了位置+オフセットです。

ERROR 330

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このBLOBはオープンされている状態ではありません
引数	無し
解説	ユーザーがオープンしていないBLOBを読み込もうとしました。BLOBファイルは、オープンした状態の時のみ読み込むことができます。

ERROR 331

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このBLOBは生成されている状態ではありません
引数	無し
解説	書き込むためのBLOBファイルが作成されていません。

ERROR 332

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	BLOBオブジェクトはクローズされていません
引数	無し
解説	ユーザー定義関数BLOBの一般インターフェースで、ユーザー定義関数の一般インターフェースから戻る前に、ユーザーがオープンした、又は作成したBLOBをクローズしませんでした。

ERROR 333

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データ・フォーマットの変換に一般エラーが発生しました
引数	無し
解説	マルチメディア・モジュールで使用されています。MS Wordを純粋なテキストに変換する際に多種のエラーがありました。これらのエラーは、全て同じエラーに関係します。

ERROR 334

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル・オブジェクトの別名が見つかりませんでした
引数	別名
解説	ファイル・オブジェクトにアクセスしようとした時に、システムに存在しない別名が使用されていました。

ERROR 335

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	別名の長さが最大サイズを超えています
引数	別名の長さ
解説	別名の長さは識別子の長さ(つまりLEN_DBID)を超 過することができません。

ERROR 336

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	別名が既に存在します
引数	別名
解説	使用しようとしている別名は既に他の別名によって 使用されています。

ERROR 337

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	blobデータが2Gを超えています
引数	無し
解説	処理しているblobデータのサイズは2Gを超えること はできません。

ERROR 339

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なダイナミックblob
引数	無し
解説	ダイナミックblobマークまたはjsonタイプが不足しています。

4.2 エラーメッセージ 401 - 861

ERROR 401

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	23000
Error Message	一意キーの制約違反
引数	索引OID
解説	一意索引を作成しようとした際にキーカラムに重複値が存在します。または一意索引のキーカラムに重複値を挿入しようとしています。
対策	これは設計仕様です。重複値をもつカラムの一意索引を作成することはできません。一意索引をもつカラムに重複値を挿入することもできません。これは一意索引の一種の定義です。

ERROR 402

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	カラム・リストに定義されているカラムと重複しています
引数	無し
解説	ci 呼び出しで、索引/外部キーを作成するか、重複したカラムIDを含んでいるカラム・プロジェクションに挿入/更新します。

ERROR 404

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーのOIDが無効です。ストレージが損傷しているかもしれません。
引数	無し
解説	エンジンの外部キー・カタログ・リンク・リストが損傷しています。

ERROR 408

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	23000
Error Message	外部キーが参照している索引は削除できません
引数	無し
解説	外部キーが参照している索引を削除しようとした。

例

```
table t1(c1)
unique index idx1 on t1(c1)
```

```
foreign key t2(c1) -> t1(c1)
drop table t1 or drop index idx1
```

ERROR 409

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	23000
Error Message	参照制約違反：キーはすでに外部表に参照されています
引数	無し
解説	キーに関係するレコードを削除/更新しようとしたが、そのキーは外部キーに参照されています。

⇒ 例

```
FK t1(c1) -> t2(c1 PK)
t1 has {1,2}
t2 has {1,2,3}
delete t2 where c1 = 1
```

ERROR 410

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	23000
Error Message	参照制約違反：親キーに値がありません
引数	無し
解説	レコードの挿入/更新時に、その影響を受ける新しいキーが外部キーの参照される表に存在しません。または、外部キーの作成時に、参照するキーのいずれかが参照される表に存在しません。

ERROR 411

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	カラム式にカラム名がありません
引数	無し
解説	インデックスを作成するカラム式には最低1つのカラム名が必要です。

☞ 例

```
create index idx1 on t1 (1);
```

ERROR 412

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	カラム式はBLOBデータ型を使用できません
引数	無し
解説	インデックスを作成するカラム式にはBLOB型を使用できません。

☞ 例

```
create index idx1 on t1 (SUBBLOB(c1, 3, 4));
```

ERROR 605

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルのバージョンが違います :
引数	データファイルのバージョン、ファイル自体のバー

	ジョン(ENGからの情報)
解説	データベースは、使用中のDBMasterとは別のバージョンで作成されました。2つのバージョンのデータベースファイル形式には互換性がありません。
対策	データベース作成時のDBMasterのバージョン、または互換性のあるファイル形式のバージョンを使用します。互換性の無いファイル形式のデータベースは、互換性のあるバージョンでデータベースをアンロードし、新しいバージョンで再ロードして使用します。ロードとアンロードの詳細については、「データベース管理者参照編」をご覧ください。DBMasterバージョンのファイル形式の互換性については、CASEMaker社の製品サポート員に相談してください。

ERROR 606

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バイト順が違います：
引数	システムのバイト・オーダー、データファイルのオーダー
解説	このエラーは、low/hiバイトシーケンス（big-endian/little-endian）が異なるCPUマシンで作成したデータベースを使用するときに発生します。
対策	元のマシンでデータベースをアンロードし、目的のマシンで新規データベースを作成し、データベースをロードします。

○ 例

Intel CPUマシンで作成したデータベースを、Motorola CPUマシンに移してデータベースを起動すると、このエラーメッセージが表示されます。

ERROR 607

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルに登録されているデータベース名と一致しません：
引数	データベース名
解説	起動しようとしているデータベース名がデータベース内部に登録されている名前と一致しません。オペレーティングシステムとdmconfig.iniのデータベース名を変更すると、このエラーが発生します。DBMasterは、作成したデータベース名を内部的に登録しているので、データベースは整合性の理由で起動しません。
対策	データベースをアンロードし、新しく使用する名前のデータベースを作成します。次に、アンロードしたデータベースを新規データベースにロードします。

ERROR 608

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DBファイルにあるシステム情報のページ・フォーマットが無効です：
引数	無し

解説	使用中のDBMasterとは別のバージョンで作成されたデータベースであり、データベースファイル形式が非互換です。
対策	データベース作成時のDBMasterのバージョンまたは互換性のあるファイル形式のバージョンを使用します。互換性の無いファイル形式のデータベースは、互換性のあるバージョンを使用してデータベースをアンロードし、新しいバージョンで再ロードして使用します。ロードとアンロードの詳細については、「データベース管理者参照編」を参照してください。DBMasterバージョンのファイル形式の互換性については、CASEMaker社の製品サポート員に相談してください。

ERROR 609

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナル・ファイル数(dmconfigファイルにある値)がシステム情報と一致しません
引数	2つのジャーナル・ファイル
解説	dmconfig.iniに指定されているジャーナル・ファイルの個数またはサイズがデータベースに記録されている情報と一致しません。整合性の理由でデータベースは起動しません。
対策	ジャーナルファイルの個数やサイズを変更するときは、新規ジャーナル・モードを使用します。新規ジャーナル・モードの詳細については、「データベース管理者参照編」を参照してください。

ERROR 610

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナル・ファイルのサイズ(dmconfigファイルにある値)がシステム情報と一致しません
引数	2つのサイズのジャーナル・ファイル
解説	データベース起動後に環境設定ファイルのジャーナル設定(DB_JNFIL)が正しくない。又は新しいジャーナルを作成しようとする時、そのファイルが新規ジャーナル・モードで起動していません。

ERROR 612

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	読み取り専用のテーブルスペースは更新できません
引数	無し
解説	読み取り専用のテーブルスペースは更新できません。

ERROR 613

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	更新中のテーブルスペースを読み取り専用に変更できません。テーブルスペースのすべてのトランザクションを終了してください

引数	無し
解説	更新操作が進行中のテーブルスペースは読み取り専用に変更できません。

ERROR 614

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	システムテーブルスペースは読み取り専用に変更できません
引数	無し
解説	システムテーブルスペースは読み取り専用に変更できません。

ERROR 615

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	インデックスは読み取り専用のテーブルスペース上に構築されます
引数	インデックスOID
解説	無し

ERROR 701

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーション用のサーバー(rp_send)が存在しません

引数	無し
解説	レプリケーションのソース・データベースにオンラインでrp_sendサーバー用のレプリケーション・パラメータをセットしようとしたましたが、そのサーバーが起動していません。

ERROR 702

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーション用のサーバー(rp_apply)が存在しません
引数	無し
解説	rp_rcvとrp_applyサーバーが、データベース・レプリケーションのターゲット側で共に作動しますが、rp_applyがまだ起動していません。

ERROR 703

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	サーバーのタイプが異なるので、レプリケーションできません
引数	無し
解説	ソース・レプリケーションとターゲット・データベースが、異なるバイトオーダーのマシンを使っています。データベース・レプリケーションは、同じバイトオーダーのマシンを使っている場合のみ有効です。

ERROR 704

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	RPLOGファイルのオープン又は生成ができません
引数	無し
解説	データベース・レプリケーションのログファイル(RP.LOG)を開く、又は作成することができませんでした。

ERROR 705

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	誤ったソース・サイトに接続しようとしています
引数	無し
解説	rp_rcvは、ソース・データベースではないデータベースからデータを受け取りました。

ERROR 706

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	rp_rcvが間違ったIDを持っているバックアップ・ファイルを受取りました
引数	無し
解説	この問題はバックアップ・ファイルを紛失したことにより発生します。rp_applyサーバーは、バックアップIDの順番どおりにターゲット・データベースにバ

	ックアップ・ファイルをリストアする必要があります。
--	---------------------------

ERROR 707

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バックアップ・サーバーが存在しないので、レプリケーション・サーバーの起動はできません
引数	無し
解説	rp_sendサーバーがバックアップ・サーバーと共に運用しようとした時に、バックアップ・サーバーが起動できませんでした。レプリケーションには両方のサーバーとも起動している必要があります。

ERROR 708

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バックアップモードは閉じる場合、複写サーバーが起動できません
引数	無し
解説	バックアップモードは閉じてrp_sendサーバーが運用できない場合、このエラーが返します。

ERROR 814

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続IDが無効です

引数	無し
解説	他のユーザーが接続を切断したか、存在しないセッションが切断されました。

ERROR 853

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	タイムアウトの値が無効です
引数	無効な値と有効なタイムアウト値の範囲
解説	不正なロックタイムアウト値がODBC 関数 SQLSetConnectOption() のパラメータに指定されました。
対策	ロックタイムアウトの初期設定値は5秒です。ロックタイムアウトの有効値の範囲は-1 ~ 2147483648です。-1を指定すると、ロックが解除されるまで待ちます（即ち、ロックタイムアウトを無効にします）。

ERROR 854

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルにあるページ数が無効です
引数	ファイル名、無効なnPageと有効な範囲
解説	dmconfig.iniファイルに、無効な数のファイル・ページが指定されているか、ファイルが無効な値に変更されました。ファイル・ページの有効な数は、3 ~ 2147483647です。

ERROR 855

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル・オブジェクトのディレクトリが絶対パスではないので無効です
引数	ファイル・オブジェクトのパス
解説	dmconfig.iniファイルのDB_FoDirキーワードの入力値が絶対パスではありません。

ERROR 856

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル・オブジェクトのディレクトリ長さが最大値を超えています
引数	ファイル・オブジェクト長
解説	ファイル・オブジェクトのパス名の長さが64バイトを超えています。

ERROR 857

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルに指定されているパスはディレクトリではありません
引数	環境設定ファイルのキーワード
解説	dmconfig.iniファイルのDB_FoDir/DB_SPDir/DB_SPLog/DB_BkDirのためのキ

ーワードがディレクトリではありません。

ERROR 858

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルのディレクトリに対する読み取り/ 書き込みの許可がありません
引数	環境設定ファイルのキーワード
解説	dmconfig.iniファイルの DB_FoDir/DB_SPDir/DB_SPLog/DB_BkDirのためのキ ーワード入力を修正しようとしてしました。

ERROR 859

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ディレクトリが存在しません
引数	環境設定ファイルのキーワード
解説	dmconfig.iniファイルの DB_FoDir/DB_SPDir/DB_SPLog/DB_BkDirキーワード に値が存在しません。

ERROR 860

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルのディレクトリに対する読み取り の許可がありません
引数	環境設定ファイルのキーワード

解説	dmconfig.iniファイルDB_FoDir / DB_SPDir/DB_SPLog/DB_BkDirのためのキーワード入力を読み込もうとしました。
----	--

ERROR 861

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	Blobフレームサイズをページサイズより小さく設定することはできません
引数	環境設定ファイルのキーワード
説明	Blob フレームサイズがページサイズより小さいときにエラーとなります

4.3 エラーメッセージ 902 - 972

ERROR 902

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースが中断されているか、まだ起動していません
引数	無し
解説	このエラーメッセージは、次の二つの状況で発生します。起動していないデータベースに接続しようとしてしました。或いは、START DB文を実行したがデータベースの起動が完了する前に接続しようとしたときもこのエラーが発生します。
対策	データベースの起動が完了するのを待ちます。或い

	はサーバープロセスを停止しデータベースを再起動します。
--	-----------------------------

➡ 例

データベースの起動とほとんど同時に別のユーザーがデータベースに接続しようとした場合です。起動操作が完了していないときは、2番目のユーザーがこのエラーメッセージを受け取ります。

UNIXのクライアント／サーバーモデルで、サーバを停止せずにサーバに割当てられている共有メモリを削除すると、サーバーに接続しようとする全てのクライアント・アプリケーションにこのエラーメッセージが返されます。

ERROR 903

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースはすでに起動しています
引数	無し
解説	ユーザーがデータベースを起動しようとしたましたが、既に起動しています。
対策	どのようなケースでも、アクティブ・セッションを見つけ、それを閉じます。

➡ 例

端末モードで、別のセッションが既にこのデータベースを起動しました。その他のセッションで再びそれを起動しようとしたました。

クライアント/サーバー・モードで、このデータベース・サーバー処理が既に起動しました。他のセッションが他のデータベース・サーバー処理を起動させようとしたました。

ERROR 905

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続はすでに他の処理によって中断されました
引数	無し
解説	無し

ERROR 907

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	自分自身の接続を中止することはできません
引数	無し
解説	ユーザーが自分の接続を中止しようとした。

ERROR 909

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08002
Error Message	データベースにすでに接続しています
引数	無し
解説	既に接続しているデータベースに更に接続しようとした。

ERROR 910

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	シングル・モードか接続ブロック・モードで起動しているデータベースに接続しようとした
引数	無し
解説	シングルユーザー・モードのサーバー・データベースに接続しようとした。（シングルユーザー・モードは、同じマシンにデータベースとクライアントが共存しています。

ERROR 918

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	この操作は実行できません： ユーザーのライセンス数を超えています
引数	無し
解説	ユーザーのライセンスが、ユーザーに認められた最大数に達しました。ライセンス数を超えたとき、DBA権限を持つユーザーのみがselect操作のような限られた操作を実行することができます。

ERROR 920

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ライセンスの使用期限が切れています
引数	無し
解説	DBMasterのデモ版で認められている使用期間が切れました(90日間)。(有効なユーザーが、試用版を使ってデータベースの古いバージョンを新しいバージョン

	ンにアップグレードしようとすることがあります が、試用版のライセンスを使っても、元のデータベ ースのほとんどは機能しません。)
対策	古いバージョンを使ってデータベースを起動しデー タベースをアンロードします。それから新しいバー ジョンのアプリケーションで新規データベースを作 成し、最後にそのデータベースをリロードします。 そのデータベースはそれから90日間使うことがで きます。

ERROR 921

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースのサイズはデモ版で利用できる最大値 を超えています
引数	無し
解説	データベースを作成/DBMasterのデモ版を使用すると き、ユーザーが作成しようとするデータベースのサ イズがデモ版で認められた最大サイズを超えまし た。

ERROR 922

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	デモ版ではファイルの生成ができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 923

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	デーモンの接続は中止できません
引数	無し
解説	デーモンの接続を切断しようとした。ユーザーはデーモン接続を切ることはできません。

ERROR 924

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	ロールバック処理中の接続を終了できません
引数	無し
解説	ロールバック処理中の関連付けられたトランザクションとの接続を終了することは許可されていません。

ERROR 952

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引又はソート・キーが最大値を超えています
引数	索引キーのサイズとシステム最大キー長(定数)
解説	キーのサイズが4000以上の索引を作成しようとした。又はオーダーの属性サイズが4000以上のORDER BYを作成しようとした。

ERROR 954

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	空でない表領域は削除できません
引数	無し
解説	表データが入っている表領域を削除しようとした。

ERROR 958

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ローデバースに拡張可能な表領域は作成できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 960

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ローデバースにあるファイルのサイズは変更できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 961

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	SERIALカラムはすでに存在しています
引数	無し
解説	既にSERIALカラムのある表に更に、SERIALカラムを追加しようとしてしました。

ERROR 962

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シリアル番号が最大値を超えています
引数	エラー
解説	SERIALカラムの値が最大値を超えています。

ERROR 963

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表領域のタイプはすでに非自動拡張となっています
引数	無し
解説	表領域の種類を変更しようとしてしましたが、その表領域は既にその種類にセットされています。

➡ 例

ユーザーが標準(非自動拡張)の表領域を、標準表領域に変更しようとしてしました。

ERROR 965

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	読取り専用のデータベースに対する操作は無効です
引数	無し
解説	読み込み専用モードで起動したデータベースで、挿入/削除/更新を実行しようとした。

ERROR 966

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SERIALカラムは存在していません
引数	無し
解説	SERIALカラムが無い表で、SERIALカウンタをリセットしようとした。
対策	必要であれば、表にSERIALカラムを追加します。

ERROR 967

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メモリ表を更新/削除できません
引数	無し
解説	メモリ表の削除または更新を試みているときに、このエラーが返されます。メモリ表は一時表であり、サーバーではなくクライアントマシンにのみ存在す

	るため、これらの操作はメモリ表では実行できません。
--	---------------------------

ERROR 968

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非メモリ表にハッシュ索引を作成できません
引数	無し
解説	メモリ表にBツリー索引の作成を試みるときに、このエラーが返されます。メモリ表は一時表で、bツリー索引をサポートしません。メモリ表は、ハッシュ索引のみをサポートします。
対策	Bツリー索引の代わりに、メモリ表にハッシュ索引を作成してください。

ERROR 969

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非メモリ表にハッシュ索引を作成できません
引数	無し
解説	非メモリ表にシャープ索引の作成を試みるときに、このエラーが返されます。非メモリ表は、ハッシュ索引をサポートしていません。
対策	ハッシュ索引の代わりに、非メモリ表にBツリー(通常)索引を作成してください。

ERROR 970

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ハッシュ索引カラムはasc/descを許可しません
引数	無し
解説	ハッシュ索引のカラムをasc/desc順序で分類を試みているときに、このエラーが返されます。シャープ索引は、この機能をサポートしていません。

ERROR 971

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ハッシュ索引の無効なバケット数です
引数	無し
解説	ハッシュ索引に対して無効なバケット数(負の数など)を指定するとき、このエラーが返されます。バケット数の有効範囲は2 ~ 32767です。

ERROR 972

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	不正なシリアル開始値です。有効範囲は-2147483648 ~ 2147483646 です
引数	無し
解説	シリアル開始値の範囲は-2147483648 ~ 2147483646です。

	create table t1(c1 bigserial 2147483647);
--	---

4.4 エラーメッセージ 1002 - 1119

ERROR 1002

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナルモードの変更はできません： バックアップモード・オン又はバックアップ中
引数	無し
解説	データベースがBACKUPモードで走行しているときにNO JOURNALモードをONにしようとしてしました。BACKUPモードのときは、ジャーナル・モードを変更することはできません。又は、バックアップ中にNO JOURNALモードをONにしようとしてしました。バックアップ中にジャーナル・モードを変更することはできません。
対策	データベースを終了し、dmconfig.iniのバックアップ・モードをNO BACKUPに変更し、データベースを再起動します。 バックアップを取り終えるまで待ち、ジャーナル・モードをNO JOURNALに設定します。

ERROR 1004

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	挿入を行っている間にこの操作はできません

引数	無し
解説	BLOBをputting/readingしている時にセーブポイントを取ろうとしました。
対策	セーブポイントを定義するために別の文を使います。又はSELECT INTOのようなセーブポイントを定義しなければいけない文を実行します。

ERROR 1009

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	マルチユーザー・モードではログファイルをクローズできません
引数	無し
解説	データベースがマルチユーザー・モードの時に、ジャーナル・モードに切ろうとしようとしてしました。ジャーナル・モードをOFFにするためには、データベースをシングルユーザー・モードに切り替える必要があります。

ERROR 1010

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トランザクション実行中なのでログファイルをクローズできません
引数	無し
解説	データベースのトランザクションがアクティブの時に、ジャーナル・モードをOFFにしようとしてしまし

た。全てのトランザクションをコミット/アボートしてから、ジャーナル・モードを切ります。

ERROR 1014

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	他のユーザーが接続している間にシングルユーザー・モードに切替えることはできません
引数	無し
解説	他のユーザーがデータベースに接続している時に、シングルユーザー・モードに切り替えようとした。他のユーザーがデータベースに接続している時に、シングルユーザー・モードに切り替えることはできません。

ERROR 1015

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	オプション値が無効です
引数	無効である理由
解説	無し

ERROR 1017

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	アクティブなカーソルがある時はカーソルスタビリティを切り替えられません

引数	無し
解説	カーソルがまだアクティブの際にカーソルのスタビリティを修正しようとしてしました。カーソルのスタビリティ・モードを切り替える前に全ての文を閉じます。

ERROR 1018

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プライマリサーバーに対し、完全バックアップを行うことはできません
引数	無し
解説	データベース・レプリケーションのソース・データベースでオンライン完全バックアップを実行することができません。

ERROR 1019

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スレーブ・サイトの更新はできません
引数	無し
解説	データベース・レプリケーションのターゲット・データベースでデータ修正作業をすることはできません。

ERROR 1020

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	スレーブ・サイトに対しノー・ダーティを設定することはできません
引数	無し
解説	排他ロックされているオブジェクトに「ダーティ・リード」をしようとしてしました。

ERROR 1022

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定されたグローバル・トランザクションは見つかりません
引数	無し
解説	分散型データベースのトランザクションの状態が整合していません。調整する必要があります。

⇒ 例

一対で運用している2つのデータベースがあります(Site1とSite2)。Site1は、Site2が中断トランザクションをコミットするはずだと考えますが、Site2はそのような中断トランザクションがないといいます。

ERROR 1023

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	グローバル・トランザクションの作動順序が正しくありません
引数	無し

解説	グローバル・トランザクションの状態を「コミット」から「中断アボート」に切り替えようとした。
----	---

ERROR 1024

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データソースが存在しません
引数	無し
解説	非同期表レプリケーションで、表レプリケーションを試みましたが、ディストリビュータ処理が機能していません。

ERROR 1025

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有オブジェクトが既に存在しています
引数	無し
解説	共有オブジェクトを作成しようとしたますが、そのオブジェクトは既に存在します。

ERROR 1026

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有オブジェクトは存在しません
引数	無し

解説	共有オブジェクトを削除しようとしたますが、そのオブジェクトが存在しません。
----	---------------------------------------

ERROR 1027

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有オブジェクトはロックされています
引数	無し
解説	他のユーザーがロックしている共有オブジェクトをロック/削除/セットしようとした。

ERROR 1028

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロックしたユーザーのみがそのロックを解除できます
引数	無し
解説	無し

ERROR 1029

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有オブジェクトIDが無効です（0以上でなければなりません）
引数	無し
解説	無し

ERROR 1031

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有メモリがすでに存在します
引数	無し
解説	他の処理で既に作成された共有メモリを要求しました。

ERROR 1032

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有メモリが存在しません
引数	無し
解説	存在しない共有メモリにアクセスを試みました。

ERROR 1033

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有オブジェクトIDが無効です (IDはシステム用です)
引数	無し
解説	DBMasterが確保しているIDを使って共有オブジェクトを作成しようとしていました。いくつかのIDはSYSTEM用に確保されています。SYSTEM IDの範囲は、1999000001から1999001000です。

ERROR 1034

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	構成のローデバイスのオフセット設定が不正です
引数	無し
解説	オフセット値は0以上でなければなりません。ローデバイスのオフセット値は上書きできません。

ERROR 1035

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	自動拡張ファイルとその他のファイルを同じローデバイスに設定することはできません
引数	無し
解説	このエラーは、次の2つの理由で発生します：1)ローデバイスがすでにファイルを含んでいる可能性があるときに、ローデバイスに自動拡張ファイルを追加しようとする場合。2)ローデバイスがすでに自動拡張ファイルを含んでいる可能性があるときに、ローデバイスにさらにファイルを追加しようとする場合。

ERROR 1102

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロックのタイムアウト

引数	無し
解説	使用しようとするデータベース・リソースを他の接続がロックしています。
対策	リソースをロックしている接続がコミットするのを待ちます。どの接続が必要とするリソースをロックしているか分からないときは、DBAツールを使用して見つけます。 接続したまま異常終了した接続のロック解除を待っているときは、DBAに接続を切断するように要求します。

ERROR 1103

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DCCA メモリ不足：DCCAの初期設定値が小さ過ぎます
引数	無し
解説	データベースに割当てた共有メモリの初期サイズが小さすぎます。あまりにも多くのオブジェクトをロックしているか、あまりにも多くのトランザクションがあるために、データベースは初期割り当て以上のメモリを必要としています。
対策	「データベース管理者参照編」を参照して、dmconfig.iniのDB_ScaSz、DB_NBufs、DB_NJnlB、DB_Maxcoのサイズを調整します。そうでなければ、データベースの利用者数を減らさなければなりません。サイズを変更する代わりにテーブルのロックモードを高位に変更して使用リソースを減らすこともできますが、同時実行性のレベルも減少します。

ERROR 1104

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースを起動できません：共有メモリが使用中です
引数	無し
解説	既に起動しているデータベースを起動しようとしてしました。既に起動しているデータベースと同じ名前で起動することはできません。 または、異常終了したデータベースに割当てられた共有メモリが開放されていません。共有メモリが割当てられているデータベースを起動することはできません。
対策	既にデータベースが起動しているときは、更に起動する必要はありません。CONNECT文を使用してデータベースに接続するだけです。 異常終了したデータベースが起動していたマシンでUNIXのユーティリティipcrmを起動して割当てられた共有メモリをシステムから取り除きます。ipcrmの使用法については、UNIXオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

ERROR 1105

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソート用のメモリが割当てられません、OSのメモリ不足です。

引数	無し
解説	データベースはソート操作のためにメモリを割当てようとしていますが、オペレーティング・システムにメモリがありません。
対策	不急のプロセスを停止してメモリを開放します。

ERROR 1110

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	要求されたDCCAのメモリがシステムの最大値を超えています
引数	無し
解説	データベースを走行しようとしているマシンにデータベースを起動するだけの十分な物理メモリがありません。 また、UNIXでオペレーティング・システムが割当てることができる共有メモリの最大値がデータベースの必要量よりも小さいときも、このエラーが発生します。
対策	物理メモリ容量の範囲内でデータベースを起動するのに十分な大きさにDCCAのサイズを小さくするか、物理メモリを更にシステムに追加します。 ほとんどのUNIXシステムでは、新しい共有メモリの最大サイズを指定してUNIXカーネルを再構築することが必要になります。オペレーティング・システムが割当てることができる共有メモリの最大サイズを変更する方法については、UNIXオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

ERROR 1111

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有メモリに割当ててるメモリが不足しています
引数	無し
解説	データベースを走行しようとしているマシンにデータベースを起動するだけの十分な物理メモリがありません。 また、UNIXオペレーティング・システムが割当てることのできる共有メモリの最大値がデータベースの必要量よりも小さいときもこのエラーが発生します。
対策	物理メモリ容量の範囲内でデータベースを起動するのに十分な大きさにDCCAのサイズを小さくするか、物理メモリを更にシステムに追加します。 また、ほとんどのUNIXシステムでは、新しい共有メモリの最大サイズを指定してUNIXカーネルを再構築することが必要になります。オペレーティング・システムが割当てることのできる共有メモリの最大サイズを変更する方法については、UNIXオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

ERROR 1112

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DCCAが大きすぎてOSの共有メモリから割当てられません

引数	無し
解説	データベースを走行しようとしているマシンにデータベースを起動するだけの十分な物理メモリがありません。 また、UNIXオペレーティング・システムが割当てることのできる共有メモリの最大値がデータベースの必要量よりも小さいときもこのエラーが発生します。
対策	物理メモリ容量の範囲内でデータベースを起動するのに十分な大きさにDCCAのサイズを小さくするか、物理メモリを更にシステムに追加します。 また、ほとんどのUNIXシステムでは、新しい共有メモリの最大サイズを指定してUNIXカーネルを再構築することが必要になります。オペレーティング・システムが割当てることのできる共有メモリの最大サイズを変更する方法については、UNIXオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

ERROR 1113

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有メモリを組み込めないか、その共有メモリが存在しません
引数	無し
解説	オペレーティング・システムが共有メモリを組み込むことができないか、共有メモリが存在しません。これはオペレーティング・システムのエラーです。
対策	オペレーティング・システムのマニュアルを参照し

	てください。
--	--------

ERROR 1114

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	使用可能なデータ領域が不足しています
引数	無し
解説	このエラーは、DBMasterがデータベースの共有メモリに接続しようとしたときに発生します。オペレーティング・システムのエラーです。
対策	オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

ERROR 1115

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有メモリの使用が拒否されました
引数	無し
解説	このエラーは、DBMasterがデータベースの共有メモリに接続しようとしたときに発生します。オペレーティング・システムのエラーです。
対策	オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

ERROR 1116

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ログファイルにこれ以上のレプリケーション・ログレコードがありません
引数	無し
解説	与えられたログの位置は、ログファイルの範囲を超えています。

ERROR 1117

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーション・ログファイルに無効なログデータがあります
引数	ファイルIDとオフセット
解説	ユーザーがログファイルを壊したか、システム・エラーです。

ERROR 1119

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	OS共有メモリ設定が小さすぎます。OS共有メモリ設定を最大サイズまで増やしてください。
引数	無し
解説	DBMasterを効率的に操作するためには、OS共有メモリ設定を十分な量にする必要があります。DBMasterを効率的に実行するには、OS共有メモリをその最大サイズに設定してください。

4.5 エラーメッセージ 1201 - 1335

ERROR 1201

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルはすでに存在しています
引数	ファイ名
解説	既存データベースと同名のデータベースを作成しようとした。データベースファイル (.DB、.BB) かジャーナル・ファイル (.JNL) が既に存在しています。
対策	既存データベースで使用していないデータベース名を選ぶか、不要になった古いデータベース・ファイルとジャーナル・ファイルを削除します。

ERROR 1203

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルを削除できません
引数	ファイル名
解説	オペレーティング・システムに内部エラーの可能性ががあります。

ERROR 1205

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	リモート・ディスクのファイルにアクセスできません
引数	無し
解説	ネットワーク接続をチェックし、リモート・ディスクにあるファイルが存在することを確認して下さい。

ERROR 1223

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	TMPTABLESPACEにファイルを作成することができません
引数	ファイル名
解説	異なるファイル名或いはディレクトリ名を選択してください。

ERROR 1301

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	物理的ジャーナルファイルのサイズがdmconfigファイルの設定と一致しません
引数	物理ファイルサイズと環境設定ファイル
解説	ユーザーが、新規ジャーナル・モードでデータベースを再起動せずに、環境設定ファイルのジャーナルファイルのサイズ（DB_JnlSz）を変更したかもしれません。又はデータベース作成後に同じ名前で異なるデータベースからジャーナル・ファイルをコピー

	したかもしれません。
--	------------

ERROR 1302

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナルファイルの合計ページ数は、ジャーナルバッファのページ数より最低3ページ以上なければなりません
引数	ページ数
解説	ジャーナル・ファイルの合計サイズは、少なくとも3以上、ジャーナルバッファのサイズより大きくする必要があります。ジャーナルファイルのサイズ（DB_JnlSz）を増やし、新規ジャーナル・モードでデータベースを再起動します。又は環境設定ファイルでジャーナルバッファのサイズ(DB_NJnlB)を減らしデータベースを再起動します。

ERROR 1303

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	完全バックアップはまだ始まっていません
引数	無し
解説	無し

ERROR 1305

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	完全バックアップの順序にエラーがありました
引数	無し
解説	バックアップ命令文が正しくない順番で発せられました。

☞ 例

```
END BACKUP JOURNAL;  
BEGIN BACKUP;
```

ERROR 1306

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	完全バックアップはすでに始まっています
引数	無し
解説	無し

ERROR 1307

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バックアップはまだ始まっていません
引数	無し
解説	無し

ERROR 1308

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	増分バックアップを行うためにはバックアップ・モードをONにする必要があります
引数	無し
解説	dmconfig.iniのバックアップモードがOFFのときに、増分バックアップを実行しようとした。
対策	dmconfig.iniのバックアップ・モードをONにします。バックアップモードをONにする方法については、「データベース管理者参照編」を参照してください。

ERROR 1309

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非ジャーナル・モードではマルチユーザー・モードに切替えられません
引数	無し
解説	ジャーナルをセットするためには、コマンドでSET JOURNALを使います。

ERROR 1310

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナルが一杯です： 命令文は内部のセーブポイントまでロールバックします
引数	無し
解説	ジャーナルが一杯です。トランザクションは内部的に取られた直前のセーブポイントにロールバックさ

	れます。
対策	トランザクションをコミットまたはアボートします。トランザクションが非常に長い場合、ジャーナルフル・エラーが再発するのを避けるために、ジャーナル・ファイルのサイズを大きくします。

☞ ジャーナル・ファイルのサイズを変更する：

1. データベースを終了します。
2. dmconfig.iniのDB_JnlSzを高い値に設定してジャーナル・ファイルのサイズを大きくします。
3. DB_SModeを2に設定して起動モードを新規ジャーナルにして、起動します。
4. DB_SModeを1にリセットします。

ジャーナル・ファイルのサイズは次のデータベースの起動時に変更されます。

ERROR 1316

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	新規ジャーナル・モードで起動できません：データベースがクラッシュしました
引数	無し
解説	データベースがクラッシュしているときに、新規ジャーナル・モードで起動しようとしてしました。
対策	データベースがクラッシュしたときは、ノーマル・モードで起動しなければなりません。ノーマル・モードでデータベースを起動すると、データベースはクラッシュ・リカバリを実行します。ノーマル・モ

	ードに変更するには、 <i>dmconfig.ini</i> のDB_SModeを1にしてデータベースを再起動します。
--	--

ERROR 1317

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースを起動できません： 非ジャーナル・モードでデータベースがクラッシュしたか、エラーが発生しました
引数	無し
解説	クラッシュ・リカバリを実行するためにデータベースを再起動しましたが、データベースは非ジャーナル・モードで走行していました。
対策	非ジャーナル・モードでクラッシュしたデータベースは、クラッシュ・リカバリを実行することができません。新規ジャーナル・モードを使用してデータベースを再起動します。詳細については、「データベース管理者参照編」を参照してください。

ERROR 1318

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナルファイルに有効なバックアップ状態が見つかりません
引数	無し
解説	アーカイブ・ジャーナル・ファイルに正しいバックアップ・ステータスがありません。
対策	完全バックアップの有効なジャーナル・ファイルを

使用してリストアします。

ERROR 1319

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	増分バックアップはすでに始まっています
引数	無し
解説	他の非バックアップ・トランザクションが既に進行中です。
対策	非バックアップ文が完了するのを待って、それからバックアップ作業を再試行します。

例

現在トランザクションT1が、COMPRESSONLYオプションのSHRINK TABLESPACE文のような非バックアップ文を実行しています。それから別のトランザクションT2が、BACKUP文(完全又はジャーナル・バックアップ)を実行しようとしています。T2は失敗し、このエラーを受け取ります。

ERROR 1320

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	再実行するためのトランザクションが足りません
引数	無し
解説	レプリケーション・サーバーには再試行する十分なトランザクションがありません。

ERROR 1321

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	トランザクション表にない中断トランザクションがあります
引数	無し
解説	データベース起動時にこのエラーが発生します。中断トランザクション表に無いIDの中断トランザクションが見つかりました。

ERROR 1322

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	中断トランザクションがあるので、シングルユーザー・モードでデータベースを起動できません
引数	無し
解説	システム障害の際に未解決の分散トランザクションがあります。その中断トランザクションを解決するためにマルチユーザー・モードでデータベースを起動します。

ERROR 1323

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非バックアップ文が進行中に無効な操作がありました
引数	無し
解説	他の非バックアップ・トランザクションが進行中です。

対策	非バックアップ・コマンドが完了するまで待機し、それにバックアップ作業を再試行します。
----	--

☞ 例

トランザクションT1は、COMPRESSONLYのSHRINK TABLESPACEコマンドのような非バックアップ・コマンドを実行していて、他のトランザクションT2がBACKUPコマンド(完全又はジャーナル・バックアップ)を実行しようとしています。T2は失敗し、このエラーを受け取ります。

ERROR 1324

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バックアップ文が進行中に無効な操作がありました
引数	無し
解説	バックアップが進行中です。
対策	BACKUPコマンドが完了するまで待機してから、非バックアップ・コマンドを再試行します。

☞ 例

トランザクションT1が、BACKUPコマンドを実行していて(完全又はジャーナル・バックアップ)、他のトランザクションT2がCOMPRESSONLYのSHRINK TABLESPACEコマンドのような非バックアップ・コマンドを実行しようとしています。

ERROR 1325

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	増分バックアップ或いは差分バックアップを行う前に新たな完全バックアップが必要です

引数	無し
解説	増分バックアップを実行しようとした際に、有効なオンライン完全バックアップが無い、或いは何らかの操作により以前の完全バックアップが無効になっています。増分バックアップを行う前に、有効な完全バックアップを作成します。

ERROR 1326

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	増分バックアップを不正なバックアップ順でリストアしようとした
引数	無し
解説	増分バックアップを、不正なシーケンス、或いはシーケンス外で挿入しました。
対策	増分バックアップは、それが属するバックアップ・シーケンスで、正しいシーケンスでのみリストアすることができます。増分バックアップ・ファイルのためのバックアップ・シーケンス番号をチェックします。

ERROR 1327

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーション・サイトでオンライン完全バックアップを実行しようとした
引数	無し

解説	レプリケーション・サイトでオンライン完全バックアップを作成しようと試みました。
対策	データベースをレプリケーション・サイトとして起動した場合、オンライン完全バックアップを実行することはできません。データベースを終了し、オンライン完全バックアップをサポートしている別のモードで再起動します。理想的には、メインのデータベース・サーバーでオンライン完全バックアップを作成します。

ERROR 1328

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	十分な容量がないためディレクトリにファイルをバックアップできません
引数	無し
解説	データベースのファイルをバックアップしようとしているが、バックアップディレクトリにバックアップを実行するだけの十分な容量がないときに、このエラーメッセージが返されます。

ERROR 1329

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バックアップパスのフォーマットが不正です
引数	無し
解説	ファイルのバックアップを試みたが、バックアップパスを設定するときにバックアップパスのサイズを

	設定していないか、無効な数を使用しているときに、このエラーメッセージが返されます。複数のバックアップパスを設定しようとする場合、次のフォーマットを使用してください："PATH SIZE PATH SIZE..."：
--	---

➡ 例

正しい場合：

```
db.dir = c:\bk1_100_c:\bk2_300_...
```

正しくない場合：

```
db.dir = c:\bk1_c:\bk2
```

これも正しくない場合：

```
db.dir = c:\bk1_-100_c:\bk2_-300_...
```

ERROR 1330

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一つ以上のジャーナルファイルは同じファイル名があります
引数	無し
解説	無し

ERROR 1331

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	差分バックアップが失敗しました
引数	無し

解説	差分バックアップが失敗になった原因はxdeltaが見つかりません又は実行が間違ったかもしれません
----	--

ERROR 1332

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バックアップ情報が取れません、バックアップの歴史ファイルが一致しないかもしれません
引数	無し
解説	無し

ERROR 1333

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	差分バックアップはもう始めました
引数	無し
解説	無し

ERROR 1335

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スレーブサイトに増分バックアップをします
引数	無し
解説	データベースはスレーブ率として起動すると、ユーザーは増分バックアップをできません

4.6 エラーメッセージ 1401 - 2406

ERROR 1401

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	他のユーザーに占有されているオブジェクトにロックをかけることはできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 1501

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	ソケットを生成できません
引数	無し
解説	Unixのsockets またはWindowsのwinsockサービスは、サーバーに接続するための新規ソケットを作成することができません。
対策	クライアント側のコンピュータを再起動します。問題が解決しないときは、エラー・メッセージのコードをメモし、オペレーティング・システムのマニュアルのUnix socketまたはWindows winsockの socket() 関数の情報を参照します。

ERROR 1502

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001

Error Message	ホスト名からIPアドレスに変換できません
引数	無し
解説	接続しようとしているコンピュータのホスト名が <i>/etc/hosts</i> に定義されていません。
対策	ホスト名とIPアドレスを <i>/etc/hosts</i> ファイルに追加します。

ERROR 1503

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	サーバーに接続できません
引数	無し
解説	クライアント／サーバー・データベースに接続しようとしたが、サーバーが電源オフであるか指定したIPアドレスが正しくないために接続できません。
対策	サーバー側のデータベースを起動するか、正しいIPアドレスを指定します。

ERROR 1504

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ネットワークのポート・バインド・エラー、あるいはポートが使用されています
引数	無し
解説	ネットワーク・ソケットまたはポート番号にローカ

	ル・アドレスをバインドしようとしているときにエラーが発生しました。
対策	クライアント側のコンピューターを再起動します。問題が解決しないときは、エラーメッセージのコードをメモし、オペレーティング・システムのマニュアルのUnix socketまたはWindows winsockの bind() 関数の情報を参照します

ERROR 1505

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ネットワークのlistenエラー
引数	無し
解説	ネットワーク・ソケットに接続するときにlisten関数のエラーがありました。
対策	クライアント側のコンピュータをリスタートします。問題が解決しないときは、エラー・メッセージのコードをメモし、オペレーティング・システムのマニュアルのUnix socketまたはWindows winsockの listen() 関数の情報を参照します。

ERROR 1506

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	サーバー接続時にタイムアウトになりました
引数	無し
解説	このメッセージは次のいずれかの状況で発生します。

	サーバーがまだ起動していません。 クライアント側のdmconfig.iniファイルで指定されたポート番号がサーバーでバウンドされた番号と異なります。
対策	サーバー側のデータベースを起動します。 サーバーがサーバーでバインドしたポート番号と同じものをクライアント側に指定します。

ERROR 1507

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	winsock.dllの読み込みエラー
引数	無し
解説	クライアント・アプリケーションがサーバーに接続しようとしたが、DBMasterはwinsock.dllを見つけないことができませんでした。
対策	システム・ディレクトリにwinsock.dllファイルを置きます。

ERROR 1508

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	winsock.dllの初期化エラー
引数	無し
解説	クライアント・アプリケーションがサーバーに接続しようとし、DBMasterがソケット・ステータスを初期化しようとしたときに、winsock.dllがWindowsのネ

	ットワーク・ドライバと互換性が無いことが分かりました。
対策	Windows 98またはNTでは、現在の <code>winsock.dll</code> ファイルをオペレーティング・システムが提供するもので置き換え、Windowsを再起動します。

ERROR 1509

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソケットから受付できません
引数	無し
解説	このエラーはネットワークの問題に起因します。ネットワーク管理者に問い合わせて問題を解決してください。

ERROR 1510

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	Setsockoptできませんでした
引数	無し
解説	ソケット・オプションをセットすることができません。

ERROR 1511

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	Listeningソケットのパス名が長すぎます

引数	無し
解説	リスニング・ソケットのパス名が長すぎます。

ERROR 1512

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	無効のソケット・パス
引数	無し
解説	ソケット・パス名が無効です。

ERROR 1513

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	Getsocknameエラーです
引数	無し
解説	アプリケーションがソケット名を検索していた時、エラーが生じました。

ERROR 1514

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	ユーザがクライアント側でデータベースを作成または開始することができません
引数	無し
解説	ユーザがクライアント側でデータベースを作成または開始することができません。

ERROR 1515

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	dmsqlr32.dllをロードすることができません
引数	無し
解説	Win32ターミナル・サーバーdmsqlr32.dllが見つかりません。

ERROR 1532

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08001
Error Message	無効なIPアドレスが入力されました
引数	無し
解説	IPアドレスの形式が無効です。

ERROR 1601

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バッファ・プールに使用可能なページ・バッファがありません
引数	無し
解説	メモリバッファを全て使い尽くしました。
対策	dmconfig.iniのDB_NBufsの値を大きくしてデータベースを再起動します。

ERROR 1702

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルは空ではありません
引数	無し
解説	少なくとも1ページのエントリが空ではありません。

ERROR 1704

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ディスクが一杯かディスク障害のためにファイルを拡張できません
引数	ファイル名
解説	ディスクが一杯、又はディスクエラーが発生したために、ファイルを拡張することができません。

ERROR 1705

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルはすでに最大限まで拡張されているので、これ以上拡張できません
引数	ファイル名
解説	ファイルは最大サイズにまで拡張しました。これ以上拡張することはできません。(最大サイズは2GBです)

ERROR 1805

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	oidにカーソルを移動させることができません
引数	ファイル名
解説	DBMasterはスキミングカーソルをオブジェクトIDに移動することができません。

ERROR 2102

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トランザクションの数がdmconfigファイルに設定されている数より多いです：
引数	環境設定に設定されているトランザクション数
解説	アクティブ・トランザクションの個数がdmconfig.iniのキーワードDB_Maxcoに設定されている値よりも大きくなりました。
対策	データベースを終了し、dmconfig.iniファイルのDB_Maxcoの値を大きくします。

ERROR 2204

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ディスク内の内部一時表のページが一杯です
引数	無し

解説	ディスク内の内部表のページに空きがありません。
----	-------------------------

ERROR 2405

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	ライセンスオプションエラー
引数	無し
解説	ライセンスフィールド名

ERROR 2406

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	無効なライセンスオプション
引数	無し
解説	ライセンスフィールド名

4.7 エラーメッセージ 3001 - 3909

ERROR 3001

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	01010
Error Message	エラーが多すぎます
引数	無し
解説	データベース整合性チェックを実行しましたが、修復するにはエラーが多すぎます。

対策	データベース整合性チェックの詳細については、「データベース管理者参照編」を参照してください。
----	--

ERROR 3002

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	重大なエラーのため、チェックを続行できません
引数	無し
解説	データベース整合性チェックを実行しましたが、修復不能な重大エラーが見つかりました。
対策	DBMasterのサポート員に相談してください。

ERROR 3004

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なdbccパラメータ、もしくはリペアがサポートされていません
引数	無し
解説	DBリペアがオンにセットされている場合、以下のデータベース・エラーチェックを実行することができません。DBチェック、カタログ・チェック、ファイル・チェックおよび索引チェック。

ERROR 3005

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ジャーナルファイルをチェック又は更新できません
引数	無し
解説	ジャーナル・ファイルをチェック、縮小、ページを追加しようとしてしました。

ERROR 3006

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時テーブル、メモリテーブル、またはビューのCHECKはできません
引数	無し
解説	一時テーブル、メモリテーブル、およびビューのCHECKは実行できません。

ERROR 3101

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カタログにエラーがありました：
引数	ENGINE CATALOG
解説	エンジン・カタログでスキャンを開始できませんでした。

ERROR 3102

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	エンジン・カタログからこの表のOIDが取得できま

	せん：
引数	不正な表OID、又は表名
解説	エンジン・カタログで表OIDを見つけられませんでした。

ERROR 3103

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表のロック・レベルが違います：
引数	不正な表OID
解説	エンジン・カタログの記録にロック・レベルに関する誤った情報があります。

ERROR 3104

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの数(nCol)がシステムの最大値を超えています：
引数	不正な表OID
解説	エンジン・カタログの記録にカラム数に関する誤った情報があります（最大数を超過、又は1以下）。

ERROR 3105

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログのカラム数が一致しません：

引数	不正な表名
解説	SYSTABLEカタログのNUM_COLが、エンジン・カタログで記録された数と一致しません。

ERROR 3106

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表に属しない索引があります：
引数	表名、索引名
解説	SYSTABLE.TABLE_NAMEの情報は、SYSINDEX.TABLE_NAMEの情報と一致しません。

ERROR 3108

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表に属しない外部キーがあります：
引数	表名、外部キー名
解説	SYSTABLE.TABLE_NAMEの情報が、SYSFOREIGNKEY.FK_TBL_NAMEの情報と一致しません。

ERROR 3109

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つの外部キーの数が一致しません：
引数	表名

解説	システム（SYSFOREIGNKEY）とエンジン・カタログ両方の表の外部キーの数が一致しません。
----	--

ERROR 3110

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログの表カタログが一致しません：
引数	表名
解説	システム・カタログ（SYSTABLE）の表レコードで、エンジン・カタログで使用されないエントリを使用しました。

ERROR 3111

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シンボル表カタログが見つかりません：
引数	無し
解説	システム・カタログ（SYSTABLE）から表情報をフェッチできませんでした。

ERROR 3112

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表のシンボル・カタログ及び索引、外部キーなどが見つかりません
引数	無し、又は表名

解説	システム・カタログで表の情報が見つかりませんでした。
----	----------------------------

ERROR 3113

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表のシンボル・カタログ・エラー：
引数	無し
解説	表のシステム・カタログ (SYSTABLE) から次のレコードを読み込めませんでした。

ERROR 3114

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表名がカラム・カタログのものと一致しません：
引数	表名、カラムID
解説	システム・カタログに記録されている表名が正しくないカラムが表にあります。つまり、SYSTABLE.TABLE_NAMEとSYSCOLUMN.TABLE_NAMEが一致しません。

ERROR 3115

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表の所有者名がカラム・カタログのものと一致しません：

引数	表名、カラムID
解説	システム・カタログに記録されている表の所有者が、カラムの所有者名と異なります。 (SYSTABLE.TABLE_OWNERが SYSCOLUMN.TABLE_OWNERと一致しません)。

ERROR 3116

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表にあるカラムの数が無効です：
引数	表名、カラムID
解説	システム・カタログに記録されているカラムIDが正しくないカラムが表にあります。

➡ 例

SYSCOLUMN.COLUMN_ORDER

ERROR 3117

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの数が表カタログの数より少ないです：
引数	表名、カラムより少ない数
解説	総数がSYSTABLE.NUM_COLより少ないために、 SYSCOLUMNカタログで記録されているカラムのいくつかは消失するかもしれません。

ERROR 3118

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの数が表カタログの数より多いです：
引数	表名、カラムより多い数
解説	SYSTABLE.NUM_COLより多くのカラムがあるので、SYSCOLUMNカタログに記録されているカラム数が大きいです。

ERROR 3119

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーションの数はレプリケーション・カタログの数と一致しません：
引数	表名
解説	SYSPUBLISHカタログに記録されているレプリケーション数がSYSTABLE.NUM_PUBLICATIONに一致しません。

ERROR 3120

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーション・カタログでレプリケーションIDが見つかりません：
引数	表名、ターゲット・パブリケーションのOID
解説	SYSPUBLISHカタログからOIDのレプリケーション

のためのレコードをフェッチできませんでした。

ERROR 3121

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーション名はレプリケーション・カタログのものと一致しません：
引数	表名、レプリケーション名
解説	SYSPUBLISH.TABLE_NAMEが、SYSTABLE.TABLE_NAMEと一致しません。

ERROR 3122

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーションの所有者がレプリケーション・カタログのものと一致しません：
引数	無し
解説	SYSPUBLISH.TABLE_OWNERが、SYSTABLE.TABLE_OWNERと一致しません。

ERROR 3123

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト索引の数がテキスト索引カタログのものと一致しません：
引数	表名

解説	記録されているテキスト索引の総数が、SYSTABLE.NUM_TEXTINDEXと一致しません。
----	--

ERROR 3124

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト索引カタログでテキスト索引IDが見つかりません：
引数	表名、テキスト索引OID
解説	カタログからテキスト索引をフェッチできませんでした。

ERROR 3125

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト索引カタログにテキスト索引名が存在しません：
引数	表名、テキスト索引名
解説	テキスト索引カタログに記録されている表名が、SYSTABLE.TABLE_NAMEで記録されている名前と異なります。

ERROR 3126

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト索引の所有者がテキスト索引カタログのものと一致しません：

引数	表名、テキスト索引名
解説	テキスト索引カタログに記録されている表の所有者名が、SYSTABLE.TABLE_OWNERに記録されている名前と異なります。

ERROR 3151

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	エンジン・カタログからこのファイルのOIDを取得できません(ca_fl) :
引数	表領域名かOID、ファイル名かOID
解説	ファイル・エンジン・カタログからレコードをフェッチできませんでした。

ERROR 3152

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表領域にあるファイルのID(ca_fl's oidTs)が間違っています :
引数	表領域名あるいはOID、ファイル名あるいはOID
解説	ファイル・エンジン・カタログのファイル・レコードの表領域OIDが、ファイルを有する表領域OIDと一致しません。

ERROR 3153

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ファイルと表領域カタログが一致しません：
引数	表領域名あるいはOID、ファイル名あるいはOID
解説	表領域には、ユーザーが探しているファイルがありません。

ERROR 3154

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルのタイプが間違っています：
引数	表領域名かOID、ファイル名かOID
解説	ファイルの種類が、DATA若しくはBLOBではありません。

ERROR 3155

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログのファイル・タイプが一致しません：
引数	ファイル名かOID
解説	SYSFILE.FILE_TYPEが、ファイル・エンジン・カタログで記録されているファイル型に一致しません。

ERROR 3156

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログのファイル数が一致しません：
引数	ファイル名かOID

解説	SYSFILE.FILE_NUMが、ファイル・エンジン・カタログで記録されているファイル数に一致しません。
----	---

ERROR 3157

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	該当するファイル表領域が見つかりません：
引数	ファイル名、表領域名
解説	表領域が見つかりませんでした。表領域システム・カタログからレコードを読み込もうとした際にエラーが発生しました。

ERROR 3158

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログのファイル表領域が一致しません：
引数	ファイル名、表領域名
解説	OID表領域が、ファイル・エンジン・カタログの記録のものと一致しません。

ERROR 3160

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カタログにファイルが見つかりません：
引数	無し
解説	無し

ERROR 3171

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	エンジン・カタログで該当する表領域のオブジェクトIDが取得できません：
引数	表領域名かOID
解説	表領域エンジン・カタログからレコードをフェッチできませんでした。又は表領域の情報をフェッチするために不正な表領域OIDを使用しました。

ERROR 3172

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表領域にはファイルがありません
引数	表領域名かOID
解説	表領域からファイル情報を取得できませんでした。

ERROR 3173

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表領域のタイプが間違っています：
引数	表領域名かOID
解説	表領域エンジン・カタログで記録されている表領域の種類が、標準（固定）又は拡張型です。

ERROR 3174

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表領域にあるページの数が間違っています(nPage) :
引数	表領域名かOID
解説	表領域のページ数が、表領域が有するファイル数に一致しません。これらの数値は、ファイルと表領域エンジン・カタログからきます。

ERROR 3175

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログの表領域のタイプが一致しません :
引数	表領域名
解説	表領域の種類が、エンジン・カタログとSYSTABLESPACE.TS_TYPEで一致しません。

ERROR 3176

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログにある表領域のファイル数が一致しません :
引数	表領域名
解説	エンジン・カタログからフェッチしたファイルのレコード数が、SYSTABLESPACE.NUM_FILESのものと一致しません。

ERROR 3178

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シンボル表領域カタログが見つかりません：
引数	無し
解説	SYSTABLESPACEシステム・カタログからレコードをフェッチするために、スキャンを開くことができませんでした。

ERROR 3179

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表領域のシンボル・カタログにエラーがあります：
引数	無し
解説	SYSTABLESPACEシステム・カタログから、次の或いは指定したレコードをフェッチできませんでした。

ERROR 3191

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	エンジン・カタログに該当する索引のオブジェクトIDが見つかりません(ca_ts)：
引数	表名かOID、索引名かOID
解説	索引エンジン・カタログからレコードをフェッチすることができませんでした。

ERROR 3192

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引と表カタログが一致しません：
引数	表名かOID、索引名かOID
解説	エンジン・カタログにある表の索引チェーンの索引を見つけることができませんでした。

ERROR 3193

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	エンジン表とエンジン索引カタログのカラム数が一致しません
引数	表名かOID、索引名かOID
解説	索引エンジン・カタログに記録されている表カラム数が間違っています。又は表エンジン・カタログに記録されているカラム数に合致しません。

ERROR 3196

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引カタログが矛盾しています (btColsが無効です)：
引数	表名かOID、索引名かOID
解説	索引カラム数が、索引エンジン・カタログで間違っています。

ERROR 3199

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引の表オブジェクトIDが間違っています：
引数	表名かOID、索引名かOID
解説	表領域OIDが、索引エンジン・カタログで記録されているものと一致しません。

ERROR 3200

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引カタログが矛盾しています(ca_brのoidTsがエラーです)：
引数	表名かOID、索引名かOID
解説	表領域OIDが、索引エンジン・カタログで記録されているものと一致しません。

ERROR 3201

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引を持っている表の名前とOIDが一致しません：
引数	表名、索引名
解説	表OIDが索引エンジン・カタログに記録されているものと一致しません。

ERROR 3202

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引所有者と表所有者が一致しません：
引数	表名、索引名
解説	表の所有者名と索引の所有者名が一致しません。

ERROR 3203

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログにある索引のカラム数が一致しません：
引数	表名、索引名
解説	SYSINDEX.NUM_COLが、索引エンジン・カタログに記録されているカラム数に一致しません。

ERROR 3204

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログにある索引のカラム名と順番が一致しません：
引数	表名、索引名
解説	システムとエンジン・カタログの索引カラムが一致しません。

ERROR 3205

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログにある索引の一意性が一致しません：
引数	表名、索引名
解説	SYSINDEX.UNIQUEには一意として記録されている索引がありますが、索引エンジン・カタログにはありません。（又はその逆）

ERROR 3206

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シンボル・カタログに索引が見つかりません：
引数	無し
解説	システム・カタログで索引を見つけることができませんでした。

ERROR 3211

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	エンジン・カタログで該当するオブジェクトIDが見つかりません(ca_fk)：
引数	表名かOID、外部キー名かOID
解説	外部キーのエンジン・カタログからレコードをフェッチすることができませんでした。

ERROR 3213

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーのカatalogがこの外部キーの無い表を参照しています：
引数	表名かOID、外部キー名かOID
解説	エンジン・Catalogの表の外部キー・チェーンで外部キーを見つけることができませんでした。

ERROR 3214

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーのカatalogがこの外部キーの無い索引を参照しています：
引数	索引名かOID、外部キーかOID
解説	外部キーのエンジン・Catalogで索引を検索しましたが、索引の外部キー・チェーンにそのような外部キーが存在しませんでした。

ERROR 3215

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部表のオブジェクトIDが間違っています：
引数	外部キーかOID
解説	外部表OIDが、外部キーのエンジン・Catalogの外部キーに一致しません。

ERROR 3216

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	親表のオブジェクトIDが間違っています：
引数	外部キーかOID
解説	親表OIDが外部キーのエンジン・カタログのものに一致しません。又はエンジン・カタログから親表レコードをフェッチできませんでした。

ERROR 3217

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部索引カラムの数が間違っています：
引数	外部キーかOID
解説	主キーのカラム数が外部キーのカラム数より少ないです。その数が、索引と外部キーのエンジン・カタログに別々に記録されています。

ERROR 3218

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーのカラム数が間違っています：
引数	外部キーかOID
解説	エンジン・カタログに記録されている外部キーのカラム数が間違っています。最大許容値 (DB_MAXBTCOL)を超えているか、1より小さいかも

	しません。
--	-------

ERROR 3219

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーのカラム数が許容範囲を超えています：
引数	表名かOID、外部キー名かOID
解説	外部キーのエンジン・カタログに記録されているカラムidが間違っています。表の有効範囲を超えています。

ERROR 3220

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーの所有者と表の所有者が一致しません：
引数	表名、外部キー名
解説	外部キーの所有者とその表が一致しません。 (SYSTABLE.TABLE_OWNERが SYSFORIGNKEY.FK_TBL_OWNERに一致しません。)

ERROR 3221

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログにある外部キーの所有者表が一致しません：
引数	表名、外部キー名

解説	外部キーのエンジン・カタログに記録されている表OIDが、システム・カタログに記録されている表OIDと一致しません。
----	---

ERROR 3222

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログにある外部キーのカラム数と順番が一致しません：
引数	外部キー名
解説	外部キーのカラムIDか順序が、エンジン・カタログとシステム・カタログで一致しません。 (SYSFOREIGNKEY, FK_COL_ORDER)

ERROR 3223

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	2つのカタログにある外部キーの親表が一致しません：
引数	外部キー名、親表名
解説	システム・カタログとエンジン・カタログに記録されている外部キーの親表OIDが一致しません。

ERROR 3225

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーの親表が見つかりません：

引数	外部キー、親表名
解説	外部キーの親表を見つけることができませんでした。

ERROR 3226

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このオブジェクトIDのシンボル・外部キー・カタログが見つかりません：
引数	表名、SYSFOREIGNKEYのレコードOID
解説	SYSFOREIGNKEYシステム表からレコードをフェッチすることができませんでした。

ERROR 3401

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	物理サイズがカタログのものと一致しません：
引数	ファイルOIDのファイル名
解説	エンジン・カタログに記録されているDATAやBLOBのファイル・サイズが、物理ファイル・サイズに合致しません。

ERROR 3402

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルを見つける際にエラーが発生しました：

引数	ファイル名かファイルOID
解説	DATA/BLOBファイルにアクセスできませんでした。

ERROR 3403

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルが存在しません：
引数	ファイル名かファイルOID
解説	DATA/BLOBファイルが存在しません。又は削除されました。

ERROR 3601

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レコードの順序が索引の順序と一致しません：
引数	索引名かOID、リーフ・ページのキーレコードOID
解説	リーフ・ページに記録されているキーの本当の順序が、エンジン・カタログに記録されている索引と異なります。

ERROR 3602

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データ・ページIDが無効です：
引数	索引名かOID、リーフ・ページのキー・レコード

解説	リーフ・ページのキーで指定したデータ・レコードをフェッチしようとしたが、レコードOIDが間違っています。
----	--

ERROR 3603

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データ・ページにある索引キーとデータ・レコード数が一致しません：
引数	索引名かOID、リーフ・ページのキー・レコードOID
解説	データ・レコードのキー・カラム値が、索引キーのキー値と一致しません。索引が正しいデータ・レコードを指定しているかどうかを確認して下さい。

ERROR 3604

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	leafページのレベルが違います：
引数	索引名かOID、リーフ・ページOID
解説	リーフ・ページが間違ったレベルにあります。

ERROR 3605

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レコード・キーが長すぎます：

引数	データ・レコードOID、索引名かOID
解説	データ・レコードが全索引に存在するかどうかをチェックしましたが、データ・レコードのキー・カラム値の合計長が、最大長（DB_MAXKEYLEN）を超えています。

ERROR 3606

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レコード・キーが見つかりません：
引数	データ・レコードOID、索引名かOID
解説	データ・レコードが索引に存在するかどうかをチェックできませんでした。索引のキー値がなくなったかもしれません。
対策	キーがある索引を再編成します。

ERROR 3607

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	キー数がレコード数と一致しません：
引数	表名かOID、索引名かOID
解説	索引キーの数とデータ・レコードの数が一致しません。

ERROR 3608

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	B-treeのスキャン中にエラーが見つかりました
引数	索引名かOID、索引ルート・ページOID
解説	索引スキャンを準備できませんでした。又は最初のリーフ・ページをフェッチできませんでした。

ERROR 3609

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	B-treeにある親ページと子ページのtimestampが違っています
引数	索引名かOID、子ページOID
解説	子ページの初期化の時刻がその親ページを修正する時刻より早いです。

ERROR 3701

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レコードの外部キーが長すぎます：
引数	外部キー名かOID
解説	親キーが存在するかどうかを確かめようとした（参照性チェック）が、キー値の合計長が最大長（DB_MAXKEYLEN）を超えています。

ERROR 3702

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーの親(主)キーが存在しません：
引数	外部キー名かOID
解説	外部キーの親（主）キーをチェック（存在するかどうか）できませんでした。外部キーとその親キーの整合性をチェックして下さい。

ERROR 3703

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キーの親キーが見つかりません：
引数	外部キー名かOID
解説	外部キーの親（主）キーで索引スキャンを実行しようとしたがエラーになりました。エンジン・カタログが損傷していないか確認して下さい。空きのメモリ・ストレージがあるかどうかもチェックして下さい。

ERROR 3801

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ表、ページマークにエラーがあります：
引数	ファイル名かOID、ページOID
解説	PEページ構造が間違っています。そのページ・マークが正しくないかもしれません。又はデータが無効です。

ERROR 3802

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	leafページにleafフラグがありません：
引数	索引名かOID、リーフ・ページOID
解説	そのページがリーフ・ページであると、リーフ・ページのフラグが表示していません。

ERROR 3803

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	オブジェクトIDがPEにあるものと一致しません：
引数	ページOID
解説	ページに記録されている所有者OID（オブジェクトOID）が、PEページのPEエントリに記録されているものと異なります。

ERROR 3804

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ・データが矛盾しています(cs, fsBeg, fsEnd, PG_FSL_OFFが矛盾しています)
引数	ページOID
解説	ページ構造の値が間違っています。そのページは損傷しているかもしれません。

ERROR 3805

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ・データが矛盾しています (nbFree != fsEnd - fsBeg) :
引数	ページOID
解説	ページ構造の値が間違っています。そのページは損傷しているかもしれません。

ERROR 3807

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ルート・ページのフラグが間違っています :
引数	ルート・ページOID
解説	そのページがルート・ページであると、ルート・ページのフラグが表示していません。

ERROR 3809

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非索引ページにnextページがあります :
引数	ページOID
解説	ページが索引リーフでないのに、索引リーフ・チェーンから前と次のページを記録していることを表示しています。

ERROR 3810

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ・データが矛盾しています (nextオブジェクトIDが間違っています) :
引数	ページOID
解説	索引リーフ・ページが双方向性リンク一覧を形成しています。但し、これらのページの1つがその次と前のページを指定していません。

ERROR 3811

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ・データが矛盾しています (previousオブジェクトIDが間違っています) :
引数	ページOID
解説	索引リーフ・ページが双方向性リンク一覧を形成しています。但し、これらのページの1つがその次と前のページを指定していません。

ERROR 3812

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ・データが矛盾しています (フリースロット・チェーンが間違っています) :
引数	間違ったタプルOID

解説	ページの空きスロット・チェーンが正しくありません。そのページは損傷しているかもしれません。
----	---

ERROR 3813

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ・データが矛盾しています (フリースロット・チェーン < fsEnd) :
引数	ページOID
解説	空きスロットの1つが範囲外です。ページのデータ空きスペースに入ります。そのページは損傷しているかもしれません。

ERROR 3814

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ・データが矛盾しています (共有ヘッダとスロット番号が矛盾しています)
引数	ページOID
解説	空き/削除したページにレコードがあることが表示されています。そのページ構造が正しくありません。

ERROR 3817

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ・マークが間違っています :

引数	無し
解説	ページ/フレームに間違ったマークがあります。(フレーム、データ・ページ、PEページ)。ページ/フレームは損傷しています。

ERROR 3818

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページ数がファイル・サイズを超えています：
引数	ページ/フレームOID
解説	無効なページ番号エラーのために、ページをフェッチできませんでした。

ERROR 3819

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	uTimとuTim2が等しくありません：
引数	ページ/フレームOID
解説	無効なタイムスタンプのために、正しいページ/ページをフェッチできませんでした。ページのフッターにあるタイムスタンプが、ページのヘッダーにあるタイムスタンプと異なります。

ERROR 3820

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	該当するPEページが取得できません：
引数	ページOID
解説	チェックしたデータ・ページの関数を含むPEページを取得できませんでした。

ERROR 3821

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	PEページの入力OIDが間違っています：
引数	PEページOID
解説	PEエントリに記録されているOIDの所有者が正しくありません。PEエントリが損傷しているかもしれません。

ERROR 3822

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページが存在しません：
引数	ページOID
解説	ページをフェッチできませんでした。ファイルが存在しないことによるものです。

ERROR 3823

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	leafページのチェーンが間違っています：

引数	索引名かOID、最後のリーフ・ページ
解説	リーフ・チェーンを介して数えられるリーフ・ページの数が、索引ツリーの数と異なります。

ERROR 3824

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページを有するファイルの物理サイズがファイル・カタログのものと一致しません
引数	ページOID
解説	ページをフェッチできませんでした。エンジン・カタログのファイル・サイズが物理ファイル・サイズと一致しません。

ERROR 3825

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	間違ったファイル番号、ページ番号：
引数	無し
解説	ページ/フレームに記録されているファイル/ページ数が、ページをフェッチするために使用されるファイル/ページ数に一致しません。

ERROR 3901

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	子ページを取得できません、OIDが間違っています：
引数	親ページOID
解説	ページの子ページ/子レコードを取得できませんでした。

ERROR 3902

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ヘッダの長さとタイプが矛盾しています：
引数	レコードOID
解説	カラムのデータ長が正しくありません。0より小さいか、そのカラムのデータ型と整合していないかチェックして下さい。

ERROR 3903

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ページにあるレコードのデータ型が間違っています：
引数	レコードOID
解説	カラムのデータ型が正しくありません。

ERROR 3904

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	タプルがオーバーラップしています：
引数	レコードOID
解説	お互いにオーバーラップしているレコードが少なくとも2つあります。

ERROR 3906

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スロットのフラグが間違っています：
引数	レコードOID
解説	レコードのスロットのフラグが正しくありません。

☞ 例

レコードが共有されていることと、親レコードであることを、フラグが表示しています。これら2つの文が共存することはできません。

ERROR 3907

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	タプルの位置がデータ領域を超えています：
引数	レコードOID
解説	レコードが間違った位置に配置されました。ページのデータ域に配置する必要があります。

ERROR 3908

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	OIDが正しくないので、親ページを取得できません：
引数	間接レコードOID
解説	インラインBLOBが子(間接)レコードにある親レコードをフェッチできませんでした。

ERROR 3909

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	子タプルのインラインBLOBによって検索された親ページが無効です。
引数	フレームOID
解説	blobタプルは間接的です。しかし、その親タプルのblobヘッダが正しくありません。

4.8 エラーメッセージ 4001 - 4015

ERROR 4001

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBフレームのタイプが無効です：
引数	フレームOID
解説	BLOBフレームの構造が損傷しています。間違ったデータ型がフレームに記録されています。

ERROR 4002

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBフレームのnext linkが無効です：
引数	フレームOID
解説	フレームに記録されている不正なリンクのために、BLOBフレームの構造が損傷しています。或いはBLOBフレームの次のリンクをフェッチすることができませんでした。

ERROR 4003

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBフレームのnext linkが無効です：
引数	フレームOID
解説	間違ったリンクのために、BLOBフレームの構造が損傷しています。

ERROR 4004

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOB oidが無効です：
引数	フレームOID
解説	フレームの記録されたOIDが指定されたOIDと異なります。

ERROR 4005

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	フレームにあるフリー・バイト数が無効です：
引数	フレームOID
解説	データ域にあるフレームの空きスペースの数が正しくありません。

ERROR 4006

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBフレームのPEが割当てられていません：
引数	フレームOID
解説	フレームが割り当てられたと表示していますが、PEエントリがその逆を表示しています。

ERROR 4007

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラム・ディスクリプタのBOLB長が無効です：
引数	フレームOID
解説	BLOBの実際の長さが、ディスクリプタBLOB長(BBHDR)と異なります。両方の値は同じである必要があります。

ERROR 4008

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	small indirect BLOBのOIDが無効です：
引数	レコードOID
解説	indirect BLOBのレコードのページをフェッチすることができませんでした。

ERROR 4009

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	small indirect BLOBの内容が無効です：
引数	レコードOID
解説	small indirect BLOBレコードのスロットのフラグやカラム型が正しくありません。

ERROR 4010

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBの共有数が無効です：
引数	フレームOID
解説	BLOBでカラムでアクセス数を記録する共有数が0です。

ERROR 4011

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBヘッダのタイプが無効です :
引数	レコードOID
解説	BLOB OIDのフラグが正しくありません。(inline、small、huge、file objectのいずれでもない)。

ERROR 4012

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBの表oidが無効です :
引数	レコードOID
解説	BLOBディスクリプタ (BBHDR) に記録されている表OIDが、表のものと一致しません。

ERROR 4013

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	インラインBLOBのカラムIDが間違っています :
引数	レコードOID
解説	BLOBのためのBLOBディスクリプタ (BBHDR) に記録されているカラムID (番号) が、正しいカラムにありません。

ERROR 4014

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	インラインBLOBのレコードIDが間違っています：
引数	レコードOID
解説	BLOBのためのBLOBディスクリプタ（BBHDR）に記録されているレコードOIDが、正しいカラムにありません。

ERROR 4015

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロールオーバー後にこのBLOBは0に切り捨てられました：
引数	フレームOID
解説	表領域バックアップBLOBモードがOFFです。又はバックアップ・モードにBLOBを含んでいない場合、膨大なBLOBはジャーナルには書きこまれません。増分バックアップ・ジャーナル・ファイルはBLOBを含みません。そのため、ロールオーバーの後、元のBLOBはTRUNCATEフラグにセットされます。

4.9 エラーメッセージ 5001 - 5391

ERROR 5001

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY001
Error Message	メモリ不足です
引数	無し
解説	システムのディスク・スペースが一杯です。

ERROR 5002

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	データ変換時にオーバーフローしました
引数	無し
解説	このエラーは次の場合に発生します。 1) 長いデータ型の値を短いデータ型に変換する（長いデータ型の値'2147283600'を短いデータ型に変換する）。 2) 数値データ型「123.44」を4バイトの文字列に変換する。

ERROR 5003

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22018
Error Message	変換時のエラーです（型は互換していますが、このデータは変換できません）
引数	無し
解説	文字型は互換していますが、もう一方に変換することはできません。

☞ 例

CHARACTERデータ型とINTEGERデータ型は互換しています。（お互いに変換することができます。）、但しCHARACTER「abc」を、INTEGER値に変換することができません。

ERROR 5101

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続ハンドルの割当て数が最大値を超えています
引数	最大値はMAX_DCB
解説	接続ハンドルの割り当てが多すぎます。

ERROR 5102

ODBC Return Code	SQL_INVALID_HANDLE
ODBC SQLState	HY000
Error Message	環境ハンドルが無効です
引数	無し
解説	環境ハンドルのポインタがNULL、又は無効です。

ERROR 5103

ODBC Return Code	SQL_INVALID_HANDLE
ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続ハンドルが無効です
引数	無し
解説	接続ハンドルのポインタがNULL、又は無効です。

ERROR 5104

ODBC Return Code	SQL_INVALID_HANDLE
ODBC SQLState	HY000
Error Message	記述ハンドルが無効です
引数	無し
解説	文ハンドルのポインタがNULL、又は無効です。

ERROR 5105

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY012
Error Message	トランザクションの操作コードが無効です
引数	無し
解説	SQL_COMMIT又はSQL_ROLLBACK以外のトランザクション操作オプションを使おうとしました。

ERROR 5106

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08003
Error Message	未接続です
引数	無し
解説	トランザクションの際、クライアントはネットワーク障害についての情報のためにサーバー側にコマンドを送信した後にサーバーと通信することができない時にこのエラーが起こります。

ERROR 5107

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08007
Error Message	トランザクション中に接続に失敗しました
引数	無し
解説	トランザクションの際、クライアントはコマンドが実行されたかどうかを判断するためにサーバーから読み込むことができません。このエラーは、ネット

ワーク障害によるものです。

ERROR 5108

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シングル・アプリケーションから異なるユーザー名で2度同じデータベースに接続することはできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 5109

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	IM001
Error Message	ドライバはこの機能をサポートしていません
引数	無し
解説	無し

ERROR 5110

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY096
Error Message	情報のタイプが許容範囲を超えています
引数	無し
解説	データ型が範囲外です。

➡ 例

SQLGetInfo; fInfoTypeの引数値が無効です。

ERROR 5111

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY110
Error Message	ドライバが情報を表示するかどうかを指示するフラグ値が無効です
引数	無し
解説	フラグ値が無効です。

⇒ 例

SQLDriverConnect: fDriverCompletionの引数値が無効です。

ERROR 5112

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	IM008
Error Message	ドライバがログイン・ダイアログ・ボックスを表示しようとしたが、失敗しました
引数	無し
解説	ダイアログ・ボックス関数コールが失敗しました。

ERROR 5113

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY095
Error Message	関数のタイプが範囲を超えています
引数	無し
解説	関数のタイプが範囲外です。

○ 例

SQLGetFunctions; fFunctionの引数が無効です。

ERROR 5114

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DUMP PLANができません、先にSET DUMP PLAN ONを実行してください
引数	無し
解説	DUMPに無効なシーケンスを使おうとしました。
対策	DUMP計画情報を取得する有効なシーケンスは次のとおりです： SQLSetStmtOption(hstmt, SQL_DUMP_PLAN, SQL_DUMP_PLAN_ON)でdump計画フラグをセットします。 計画長SQLGetStmtOption(hstmt, SQL_PLAN_LEN, &planlen)を取得します。 計画文字列SQLGetStmtOption(hstmt, SQL_PLAN, plan)を取得します。

ERROR 5115

ODBC Return Code	SQL_INVALID_HANDLE
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ディスクリプタ・ハンドルが無効です
引数	無し
解説	ディスクリプタ・ハンドルのポインタがNULL、又は無効です。

ERROR 5116

ODBC Return Code	SQL_INVALID_HANDLE
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ハンドルの種類が無効です
引数	無し
解説	環境、接続、文、ディスクリプタ、BLOB以外のタイプのハンドルを使おうとしました。

ERROR 5117

ODBC Return Code	SQL_INVALID_HANDLE
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBハンドルが無効です
引数	無し
解説	BLOBハンドルのポインタがNULL、又は無効です。

ERROR 5118

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	08003
Error Message	接続文字列のアドレスはdmconfig.iniに対応していません。
引数	無し
解説	DBMasterは接続文字列とdmconfig.iniの間の非互換アドレスをサポートしていません。

ERROR 5119

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	08003
Error Message	接続文字列のポート番号はdmconfig.iniに対応していません
引数	無し
解説	DBMasterは接続文字列とdmconfig.iniの間の非互換ポート番号をサポートしていません。

ERROR 5302

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	07009
Error Message	バインドするカラム数が有効数を超えています
引数	有効なカラム数範囲
解説	入力カラム数が0より小さいです。又はバインドカラム数が選択カラム数より大きいです。或いは、入力カラム数が最大カラム数よりも大きいです。

ERROR 5303

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	07009
Error Message	引数の数が有効範囲外です
引数	パラメータ範囲
解説	入力パラメータ数が0より小さいです。又は入力パラメータ数が実際のパラメータ数よりも大きいです。或いは入力パラメータ数が最大パラメータ数よりも

	大きいです。
--	--------

ERROR 5304

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08002
Error Message	接続は使用中です
引数	無し
解説	既にデータベースに接続している接続ハンドルを使って、データベースに接続しようとしてしました。

ERROR 5305

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08003
Error Message	未接続です
引数	無し
解説	データベースに接続していないユーザーが、データベースに接続してなければならない操作を実行しようとしてしました。

ERROR 5306

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	34000
Error Message	カーソル名が無効なので、カーソルが見つかりません
引数	無し
解説	カーソル名が接続の全コマンド・ハンドルに見つか

	りません。
--	-------

ERROR 5307

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	24000
Error Message	カーソルの記述が無効です
引数	現在の記述
解説	状態遷移エラーです。状態遷移についてはODBCのマニュアルを参照して下さい。

☞ 例

非SELECT文を実行した後のCall SQLFetch

ERROR 5308

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY024
Error Message	引数の値が無効です
引数	無し
解説	特定のオプションで、入力オプション値が有効値の範囲内にありません。

☞ 例

SQLSetConnectAttrのオプションSQL_ATTR_AUTOCOMMITで、有効なオプション値は、SQL_AUTOCOMMIT_ONとSQL_AUTOCOMMIT_OFFのみです。

ERROR 5309

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	07002
Error Message	実行時の引数が不足か、ParamValuePtrがNULLか、IndPtrがSQL_NULL_DATAかSQL_DATA_AT_EXEC、 或いはInputOutputTypeがSQL_PARAM_OUTPUTではありません
引数	必要なパラメータ数
解説	パラメータ・バッファ・ポインタ (argument ParamValuePtr of SQLBindParameter)がNullでインジケータ・ポインタ(引数IndPtr of SQLBindParameter)が SQL_NULL_DATA、SQL_DEFAULT_PARAM、 SQL_DATA_AT_EXECでは無い場合、バインドする パラメータ数が実際のパラメータ数(実行文の?の数) よりも小さいです。或いは出力パラメータでないパラメータ(SQLBindParameterの引数InputOutputType が、SQL_PARAM_OUTPUTではない)です。

ERROR 5310

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY010
Error Message	関数の順序が正しくありません(接続ハンドルは切断後に開放します)
引数	無し
解説	まだ接続している接続ハンドルを解放しようとしてしました。

ERROR 5311

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	34000

Error Message	カーソル名の長さが最大値を超えています
引数	最大カーソル長
解説	無し

ERROR 5312

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY092
Error Message	オプションのタイプが範囲外です
引数	無し
解説	入力オプション値がODBCで定義されていません。

ERROR 5313

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY010
Error Message	関数の順序が正しくありません
引数	現在の状態
解説	状態遷移エラーです。状態遷移についてはODBCマニュアルを参照して下さい。

☞ 例

SQLPrepareを呼び出してSQL文を準備する前にSQLExecuteを実行しました。

ERROR 5314

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザー・データ・アドレスの配置エラー

引数	無し
解説	数値引数ポインタは、適切なアドレスに配置する必要があります。(long、double、floatには4 バイト alignment、shortには2バイトalignmnet)、それ以外ではこのエラーが戻ります。

⇒ 例

引数ParamValuePtr of SQLBindParameterとCには、引数の値を数値にセットします。(long、short、double、float)

ERROR 5315

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	07006
Error Message	データ型の属性が制約違反です (SQLとCデータ間で変換できません)
引数	無し
解説	ODBC標準定義でデータ型が互換していても、特定のSQLとCのデータ型の間で変換することができません。

⇒ 例

SQL_BINARYデータをSQL_C_DOUBLEに変換することはできません。

ERROR 5316

ODBC Return Code	SQL_NEED_DATA
ODBC SQLState	00000
Error Message	引数にデータが必要です
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 5317

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY003
Error Message	プログラムのタイプが無効です
引数	無し
解説	入力SQL_C_TYPEがODBCで定義されていません。

ERROR 5318

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY004
Error Message	SQLデータのタイプが無効です
引数	無し
解説	入力SQL_TYPEがODBCで定義されていません。

ERROR 5319

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY104
Error Message	指定した精度の値が無効です
引数	無し
解説	ユーザーが無効な値を精度に指定しました。（0以下またはそのスケール値以下の値です）。

ERROR 5320

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQL文の長さが最大値を超えています
引数	DB_MAX_I15
解説	SQL文が最大長を超えています。有効な文の長さは65535バイト以下です。

ERROR 5321

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY097
Error Message	カラムのデータ型が範囲外です。
引数	無し
解説	無し

⇒ 例

SQLSpecialcolumn; fColTypeの有効な引数値は、SQL_BEST_ROWIDとSQL_ROWVERのみです。

ERROR 5322

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY098
Error Message	スコープのタイプが無効です
引数	無し
解説	無し

⇒ 例

SQLSpecialcolumn; fScopeの有効な引数値は、SQL_SCOPE_CURROW、SQL_SCOPE_TRANSACTION、SQL_SCOPE_SESSIONのみです。

ERROR 5323

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY099
Error Message	NULL値可のタイプが無効です
引数	無し
解説	SQLSpecialcolumn; fNullableの有効な引数値は、SQL_NO_NULLSとSQL_NULLABLEのみです。

ERROR 5324

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY100
Error Message	一意性オプションのタイプが無効です
引数	無し
解説	SQLStatistics; fUniqueの有効な引数値は、SQL_INDEX_UNIQUEとSQL_INDEX_ALLのみです。

ERROR 5325

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY101
Error Message	精度オプションのタイプが無効です
引数	無し
解説	SQLStatistics; fAccuracyの有効な引数値は、SQL_ENSUREとSQL_QUICKのみです。

ERROR 5327

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY090
Error Message	文字列又はバッファ長が無効です
引数	無し
解説	バッファ長が0より小さいです。又は実行の際 (SQLExecDirect又はSQLExecute)、SQLBindParameterでセットした入力バッファのポインタがnilで、インジケータ・バッファ値がSQL_NULL_DATA、SQL_DEFAULT_PARAM、SQL_DATA_AT_EXEC、SQL_COLUMN_IGNOREではありません。

ERROR 5328

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HYC00
Error Message	ドライバには変換機能がありません
引数	無し
解説	ODBC標準定義でデータ型が互換であっても、特定のSQLとCのデータ型の間で変換することができません。

⇒ 例

SQL_CHARデータ型をSQL_C_LONGに変換することができません。

ERROR 5329

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY105

Error Message	指定した引数fParamTypeの値が無効です
引数	無し
解説	パラメータ値がSQL_PARAM_INPUT、 SQL_PARAM_OUTPUT、 SQL_PARAM_INPUT_OUTPUT以外の値です。

ERROR 5330

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HYC00
Error Message	ドライバにはこの機能がありません
引数	無し
解説	DBMasterのドライバーでこのデータ型又は操作をサポートしていません。

⇒ 例

DBMasterは、操作SQL_C_UBIGINTをサポートしていません。

ERROR 5331

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY010
Error Message	関数の順序が正しくありません(切断後に環境ハンドルを開放します)
引数	無し
解説	無し

ERROR 5332

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY010
Error Message	関数の順序が正しくありません(接続ハンドルを開放後に環境ハンドルを開放します)
引数	無し
解説	無し

ERROR 5333

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY011
Error Message	今回の操作は無効です
引数	無し
解説	対応するイベントが発生しませんでした。正しい順序で取得する必要があるオプションかもしれません。

例

SQL_GET_INCREMENT_VALUEでSQLGetStmtOptionを呼びましたが、insert文ではありません。

ERROR 5334

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベース名の長さがシステムの制限を超えています
引数	無し
解説	無し

ERROR 5335

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザー名の長さがシステムの制限を超えています
引数	無し
解説	無し

ERROR 5336

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	パスワードの長さがシステムの制限を超えています
引数	無し
解説	無し

ERROR 5337

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベース名が無効です
引数	無し
解説	データ・ソースに接続するためにSQLConnectを呼び出そうとしました。使用した入力データベース名が0です。

ERROR 5338

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	BKUP_IDを取得しようとしたが、指定されたバッファのサイズが小さすぎます
引数	必要なバッファ・サイズ
解説	statement オプションを取得するために apiGETStmtAttr() 関数を呼び出しましたが、バッファのサイズが戻り値に対して充分ではありません。

ERROR 5339

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY008
Error Message	操作はすでに取消されました
引数	無し
解説	SQLCancel を呼んだ後に配置操作を続けようとした。

☞ 例

SQLPutData は、大きなデータを入力するために使用します。データ配置の際、SQLCancel が呼ばれました。データ配置操作は、中止されました。SQLParmData と SQLPutData を使ってデータを配置し続けました。データを配置するために、SQL文を実行して最初からやり直す必要があります。

ERROR 5340

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY104
Error Message	スケールの値が無効です
引数	無し

解説	無効なスケールを指定しました。(0より小さい)
----	-------------------------

ERROR 5341

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	07009
Error Message	バインドしようとしているカラムは、すでにバインドされています
引数	無し
解説	既にバインドされているカラムをバインドしようとしてしました。

ERROR 5342

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	更新／削除を実行できるカーソルが見つかりません
引数	無し
解説	カーソルのコマンドが単一表の問合せではありません。

ERROR 5343

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	数字データは2回以上入力できません
引数	無し
解説	INTカラムにデータを代入するために、既にSQLPutDataを呼びました。INTカラムにデータを代

入するために、一度だけSQLPutDataを呼ぶことができます。

ERROR 5344

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このタイプのデータは2回以上入力できません
引数	無し
解説	CHARカラムにデータを代入するために、既にSQLPutDataを呼びました。CHARカラムにデータを代入するために、一度だけSQLPutDataを呼ぶことができます。

ERROR 5345

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	データにアクセスする際のユーザーのバッファに戻るバイト長が符号付きLONG型の限界以上です
引数	無し
解説	LONG VARBINARYデータを回収するために、それをSQL_C_CHARに変換しようとしたましたが、そのLONG VARBINARYのデータのサイズが2147483647/2 (2G/2)より大きいです。

ERROR 5346

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ファイル名が256バイトを超えています (NULL終止符を含む)
引数	ファイル名
解説	無し

ERROR 5347

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クライアントのファイルをオープンできません
引数	ファイル名
解説	ユーザーがサーバーにファイルオブジェクトを保存しようとしたが、サーバーはそのファイルを見つけられません。

ERROR 5348

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クライアントのファイル読み込みエラーです
引数	ファイル名
解説	ファイル・オブジェクト/BLOBカラムとして挿入するために、クライアント・ファイルの中身を読み込みました。

ERROR 5349

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	クライアントのファイル書出しエラーです
引数	ファイル名
解説	クライアント・ファイルにBLOBカラムを取り出しました。

ERROR 5351

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クライアントのファイルが存在しません
引数	ファイル名
解説	無し

ERROR 5352

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クライアント・ファイルがディレクトリになっています。ファイルでなければなりません
引数	ファイル名
解説	無し

ERROR 5353

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22023
Error Message	入力した引数の値か、そのバッファ長が無効なので変換エラーが起きました
引数	無し

解説	入力パラメータ(SQL_C_TYPE)値と入力パラメータのバッファ長が相互に互換していません。
----	---

➡ 例

SQLPutData: パラメータ値が'123'で、バッファ長が20です。

ERROR 5354

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	入力した引数の合計サイズが大きすぎます
引数	無し
解説	1タプルの全入力パラメータの合計データ・サイズが60Kより大きいです。

ERROR 5355

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルの拡張子が7文字を超えています
引数	ファイル拡張子名
解説	無し

ERROR 5356

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	環境ハンドルを割当てられません
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 5357

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY107
Error Message	行の値が範囲を超えています
引数	無し
解説	行の値が範囲外です。

⇒ 例

SQLSetPo: 入力行数が行セットのサイズより大きいです。

ERROR 5358

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQLExtendedFetch()の戻り値は修正できません
引数	無し
解説	SQLExtendedFetch()からの結果セットを修正しようとしてしました。SQLExtendedFetchから結果セットを取得することはできますが、修正できない結果セットがあります。

⇒ 例

単一表から取得した結果セットは修正することができます。複数の表に分かれている結果セットは修正することができません。

ERROR 5360

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQLSetPosとSQLPutDataを使ってBLOBのフィールドを修正する場合、 Rowsetのサイズは1でなければなりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 5361

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	NULL又は初期設定値は 2 回以上入力できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 5362

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一般データを入力した後にNULL値や初期設定値を代入できません
引数	無し
解説	データを入力した後にNull/初期設定にセットしようとしてしました。

☞ 例

SQLPutDataはデータ挿入に使用します。文字列'abc'を入力してから、次の操作で同じパラメータにNull値や初期設定値を入れることはできません。

ERROR 5363

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY109
Error Message	カーソルの位置が無効です
引数	無し
解説	誤った行セットのタプルでの操作を実行しようとして しました。

⇒ 例

行セットから削除されたタプルからデータを取得しようとしてしました。

ERROR 5364

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	入力ファイルのタイプが無効です
引数	無し
解説	無効な入力ファイル型を使おうとしました。ファイ ル・オブジェクトを挿入するには、拡張フェッチか ら取得した結果セットについて、オプション SQL_SPOS_FOのSQLSetStmtAttrでファイル・オブジ ェクトをセットする必要があります。オプション SQL_SPOS_FOの値は、SQL_SPOS_FO_SFILEと SQL_SPOS_FO_CFILEだけです。

ERROR 5365

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY017

Error Message	自動的に割当てられたディスクリプタ・ハンドルの使い方が正しくありません
引数	無し
解説	自動的に割り当てるディスクリプタのハンドルの使用が無効です。 属性引数が、SQL_ATTR_IMP_ROW_DESC、又はSQL_ATTR_IMP_PARAM_DESCです。 属性引数が、SQL_ATTR_APP_ROW_DESC、又はSQL_ATTR_APP_PARAM_DESCです。そしてValuePtrの値が、元々ARDやAPDのために割り当てたハンドル以外に割り当てたディスクリプタ・ハンドルです。

ERROR 5366

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY092
Error Message	属性/オプションの識別子が無効です。属性は読み取り専用、或いはディスクリプタ・フィールドのバッファにある値が無効です。
引数	無し
解説	無し

ERROR 5367

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY016
Error Message	実行中の行ディスクリプタは修正できません
引数	無し

解説	関数（SQLSetDescRec、SQLSetDescField、SQLCopyDesc）を呼び出し、目的のディスクリプタが実行中の行ディスクリプタの際に発生します。
----	---

ERROR 5368

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY021
Error Message	タイプ、精度、及び中間コードが矛盾している、或いはODBCのdate/timeデータ型のバージョンが違います
引数	無し
解説	ディスクリプタの種類、精度、中間コードが整合していません。 ODBC 3.0では、TIME/DATE / TIMESTAMP型にODBC 2.0で定義されたSQL_TIME / SQL_DATE / SQL_TIMESTAMPでは無く、SQL_TYPE_TIME/SQL_TYPE_DATE / SQL_TYPE_TIMESTAMPを使います。

ERROR 5369

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY091
Error Message	フィールドが無効か、読取り専用になっています
引数	無し
解説	SQLColAttribute; 無効な入力属性で呼び出しました。 SQLSetDescField : 読み込み専用で呼び出しました。

○ 例

SQL_DESC_AUTO_UNIQUE_VALUE、
SQL_DESC_BASE_COLUMN_NAME。

ERROR 5370

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	07009
Error Message	レコード数が無効です
引数	無し
解説	入力レコード数が0以下です。(ディスクリプタ関数で)

ERROR 5371

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY009
Error Message	NULLポインタの使い方が無効です
引数	無し
解説	バッファのポインタ引数がnilです。

ERROR 5372

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY017
Error Message	自動割当てのディスクリプタ・ハンドルを開放しようとした
引数	無し
解説	自動割当てのディスクリプタを解放しようとした

た。

ERROR 5373

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQL_DESC_TYPEのフィールドに間違ったタイプを セットしようとしてしました
引数	無し
解説	無し

ERROR 5374

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQL_DESC_CONCISE_TYPEのフィールドに誤った タイプをセットしようとしてしました
引数	無し
解説	無し

ERROR 5375

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	07005
Error Message	記述が準備されましたが、戻り値がありません
引数	無し
解説	これらの関数を記述S2で呼ぶことはできません (prepareの後に生成される結果セットはありません)。 S2はODBCの標準記述です。

ERROR 5376

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY011
Error Message	属性を設定できません
引数	無し
解説	属性は、記述S2, S3, S8, S9, S10にセットします。（これらの状態定義は、ODBCの標準仕様です。）

ERROR 5377

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY106
Error Message	フェッチのタイプが範囲を超えています、又は、 SQL_ATTR_CURSOR_TYPE = SQL_CURSOR_FORWARD_ONLY / SQL_ATTR_CURSOR_SCROLLABLE = SQL_NONSCROLLABLE になっているにも関わらず フェッチ・タイプはSQL_FETCH_NEXTではありませんでした。もしくは、SQL_FETCH_BOOKMARK およびSQL_ATTR_USE_BOOKMARKSステートメント属性を備えたSQLFetchScrollがSQL_UB_OFFにセットされました。
引数	無し
解説	フェッチの種類が範囲外です。 或いは、オプションSQL_ATTR_CURSOR_TYPEの値をSQL_CURSOR_FORWARD_ONLYにセットしました。又はオプション SQL_ATTR_CURSOR_SCROLLABLEの値をSQL_NONSCROLLABLEにセットしました。フェッ

チ命令はSQL_FETCH_NEXTで行います。

ERROR 5378

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22002
Error Message	SQL_DESC_INDICATOR_PTRがNULLポインタとなっているカラムにNULLデータをフェッチしました
引数	無し
解説	回収するNullデータにインジケータ・バッファを割り当てる必要があります。ディスクリプタ関数のオプションSQL_DESC_INDICATOR_PTRで割り当てるインジケータ・バッファのポインタをセットします。

ERROR 5379

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HYC00
Error Message	オプション機能は採用していません
引数	無し
解説	DBMasterはこのオプションをサポートしていません。

ERROR 5380

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY024
Error Message	バインド・オフセット・ポインタの値が無効です
引数	無し

解説	バインド・オフセット・ポインタの値が0より小さいです。
----	-----------------------------

ERROR 5381

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	MS DTCとコミュニケーションできません
引数	無し
解説	Microsoft Distributed Transaction Coordinatorが起動しているか確認して下さい。

ERROR 5382

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SET文のオプション値が無効です
引数	無し
解説	SET文に無いオプション値を入力しました。

☞ 例

SET AUTOCOMMIT文のオプション値は、「ON」か「OFF」のいずれかで、「1」か「2」ではありません。

ERROR 5383

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	割り当てられたBLOBハンドルが多すぎます

引数	最大BLOBハンドル数
解説	最大BLOBハンドル値を越えるBLOB数を割り当てました。

ERROR 5384

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	07006
Error Message	データ型の属性の制約違反です(バインドしたカラムは0ですが、CタイプはSQL_C_BOOKMARKやSQL_C_VARBOOKMARKではありません)
引数	無し
解説	境界カラムは0です。しかし、CタイプはSQL_C_BOOKMARKまたはSQL_C_VARBOOKMARKではありません。

ERROR 5385

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY111
Error Message	ブックマークの値が無効です
引数	無し
解説	属性SQL_ATTR_FETCH_BOOKMARK_PTRを備えたSQLSetStmtAttrによって指定されたブックマーク値は、無効の入力ブックマーク値です。あるいは、ブックマークによって指定されたタプルが削除されたか更新されました。

ERROR 5386

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	07009
Error Message	ディスクリプタの索引が無効です(0カラムをバインドし、SQL_ATTR_USE_BOOKMARKS文の属性がSQL_UB_OFFにセットされています)
引数	無し
解説	0カラムは境界でした。そして、SQL_ATTR_USE_BOOKMARKSステートメント属性はSQL_UB_OFFにセットされました。

ERROR 5387

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY111
Error Message	カーソル位置が定義されていないので、カーソルをnext/prior/relativeに動かすことができません
引数	無し
解説	SQLBulkOperations後に、カーソル位置が設定されていません。

ERROR 5388

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	キャラクタ変換ツールを起動失敗
引数	無し
解説	Iconvを起動時のエラーです

ERROR 5389

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	キャラクタ変換ツールを終了失敗
引数	無し
解説	Iconvを終了時のエラーです

ERROR 5390

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	エラーメッセージのlcodeが無効です
引数	無し
解説	Iconvを終了時のエラーですdmconfig.iniに

ERROR 5391

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なクライアントlcode
引数	無し
解説	dmconfig.ini内またはSQLセットclient_char_setのDB_CLILCODE設定エラー

4.10 エラーメッセージ 5502 - 5518

ERROR 5502

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	サポートしていないカラム型
引数	無し
解説	サポートされていないカラム・データ型を持った表を開いた場合、このエラーが生じます。

ERROR 5503

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なキー名
引数	キー名
解説	COBOLのREAD/START/WRITE/REWRITEステートメントは無効のキー名を持っています。

ERROR 5504

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DBM_EXECSQL()のホスト変数は使用できません
引数	無し
解説	ユーザは、ホスト変数を備えたSQLコマンドを渡すことができません。

ERROR 5506

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なカーソル状態(現在のカーソルはありません)
引数	無し
解説	カーソルがまだ開かれていないか閉じている時、レコードのREADを試みました。

ERROR 5507

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表は読取り専用で開かれています
引数	無し
解説	READ-ONLYで開かれた表へWRITE/REWRITE/DELETEを試みられました。

ERROR 5508

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	挿入/更新/削除の権限がありません
引数	無し
解説	I-Oモードで開こうと試みましたが、ユーザは更新の権限を持っていません。

ERROR 5510

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なDCI接続ハンドル
引数	無し
解説	DCIは、まだ開かれていない接続のために接続ハンドルを使用することを試みました。

ERROR 5511

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なDCI表ハンドル
引数	無し
解説	DCIは、まだ開かれていない表用に表ハンドルを使用することを試みました。

ERROR 5512

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DBM_EXECSQL()で選択クエリーを使えません
引数	無し
解説	ユーザがCOBOLプログラム中でSELECT SQLコマンドを実行することを試みる場合、このエラーが生じます。

ERROR 5513

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	dci接続時のクライアント/サーバのバージョン不適合
引数	無し
解説	DCIランタイムのバージョンは、DBMasterサーバと互換性がありません。 例えばDCI3.71のランタイムがDBMaster 3.7サーバに接続された場合です。 上位バージョンDCIランタイムが下位バージョンのDBMasterサーバに接続する場合、このエラーが返されます。

ERROR 5514

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラム番号が無効です
引数	無し
解説	ユーザのXFD カラム数 > 表カラム数

ERROR 5515

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	XFDカラムが無効、或いはデータ型とサイズが一致しません
引数	無し
解説	ユーザのXFDカラム名あるいはデータ型および長さがテーブル定義と一致しない場合

ERROR 5517

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DCIは単一の表のビューでのみ開くことができます。subq/join/aggregate/dist/unionのあるビューはサポートしていません
引数	無し
解説	ユーザがビューを開いたが、そのビューが単一表出ない場合。

ERROR 5518

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DCIのBLOBデータがNULLです
引数	無し
解説	カラムからBLOBデータを検索しようとしたがデータがNullのときに、このメッセージが返されます。

4.11 エラーメッセージ 5601 - 5642

ERROR 5601

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	xmlパーサの内部エラー
引数	無し

解説	無し.
----	-----

ERROR 5602

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	XMLパーサの一般エラーです。ログファイルを参照して下さい
引数	無し
解説	XMLファイルの解析に失敗しました。特定のエラー・メッセージはログファイルを参照してください。

ERROR 5603

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	元の要素が指定されていません。インポートする元の要素が必要です。
引数	無し
解説	正しいベース要素は、XMLドキュメント輸入の開始点を識別するために、ドキュメント・ルートから指定されなくてはなりません。

ERROR 5604

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	インポートするカラムの合計数とインポート・カラム数が、一致しません。

引数	無し
解説	インポートするカラムの合計数はインポート・カラム数と一致しているべきです

ERROR 5605

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定した元の要素が見つかりません
引数	無し
解説	指定されたベース要素は、ユーザがデータベースへインポートしようとしているXMLドキュメント中に見つけることができません。

ERROR 5606

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	元の要素には属性がありません
引数	無し
解説	xmlファイルをインポートした時、ユーザはcolumn_as_attributeオプションを指定しました。しかし、ベース要素の下に属性はありません。

ERROR 5607

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	インポートしたカラム数は、選択したカラム数と同

	じでなければなりません
引数	無し
解説	インポートするpfXMLカラム数は選択されたカラムの合計数と同じであるべきです。

ERROR 5608

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DTDとカラムが選択されていないのでデータをインポートできません
引数	無し
解説	データ・ベースへXMLデータをインポートする場合、DTDを持っていなければならず、どこのカラムへインポートされることになっているか明示しなければなりません。

ERROR 5609

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベース名の引数をNULL値や空白の文字列にすることはできません
引数	無し
解説	XMLデータを輸入インポートする場合、データベース名を指定しなくてはなりません。

ERROR 5610

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBエクスポートとカラムを属性としてエクスポートするオプションは同時に使用できません
引数	無し
解説	XMLファイルの解析に失敗しました。特定のエラー・メッセージはログファイルを参照してください。

ERROR 5611

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	XML要素は重複する名前を使用することができません。
引数	無し
解説	無し

ERROR 5612

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	XTTの引数が無効です
引数	XTTの無効の引数エラー
解説	可能性のあるエラー原因： 1. XTT APIが必要とする引数がない 2. XTTファイルを開くのに失敗、またはXMLファイルの作成に失敗 3. その他エラー

ERROR 5613

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	xmlパーザ・エラー
引数	Xercesパーサー・エラー
解説	可能性のあるエラー原因： 1. XMLファイルではありません。最小のラインが <?xml version="1.0"?>ではありません 2. XMLファイルはウェル・フォームドではありません 3. 無効のXMLファイルです 4. 他のエラー

ERROR 5614

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効のXTTシンタックス
引数	無効なXTTシンタックス・エラー
解説	可能性のあるエラー原因： 1. 根要素が<xtt:template>ではありません 2. 名前空間が"urn:schema-dbmaster-com:xml-template"ではありません 3. ユーザ定義要素の属性名が重複しています 4. 要求された属性が見当たりません

5. 他のエラー

ERROR 5615

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	XTTプロセス・エラー
引数	XTTプロセス・エラー
解説	可能性のあるエラー原因： 1. 無効な変数参照 2. I/Oエラー 3. 他のエラー

ERROR 5618

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	xml更新内容が無効です
引数	無し
解説	可能性のあるエラー原因： 1.無効な挿入/追加/更新エレメントフラグ 2. 無効な属性名

ERROR 5619

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	xpath式が無効またはサポートされません

引数	無し
解説	無し

ERROR 5620

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	extract値はシングル値を持たなければなりません
引数	無し
解説	可能性のあるエラー原因： 1. Xpath の結果に複数のノードがあります 2. 結果無し、もしくはノードが0です

ERROR 5621

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	w_extractは異なるノード型もしくはノード名にノードを持つことはできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 5622

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	xpath式の見積もり結果が無効です
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 5623

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	xmlupdateに失敗しました
引数	無し
解説	可能性のあるエラー原因： 1. 無効な xpath 式 2. Xpath 結果がブーリアン, 数値 或いは文字列 3. 属性, エレメント、テキスト以外を更新できます 4. エレメントの更新内容が有効なエレメントフラグではありません

ERROR 5624

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	xmlconvertに失敗しました
引数	無し
解説	無効なXpath式があるときこのエラーが返します

ERROR 5625

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	xml更新オプションが無効です

引数	無し
解説	オプション文字列がサポートされていないときにエラーとなります

ERROR 5631

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	XML索引はカラム一つのみ
引数	無し
解説	無し

ERROR 5632

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	UDF引数のXML索引が無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 5633

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	extract()で一意索引を作成できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 5634

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一つのタプルはextractValue()に複数のキーを使用できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 5641

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	XTM APIエラー
引数	XTM APIエラー
解説	可能性のあるエラー原因： 1. Java仮想マシンの作成に失敗 2. 新しいjavaオブジェクトを作成に失敗 3. 他のエラー

ERROR 5642

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	XTMプロセス・エラー
引数	XTMプロセス・エラー
解説	可能性のあるエラー原因：

1. 無効な変数参照
2. I/Oエラー
3. XSL変換エラー
4. 他のエラー

4.12 エラーメッセージ 6002 - 6020

ERROR 6002

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	構文エラー
引数	現在のトークン値
解説	可能性のあるエラー原因： 構文のキーワードが間違っています。 または、数字と識別子の間にデリミタが必要です。

☞ 例

例1：124id。文字列と識別子の間にデリミタが必要です。

例2：'4566'abc。浮動点数の指数に無効な構文があります。

例3：1234e4a。不明な定数データ型定義があります。

ERROR 6003

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	定義した整数型の定数は最小値より小さいです

引数	-(DB_MAX_I31+1)
解説	INTEGER定数が最小INTEGER値(-2147483648)より小さいです。

ERROR 6004

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	定義した整数型の定数は最大値より大きいです
引数	DB_MAX_I31
解説	INTEGER定数が最大INTEGER値(2147483647)より大きいです。

ERROR 6005

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	文字列の片方にシングルのクォーテーション (') がありません
引数	無し
解説	文字列の終りにシングルのクォーテーション (') がありません。

➡ 例

```
INSERT INTO t1 VALUES ('abc);
```

ERROR 6006

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000

Error Message	文字列の片方にダブル・クォーテーション(")がありません
引数	無し
解説	文字列の終りにダブル・クォーテーション(")がありません。

⇒ 例

```
CREATE TABLE "abc (c1 int);
```

ERROR 6007

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	定義されている十進数が最大の桁数を超過しています： 桁数
引数	n_dec_digits最大桁数
解説	DECIMAL定数の数が最大桁数を超過しています。

ERROR 6008

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	最小のノンゼロ浮動小数点数が最小値より小さいです
引数	Minexp
解説	浮動点数が最小DOUBLE浮動点値より小さいです。

ERROR 6009

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY019
Error Message	最小の浮動小数点数は近似値です
引数	-maxexp
解説	無し

ERROR 6010

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	最大の浮動小数点数は近似値です
引数	-maxexpからmaxexp
解説	最大浮動点数は、おおよそ -(最大高精度浮動点値)から最大浮動点値です。この範囲外の数字があったらこのエラーが返します。

ERROR 6011

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22018
Error Message	16進数の定数に認識できない文字があります
引数	無効な16進数トークン
解説	このエラーは16進法定数' 12pk' xが無効の時返されます。有効な16進数の有効範囲は0-Fです。

☞ 例

16進数の定数'12pk'xは無効です。16進数の有効域は、0からFです。

ERROR 6012

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	クォーテーション間に16進数のデータが必要です
引数	無し
解説	クォーテーション (') で括った文字列に16進数の文字がありません。

☞ 例

```
'x
```

ERROR 6013

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22018
Error Message	16進数の定数は偶数桁です
引数	無し
解説	16進数の定数として奇数桁の数字を入力しようとしました。

☞ 例

```
'123'x
```

ERROR 6014

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	定数のデータ型の定義が無効で、'}'が必要です
引数	無し

解説	以下が正しい定数データ型定義のデータのフォーマットです。 {d '12-31-94'} time: {t 'xxxxxxx'} timestamp: {ts 'xxxxxxx'} hex : {x '12345678'} ;上記のケースでは文字列の直ぐ後に"}"がない場合ODBCでは指定されません。
----	--

➡ 例

```
{d '12-31-94' afdsf
```

ERROR 6015

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	不完全なSQL文です
引数	無し
解説	記述したSQL文が不完全です。

➡ 例

```
SELECT * FROM ;
```

ERROR 6017

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	結合する表にON<検索条件>がないので、JOIN構文が無効です
引数	無し
解説	外部ジョイン構文が無効です。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 LEFT OUTER JOIN t2, t3 LEFT OUTER t4 ON t3.c1 = t4.c9  
WHERE t1.c1 = t2.c1;
```

ERROR 6018

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	構文エラー、或いは予約語を使用しました
引数	無し
解説	予約語がデータベース・オブジェクトを指定するために使用される場合、このエラーが返されます。

☞ 例

```
1.CREATE GROUP PUBLIC;
```

ERROR 6019

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	GROUP BYの中に定数は使用できません
引数	無し
解説	SELECT文の中でGROUP BYを使用する場合にグループ化のために定数を使用することができません。

☞ 例

```
select sum(c1) from t1 group by 1;
```

ERROR 6020

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	42000

Error Message	ホスト変数またはインジケータ名の長さが最大長を超えています
引数	無し
解説	select c1 from t1.
該当箇所	hv123456890123456789012345678901 :ind123456890123456789012345678901

4.13 エラーメッセージ 6101 - 6199

ERROR 6101

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	命令ハンドルの割当てが多すぎます
引数	最大命令ハンドル数
解説	SQLAllocHandle (SQL_HANDLE_STMT)の呼び出し数が、接続当たりの命令ハンドルの最大数を越えています。

ERROR 6103

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	3C000
Error Message	カーソル名が重複しています
引数	無し
解説	カーソル名が、SQLSetCursorName()で重複して定義されています。

ERROR 6105

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	制限事項か、サポートされていない機能です
引数	無し
解説	SQLの制約によるエラー、又はサポートされていない機能によるエラーです。

⇒ 例

```
SELECT c1, sum(DISTINCT c2+100) FROM t1 GROUP BY c1;
```

集計関数内でDISTINCTを指定しました。

```
CREATE DOMAIN Ed2 int default?;
```

ホスト変数で表、又はドメインEd2 int default ?を作成しようとしてしました。

ERROR 6107

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	23000
Error Message	整合性制約に反しています (NULLを非NULLカラムに挿入しようとしています)
引数	無し
解説	NULL不可のカラムにNULL値を挿入しようとしてしました。

⇒ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 INT NOT NULL);
```

```
INSERT INTO t1 VALUES (NULL);
```

ERROR 6109

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	UNIONのカラム数が一致しません
引数	2つのユニオン表のカラム数
解説	2つのユニオン表のカラム数が異なります。

⇒ 例

2つのユニオン表の内、1つには3つのカラムがあり、もう一方には2つのカラムがあります。

ERROR 6110

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	集計関数の数が最大値を超えています
引数	最大集計数
解説	集計関数の数が、1問合せ当たりの最大集計関数の最大数を超えています。

⇒ 例

```
SELECT max(c1), sum(c1), .... FROM t1 GROUP BY c2;
```

ERROR 6111

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	WHERE句に集計関数或いはwindow関数の使用はできません

引数	無し
解説	WHERE句に集計関数を指定しています。

⇒ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE SUM(c1) > 200;
```

ERROR 6112

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	副問合せに無効な記述がありました
引数	無し
解説	副問合せの選択カラムの数が複数です。

⇒ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE c1 = (SELECT c1,c2 FROM t2);
```

ERROR 6113

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部参照カラムを集計に使用できません
引数	無し
解説	集計関数で外部参照カラムを使おうとしました。

⇒ 例

```
SELECT c1 FROM t1 WHERE c1 = (SELECT MAX(t1.c1) FROM t2);
```

集計max()は、外部表のカラムt1.c1を参照しています。

ERROR 6114

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SELECT のINTO句のビューはサポートされていません
引数	無し
解説	SELECT のINTO句にビューを指定しました。

☞ 例

```
CREATE VIEW v1 AS SELECT * FROM t1;
SELECT * FROM t2 INTO v1;
```

ERROR 6115

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引又は表のフィルファクタが無効です
引数	フィルファクタの有効範囲は50 ~ 100
解説	誤ったフィルファクタ値で表を作成/修正しようとしました。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int) FILLFACTOR 30;
ALTER TABLE t1 SET FILLFACTOR 30;
```

ERROR 6116

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ビューの生成時にホスト変数は使用できません
引数	無し
解説	ビューを作成する際に、ホスト変数を指定しました。

☞ 例

```
CREATE VIEW v1 AS SELECT * FROM t1 WHERE c1 = ?;
```

ERROR 6117

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビュー／表の作成時にカラム名としてOIDを使用することはできません
引数	無し
解説	表/ビューを作成する際にOIDを名称として指定しようとした。OIDは予約語なので、表やビュー名に使用できません。

☞ 例

```
CREATE VIEW vioidname (OID, c2) AS SELECT c1, c2 FROM t1;  
CREATE TABLE t1 (c1 int, oid int);  
SELECT oid FROM t1 INTO tmp1;
```

tmp1は、存在しない一時表です。

ERROR 6118

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	参照する表の数が最大値を超えています

引数	参照される最大表数
解説	問合せで参照される合計表数が最大値を超えています。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1,t2, ... tn;
```

ビューで参照される表の合計数が最大値を超えています。

ERROR 6119

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表名が一意ではありません
引数	一意でない表名
解説	問合せの中に、相関名を定義しない重複する表名が定義されています。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1, t1 WHERE t1.c1 = t1.c1;
```

問合せは以下のように記述します。

```
SELECT * FROM t1 a, t1 b WHERE a.c1 = b.c1;
```

ERROR 6120

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラム名が一意ではありません
引数	一意でないカラム名
解説	ジョインした表に重複するカラムがあります。

○ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int, c2 int);  
CREATE TABLE t2 (c1 int, c3 int);  
SELECT * FROM t1,t2 WHERE c1 = c3;
```

表t1とt2のいずれにもカラムc1があります。ユーザーは以下のように、表名を指定する必要があります。

```
SELECT * FROM t1,t2 WHERE t1.c1 = c3;
```

ERROR 6121

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部参照カラムの数が最大値を超えています
引数	最大外部参照カラム数
解説	問合せの中の外部参照カラム数が最大値を超えています。

○ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE EXISTS (SELECT c1 FROM t2 WHERE t1.c1 = t2.c1 AND  
t1.c2 = t2.c1 AND ... t1.nn = t2.nn;
```

nnは、最大外部参照カラム数を超えています。

ERROR 6122

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	1つのカラムに対し、2つ以上の値を挿入又は変更しようとしています
引数	操作したカラム名
解説	複数の値をカラムに挿入/更新しようとしてしました。

➤ 例

```
INSERT INTO t1(c1, c1, c2) VALUES (1, 2, 3);  
UPDATE t1 SET c1 = 1, c1 = 2;
```

ERROR 6123

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	集計の述語に不正なカラムがあります
引数	無し
解説	集計DISTINCTの関数に不正なカラムがあります。

➤ 例

```
SELECT c1,SUM(DISTINCT c2,c5>'aaa') FROM t1 GROUP BY c1;
```

集計DISTINCTでは、述語にDISTINCTカラムのみ含むことができます。

ERROR 6125

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	21S01
Error Message	ソースカラムの数がターゲット表にあるカラム数より多いです
引数	無し
解説	ソース問合せで指定したカラム数が、ターゲット表のカラム数よりも多いです。

➤ 例

```
SELECT c1, c2 FROM t1 INTO t2;
```

t2にはカラムは1つしかありません。

ERROR 6126

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	21S01
Error Message	ソースカラムの数がターゲット表にあるカラム数より少ないです
引数	無し
解説	ソース問合せで指定したカラム数が、ターゲット表のカラム数よりも少ないです。

☞ 例

```
SELECT c1, c2 FROM t1 INTO tt2 (c1, c2, c3);
```

tt2表は存在しません。

ERROR 6127

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	21S01
Error Message	挿入する値のリストと定義されているカラムのリストが一致しません
引数	無し
解説	挿入する値のリストが定義カラムのリストと一致しません。

☞ 例

```
INSERT INTO t1 (c1, c2) VALUES (1, 2, 3);
```

ERROR 6128

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	21S01
Error Message	挿入する値の数が表のカラム数を超過しています
引数	表定義のカラム数
解説	表に挿入したカラム数が、表のカラム数を超過しています。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int, c2 int);  
INSERT INTO t1 VALUES(1, 2, 3);
```

ERROR 6129

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	21S02
Error Message	ビューのカラム数がプロジェクションのカラム数と一致しません
引数	無し
解説	ビューのためのカラム数が、選択カラム数と一致しません。

☞ 例

```
CREATE VIEW v1 (e1) AS SELECT c1,c2 FROM t1;
```

ERROR 6130

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	記述に無効な演算があります
引数	無し

解説	使用したデータ型には無効な演算です。
----	--------------------

⇒ 例

```
SELECT c1 || c2 FROM t1;
```

c2はINTEGERデータ型です。

ERROR 6131

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表は削除できません
引数	無し
解説	システム表を削除しようとしてしました。

⇒ 例

```
DROP TABLE SYSTEM.SYSTABLE;
```

ERROR 6132

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表の索引は削除できません
引数	無し
解説	システム表から索引を削除しようとしてしました。

⇒ 例

```
DROP INDEX systemidx FROM SYSTEM.SYSTABLE;
```

ERROR 6133

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表には索引を作成できません
引数	無し
解説	システム表に索引を作成しようとしてしました。

➡ 例

```
CREATE INDEX systemidx ON SYSTEM.SYSTABLE (INDEX_NAME);
```

ERROR 6134

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーは自分のオブジェクトしか作成できません
引数	表、シノニム、ドメイン等のようなオブジェクト名
解説	DBA権限の無いユーザーが他のユーザーのオブジェクトを作成しようとしてしました。

➡ 例

```
CREATE TABLE u2.t1 (c1 int);
```

リソース権限のあるユーザーu1が上記を実行しました。

ERROR 6135

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	OIDの記述が無効です
引数	無し
解説	式に無効なOID演算があります。

⇒ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE OID IN (SELECT OID FROM t1);
```

ERROR 6137

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レコードのサイズが大きすぎるので、保存できません
引数	無し
解説	選択カラムのデータの合計サイズが、ページサイズを超えています。

⇒ 例

```
SELECT c1,c1 FROM t1;
```

c1は3000バイトのcharです。

ERROR 6138

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	使用されているセーブポイントが多すぎます
引数	無し
解説	SAVEPOINT構文を使って定義しようとしたセーブポイントが多すぎます。

ERROR 6139

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	未定義のセーブポイントを参照しようとした
引数	無し
解説	定義されていないSAVEPOINT名にロールバック、又は削除しようとした。

☞ 例

```
ROLLBACK TO sv5;
```

セーブポイントsv5は存在しません。

ERROR 6140

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	セーブポイントの再定義はできません
引数	無し
解説	SAVEPOINT構文でセーブポイント名を再定義しようとした。

☞ 例

```
SAVEPOINT sv2;  
SAVEPOINT sv2;
```

ERROR 6141

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DISTINCT/AGGREGATE/SORT/JOIN問合せてOIDをフェッチできません
引数	無し

解説	DISTINCT/AGGREGATE/SORT/JOIN問合せからデータをフェッチしようとしてOID句を使用しました。
----	---

⇒ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE OID = ? ORDER BY 1;
```

ERROR 6142

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S22
Error Message	完全修飾のカラム名が無効です
引数	無効な完全修飾のカラム名
解説	存在しない完全修飾のカラム名を呼びました。

⇒ 例

```
SELECT SYSADM.t1.cc1 FROM t1;
```

t1にはカラムcc1がありません。

ERROR 6143

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S22
Error Message	カラム名が無効です
引数	無効に認証されたカラムのカラム名
解説	存在しない表のカラムを指定しました。

⇒ 例

```
SELECT t1.cc1 FROM t1;
```

t1にはカラムcc1がありません。

ERROR 6144

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	GROUP BYのカラム・リストに重複したカラムがあります
引数	無し
解説	GROUP BYカラム・リストに指定したカラムが重複しています。

☞ 例

```
SELECT c1, SUM(c2) FROM t1 GROUP BY c1, c1;
```

ERROR 6145

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非集計カラムは必ずGROUP BY句の中に指定する必要があります
引数	無し
解説	非集計カラムはGROUP BY句のリストの中に加える必要があります。

☞ 例

```
SELECT c1, c3, SUM(c2) FROM t1 GROUP BY c1;
```

c3を、プロジェクトの一覧に表示することができません。

ERROR 6146

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	GROUP BYのカラムのみがGROUP BY問合せで外部参照カラムとして使用できます
引数	無し
解説	GROUP BYカラム以外のカラムは、問合せで参照として使われます。

☞ 例

```
SELECT c1, SUM(c2) FROM t1 GROUP BY c1 HAVING (SELECT c2 FROM t2 WHERE t2.c1 > t1.c3);
```

t1.c3 は、副問合せのための外部参照カラムになることはできません。

ERROR 6147

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	GROUP BY リストに存在しない非集計カラムは HAVING 句に指定できません
引数	無し
解説	GROUP BYリストに無い非集計カラムがHAVING句にあります。

☞ 例

```
SELECT c1, SUM(c2) FROM t1 GROUP BY c1 HAVING c3 > 100;
```

c3は計画リストに表示されません。

ERROR 6148

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ユーザーが定義したOIDの値が無効です
引数	無し
解説	問合せの中で間違ったOID値を指定しました。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE OID = '001234'x;
```

ERROR 6149

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続はありません
引数	無し
解説	存在しないセッションが他のユーザーによって切断されました。又は存在しないセッションを切断しようとした。

ERROR 6150

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22018
Error Message	INSERT/UPDATE値のタイプとカラムのデータ型が矛盾しているか、比較オペランドの値と記述したカラムのデータ型が矛盾しています
引数	無し
解説	無し

☞ 例

```
UPDATE SET c1=100 ...;
INSERT INTO ... (100);
```


c1のデータ型は、intと互換しません。

```
c1 > 100, c1+100, 100 > 'aaa';
```

式記述。

ERROR 6151

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プロジェクト・リストがORDER BYの数におよびません
引数	無効なORDER BY数
解説	ORDER BYで指定した数が選択リストにありません。ORDER BY数は、リストされた選択カラムの数以下にします。

例

```
SELECT c1, c2 FROM t1 ORDER BY 3;
```

ORDER BY数は1か2でなければなりません。

ERROR 6152

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	入れ子集計を指定しています
引数	無し
解説	入れ子の集計を試みました。

例

```
SELECT SUM(c1, SUM(c2) > 20) FROM t1;
```

```
SELECT SUM(SUM(c1)) FROM t1.
```

ERROR 6153

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ORDER BY句のカラム数が最大値を超えています
引数	ORDER BYカラム句の最大数
解説	ORDER BYカラム句の数が許容値を超えました。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 ORDER BY c1, c2, ..., n;
```

nは最大数を超えています。

ERROR 6154

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ORDER BY句のカラムが重複しています
引数	重複するカラム名
解説	重複するカラムがORDER BY句のカラム・リストにあります。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 ORDER BY c1,c1;
```

ERROR 6157

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	述語の数が最大値を超えています
引数	無し

解説	述語の要素数が、最大値255を超えています。
----	------------------------

ERROR 6158

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表が変更できません(主キーの削除/作成..)
引数	無し
解説	システム表を修正しようとしました。

⇒ 例

```
ALTER TABLE SYSTEM.SYSTABLE DROP PRIMARY KEY;
```

ERROR 6159

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	IN / ANY / ALL問合せにNULLや初期設定値は指定できません
引数	無し
解説	IN / ANY / ALL問合せの中にNULLやDEFAULTを指定しました。

⇒ 例

```
SELECT * FROM tb1 WHERE tb1.c1 in (1,2,NULL);  
SELECT * FROM tb1_d1 WHERE c1 = any(NULL);  
SELECT * FROM tb1_d1 WHERE c1 = all(NULL);
```

ERROR 6161

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビューに対してこの操作はできません
引数	無し
解説	ビューに次のような無効な操作を行いました。 例1：ビューを削除するために表構文を使用しました。 例2：ビューで索引を作成しました。 例3：ビューでシグネチャーを作成しました。 例4：ビューで修正しようとしてしました。 例5：ビューでロックしようとしてしました。

☞ 例

```
LOCK TABLE v1 IN SHARE MODE WAIT;
```

ERROR 6164

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トリガー/レプリケーション/外部JOIN文で副問合せは使用できません
引数	無し
解説	トリガー／レプリケーション／外部JOIN（結合）文で、副問合せを使おうとしてしました。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 LEFT OUTER JOIN t2 ON t1.c1=t2.c2 AND t2.c1 = (SELECT t1.c1 FROM t1 WHERE t1.c1=2);
```

ERROR 6166

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	集計またはwindow関数でカラム値が更新できません
引数	無し
解説	集計値またはwindow関数を使ってカラムを更新しようとした。

⇒ 例

```
UPDATE t1 SET c1 = MAX(c2);
```

ERROR 6167

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	パラメータ数が最大値を超えています
引数	最大パラメータ (MAX_PARM_NUM)
解説	1つの演算に使用するパラメータが多すぎます。

⇒ 例

```
SELECT c1+??+?...+? FROM t1;
```

ERROR 6168

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なエスケープ文字列。エスケープ文字列に2文字以上のキャラクタは使用できません
引数	無し

解説	ユーザーがエスケープ操作で2文字以上のキャラクタを使用しようとする、このエラーが返されます。
----	--

➡ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE c1 LIKE 'a%' ESCAPE 'aa';
```

ERROR 6169

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	順列型でないデータのソートはできません
引数	無し
解説	BLOBのような順列型でないデータのソートを試みました。

➡ 例

```
SELECT c1 FROM t1 ORDER BY c1;  
  
(SELECT c1 FROM t1) UNION (SELECT c1 FROM t1);
```

c1はBLOBデータ型。

ERROR 6170

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOB型のデータに対し、SELECT INTO / INSERT INTO文は使用できません
引数	無し
解説	SELECT INTO / INSERT INTO文でBLOBデータ型を使おうとしました。

☞ 例

```
SELECT c1 FROM t1 INTO t2;
```

c1はBLOBデータ型。

ERROR 6171

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	名前が長すぎるので無効です
引数	無し
解説	ユーザー名が長すぎます。

☞ 例

```
GRANT CONNECT TO taipei_headquater_asia_pacific_division_marketing;
```

ERROR 6172

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表がすでに問合せで参照されている場合は、この表をSELECT INTO句に使用できません
引数	無し
解説	既に参照されている表をSELECT INTO句に使用しようとした。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 INTO t1;
```

ERROR 6173

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	DISTINCT/AGGREGATE/SORT/JOIN問合せでは、FOR UPDATE句は使用できません
引数	無し
解説	DISTINCT/AGGREGATE/SORT/JOIN問合せで更新しようとした。

☞ 例

```
SELECT DISTINCT c1,c2 FROM t1 FOR UPDATE;  
SELECT * FROM t1,t2 WHERE t1.c1 = t2.c1 FOR UPDATE;
```

ERROR 6174

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部JOINが使用できません： JOIN-FACTORが無い かOR演算子にJOIN-FACTORがあります
引数	無し
解説	OR演算子で外部ジョインを試みました。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 OUTER t2 WHERE t1.c1 = t2.c1 OR t1.c1 > 100;
```

ERROR 6175

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	UPDATE可能と宣言されていないカラムに対し、 UPDATE/DELETEカーソルの使用はできません
引数	無し

解説	更新可能と宣言されていないカラムに対し、カーソルを更新/削除しようとしてしました。
----	---

➡ 例

```
curl: select c1,c2,c3 from t1; => did not have update clause;
UPDATE t1 SET c3=1000 WHERE CURRENT OF curl;
```

ERROR 6176

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SERIALデータ型はドメインに定義できません
引数	無し
解説	ドメインにSERIALデータ型を定義しようとしてしました。

➡ 例

```
CREATE DOMAIN serialtype SERIAL(2147483646);
```

ERROR 6177

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	自動コミットをONにしている時に、SAVEPOINTは設定できません
引数	無し
解説	無し

➡ 例

```
SET AUTOCOMMIT ON;
SAVEPOINT svp1;
```

ERROR 6178

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビューを定義する際にOIDカラムは指定できません
引数	無し
解説	ビュー定義にOIDカラムを参照しました。

☞ 例

```
CREATE VIEW v1 AS SELECT OID FROM t1;
```

ERROR 6179

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOB/CLOBカラムを他のカラムに更新できません
引数	無し
解説	他のカラムをBLOB/CLOBカラムに更新しようとした。或いはBLOB/CLOBカラムを他のカラムに更新しようとした。

☞ 例

```
CREATE TABLE document (c1 char(10), c2 long varchar(10));  
UPDATE document SET c1 = c2;
```

ERROR 6180

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル名が長すぎます

引数	ファイル名
解説	移動するファイル・オブジェクトのファイル名構文が長すぎます。

ERROR 6181

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル名が絶対パスではありません
引数	ファイル名
解説	ファイル名に絶対パス名を使用しませんでした。

⇒ 例

```
MOVE FILE OBJECT "a.c" TO "/disk2/";
```

ERROR 6182

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ターゲットのファイル名に'*'は含めません
引数	ファイル名
解説	無し

⇒ 例

```
MOVE FILE OBJECT "a.c" TO "C:/disk2/*";
```

ERROR 6183

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ターゲットのファイル名は必ず最後にスラッシュの付いたディレクトリです
引数	ファイル名
解説	無効な構文でデータを他のディレクトリに移動しようとした。構文の最後は、必ずバックスラッシュ「\」になります。

⇒ 例

```
MOVE FILE OBJECT '/disk1/' to 'c:/disk2/fo';
```

ERROR 6184

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソースファイル名に2つ以上の'*'は含めません
引数	ファイル名
解説	無効な構文で、データを他のディレクトリに移動しようとした。構文に余計な「*」記号を指定しました。

⇒ 例

```
MOVE FILE OBJECT '/disk1/d*a*.c' to 'c:/disk2/';
```

ERROR 6185

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソースファイル名に、'*'の後に / があってはなりません
引数	ファイル名

解説	無効な構文でデータを別のディレクトリに移動しようとした。ソースファイル名内の'*'の後に / を指定しています
----	---

☞ 例

```
MOVE FILE OBJECT '/disk1/a*d/a.c' TO 'c:/disk2/';
```

ERROR 6186

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DBA権限を持つユーザーのみはファイル・オブジェクトを移動することができます
引数	無し
解説	無し

ERROR 6187

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システムの内部障害、或いはファイルが損傷しています。
引数	無し
解説	エンジンからSQLI rcのマップ用

ERROR 6188

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	GROUP BY句には集計関数は使用できません

引数	無し
解説	GROUP BY句に集計関数を指定しています。

➡ 例

```
SELECT c1 FROM t1 GROUP BY MIN(c1);
```

ERROR 6189

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データを書込む前に、表はすでに変更されました
引数	無し
解説	SQLPutData()関数を使って表にデータを挿入しようとしたが、表は既に他の処理によって修正されています。

ERROR 6194

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	INSERTトリガーイベントの文トリガーや行トリガーにはOLD相関名は使用できません
引数	無し
解説	行/文トリガーの挿入トリガーイベントに「OLD」相関名を使用しようとした。

➡ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 AFTER INSERT ON t1 FOR EACH ROW (INSERT INTO t2  
VALUES (OLD.c1, NEW.c2));
```

ERROR 6195

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DETETEトリガーイベントの文トリガーや行トリガーにはNEW関連名は使用できません
引数	無し
解説	行/文トリガーの削除トリガーイベントに「NEW」関連名を使用しようとしてしました。

🔄 例

```
CREATE TRIGGER trig1 BEFORE DELETE ON t1 FOR EACH STATEMENT (INSERT INTO t3 VALUES (OLD.c1, NEW.c2));  
  
CREATE TRIGGER trig2 BEFORE DELETE ON t1 FOR EACH ROW (INSERT INTO t2 VALUES (OLD.c1, NEW.c2));
```

ERROR 6196

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表やビューにトリガーは作成できません
引数	無し
解説	一時表やビューにトリガーを作成しようとしてしました。

🔄 例

```
CREATE TRIGGER trig1 BEFORE INSERT ON v1 FOR EACH STATEMENT (INSERT INTO t2 VALUES (100));
```

v1はビューです。

ERROR 6197

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表にトリガーは作成できません
引数	無し
解説	システム表にトリガーを作成しようとしてしました。

⇒ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 BEFORE INSERT ON SYSTEM.SYSTABLE FOR EACH STATEMENT
(ININSERT INTO t2 VALUES (100));
```

ERROR 6198

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	UPDATE OF句のカラムは他のトリガーが既に使用しているので無効です
引数	無し
解説	別のトリガーで使用されているカラムをトリガーに使用しようとしてしました。

⇒ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 AFTER UPDATE OF c1,c2 ON t1 FOR EACH STATEMENT
(ININSERT INTO t2 VALUES (100));

CREATE TRIGGER trig2 AFTER UPDATE OF c2,c3 ON t1 FOR EACH STATEMENT
(ININSERT INTO t2 VALUES (100));
```

ERROR 6199

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	UPDATEトリガーがすでに存在するのでUPDATE-OF-COLUMNトリガーは作成できません
引数	無し
解説	更新トリガーが既に存在する場合に「カラムで更新」トリガーを作成しようとしてしました。或いは、「カラムで更新」トリガーが既に存在する場合に更新トリガーを作成しようとしてしました。

㊟ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 AFTER UPDATE ON t1 FOR EACH STATEMENT (INSERT INTO  
t2 VALUES (100));  
  
CREATE TRIGGER trig2 AFTER UPDATE OF c1 ON t1 FOR EACH STATEMENT (INSERT  
INTO t2 VALUES (100));
```

4.14 エラーメッセージ 6201 - 6344

ERROR 6201

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カスケードするトリガーが最大レベルを超えています
引数	トリガーの最大レベル
解説	1つのイベントでカスケードするトリガーを65以上指定しました。

ERROR 6202

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	相関名が定義されていません

引数	相関名
解説	SQL文に定義されていない相関名を使用しています。

☞ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 AFTER UPDATE ON t1 FOR EACH ROW WHEN (PRE.c1 >
POST.c1) (INSERT INTO t2 VALUES (100));
```

PREとPOSTが、相関名として定義されていません。初期設定は、OLDとNEWです。

ERROR 6203

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	相関名が重複しています
引数	無し
解説	1つの構文に2度同じ相関名を使用しています。

☞ 例

```
CREATE TRIGGER tr1 AFTER UPDATE ON t1 REFERENCING OLD AS POST NEW AS
POST FOR EACH ROW (INSERT INTO t2 VALUES (100));
```

ERROR 6207

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リモート接続数が制限を超えています
引数	リモート・データベース、リモート・サーバー（存在する場合）
解説	リモート接続数がライセンスの限界を超えています。

ERROR 6208

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	グローバル・トランザクションレベルが制限を超えています
引数	リモート・データベース、リモート・サーバー(ある場合)
解説	グローバル・トランザクション・レベルが限界を超えました。

ERROR 6210

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	不明なコーディネーター/データベース名
引数	無し
解説	リモート・データベース名が、dmconfig.iniファイルに存在しません。

ERROR 6211

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リモートエラーが発生しました
引数	リモート・データベース、リモート・サーバー(存在する場合)
解説	このエラーは、リモート・データベースで発生します。

ERROR 6212

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定したリンクがクローズできません (このリンクが存在しません)
引数	データベース・リンク
解説	存在しないリンクを閉じようとしてしました。

ERROR 6213

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トランザクションで使用中のリンクはクローズできません
引数	データベース・リンク
解説	リンクを閉じようとしてしましたが、アクティブなトランザクションがあります。

ERROR 6214

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	'all'という名前のリンクは作成できません
引数	無し
解説	"all"という名前のリンクを作成しようとしてしました。

ERROR 6215

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	すべてのデータベース・リンクを削除することはできません
引数	無し
解説	全てのデータベース・リンクを削除しようとした。

ERROR 6216

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トランザクションが使用中なので、全てのデータベース・リンクを閉じることはできません
引数	無し
解説	全てのデータベース・リンクを閉じようとしたが、アクティブ・トランザクションがあります。

ERROR 6217

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定したリンクは使用中のリンクと同じ名前なので作成できません
引数	データベース・リンク
解説	無し

ERROR 6218

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	分散データベース・モードがOFFになっています
引数	無し
解説	ユーザーがDD_DDBMd=1をセットしていません。 又はライセンスでDDB関数が認められていません。 DD_DDBMdは、dmconfig.iniファイルにセットします。
対策	DD_DDBMd=1をセットします。 ライセンスをアップグレードし、DD_DDBMd=1を セットします。

ERROR 6219

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プロジェクトが見つかりません
引数	無し
解説	削除しようとするプロジェクトが見つかりません。

☞ 例

```
DROP PROJECT pj1;
```

ERROR 6220

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ここではホスト変数不能使用できません
引数	無し

解説	ホスト変数を使おうとしましたが、このSQL文には使用できません。
----	----------------------------------

⇒ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 BEFORE INSERT ON t1 FOR EACH STATEMENT (INSERT INTO t2 VALUES (?,?));
```

ERROR 6221

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ここではREFERENCING句は使用できません
引数	無し
解説	文トリガーにREFERENCING句を指定しています。

⇒ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 BEFORE UPDATE ON t1 REFERENCING NEW AS post OLD AS pre FOR EACH STATEMENT (INSERT INTO t2 VALUES (111,222,333,'aaaa'));
```

ERROR 6222

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	モジュールはすでに他のプロジェクトとリンクしています。1つのモジュールがリンクできるプロジェクト数は1です
引数	無し
解説	ESQL/Cプログラムに、複数のプロジェクトにリンクしているモジュール名を使おうとしました。

☞ 例

```
dmpgcc -d xxx -u xxx -m module1 -j pj1 file1.c dmpgcc -d xxx -u xxx -m module1 -j pj2 file2.c;
```

ERROR 6223

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効な時間間隔です
引数	有効な範囲
解説	無し

ERROR 6224

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト・ビットの長が無効です
引数	有効な範囲
解説	無効なテキスト・ビット長を使って、テキスト索引を作成しようとしてしました。

☞ 例

```
CREATE TEXT INDEX tidxl ON sigt1 (c1) BASIC BIT LENGTH 0;
```

ERROR 6225

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クラスタ幅が無効です
引数	有効な範囲

解説	無効なクラスタ幅を使って、テキスト索引を作成しようとした。
----	-------------------------------

⇒ 例

```
CREATE TEXT INDEX tidxl ON sigt1 (c1) CLUSTER WIDTH 0;
```

ERROR 6226

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト・ブロック サイズが無効です
引数	有効な範囲
解説	無効なテキスト・ブロック・サイズを使って、テキスト索引を作成しようとした。

⇒ 例

```
CREATE TEXT INDEX tidxl ON sigt1 (c1) TEXT BLOCK SIZE 0;
```

ERROR 6227

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表にテキスト索引は作成できません
引数	無し
解説	システム表にテキスト索引を作成しようとした。

⇒ 例

```
CREATE TEXT INDEX tidxs ON SYSTEM.SYSTEXTINDEX (TABLE_OWNER);
```

ERROR 6228

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビューの削除/更新/挿入は単一の表のビューでのみ可能で、DISTINCT / AGGREGATE / JOIN / SUBQUERY / REMOTEビューでは使用できません
引数	無し
解説	DISTINCT / AGGREGATE / JOIN / SUBQUERY / REMOTEビューに削除/更新/挿入を試みました。

➡ 例

```
CREATE VIEW v1 (e1,e2) AS SELECT DISTINCT c1, c2 FROM t1;
UPDATE v1 SET e1 = 100;
```

ERROR 6229

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビュー定義のカラムが式や定数なのでビューからデータを挿入できません
引数	無し
解説	式や定数によって指定したカラムがあるビューでデータを挿入しようしました。

➡ 例

```
CREATE VIEW vinsert (e1, e2) AS SELECT c1+100, c2 FROM t1;
INSERT INTO vinsert VALUES (100, 200);
```

ERROR 6230

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビュー定義のカラムが式や定数なのでビューを更新できません
引数	無し
解説	式や定数によって指定したカラムがあるビューを更新しようとした。

☞ 例

```
CREATE VIEW viupdate (e1, e2) AS SELECT c1+100, c2 FROM t1;  
UPDATE v1 SET e1 = 100;
```

ERROR 6231

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トリガー実行エラー
引数	トリガー名(所有者名)、トリガー表(所有者.表名)
解説	トリガーを実行する際に問題が起こります。

ERROR 6232

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	入力値の数がストアドコマンドの数と一致しません
引数	無し
解説	入力値リストの値が実行したストアド・コマンドの

パラメータ数と一致しません。

例

```
CREATE COMMAND cmd1 AS INSERT INTO t1 VALUES (?, 1, ?);  
EXECUTE COMMAND cmd1 (2);
```

ERROR 6233

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	パラメータはMATCH演算の左側に使用できません
引数	無し
解説	MATCH演算の左側の演算数としてパラメータを使用しています。

例

```
SELECT * FROM t1 WHERE ? MATCH 'aaa';
```

ERROR 6234

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	AFTER DELETE/UPDATEトリガーでBLOBのOLD値を参照することはできません
引数	無し
解説	行トリガーの後にBLOBの古い値を参照しようとしてしました。

例

```
CREATE TABLE t1 (c1 long varchar);  
CREATE TABLE t2 (c1 long varchar);
```

```
CREATE TRIGGER tr1 AFTER DELETE (or UPDATE) ON t1 FOR EACH ROW (INSERT
INTO t2 VALUES (old.c1);
```

ERROR 6235

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビューに表レプリケーションは作成できません
引数	表名
解説	ビューに表レプリケーションを作成しようとした。

ERROR 6236

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表に表レプリケーションは作成できません
引数	表名
解説	一時表に表レプリケーションを作成しようとした。

ERROR 6237

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表に表レプリケーションは作成できません
引数	表名
解説	システム表に表レプリケーションを作成しようとした。

ERROR 6238

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	主キーのない表に、表レプリケーションは作成できません
引数	表名
解説	主キーの無い表の表レプリケーションを作成しようとしてしました。

ERROR 6239

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表レプリケーションの作成時にプロジェクトのカラムに主キーがありません
引数	表名
解説	表をレプリケーションの際に、レプリケートするカラムに主キーがありません。

ERROR 6240

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	subscribeとpublishのカラム数が同じではありません
引数	無し
解説	レプリケーション・スケジュールを作成しようとしてましたが、、サブスクライバ（加入者）表にあるカラム数がパブリッシュ表のカラム数と異なります。

㊦ 例

```
CREATE ASYNC REPLICATION rp1 WITH PRIMARY AS t1(c1,c2);  
REPLICATE TO db1:t1 (c1,c2,c3);
```

ERROR 6241

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソース表のカラム数とターゲット表のカラム数が等しくありません
引数	無し
解説	ソースとターゲット表のカラム数が等しくありません。

㊦ 例

ソース表の主キーにはc1, c2, c3の3つのカラムがあり、ターゲット表にはcol1, col2, col3, col4の4つのカラムがあります。1対1のマッピングができないので、それらの間の表レプリケーションを作成することができません。

ERROR 6244

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表レプリケーションの作成時に他の表は参照できません
引数	無し
解説	表に部分的なレプリケーションを作成しようとした。

☞ 例

```
CREATE ASYNC REPLICATION rp1 WITH PRIMARY AS t1(c1,c2) WHERE t2.c1>0
REPLICATE TO db1: t1 (c1,c2);
```

ERROR 6245

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リモート・オブジェクトのシノニムは操作できません
引数	無し
解説	シノニムにレプリケーションを作成しようとした。

ERROR 6246

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	削除されるカラム数が多すぎるので、表の変更ができません
引数	削除するカラム数
解説	表の全カラムを削除しようとした。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int, c2 int);
ALTER TABLE t1 DROP (c1, c2);
```

ERROR 6247

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	追加されるカラム数が多すぎるので、表の変更ができません
引数	追加するカラム数
解説	表に認められた最大数を超える数のカラムを追加しようとしました。

⇒ 例

表t1にカラム(c1, c2, ... cn)があります。nは最大カラム数。

```
ALTER TABLE ADD cn1 int;
```

ERROR 6248

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	外部キー又は主キーが存在するので、表の変更ができません
引数	外部キー又は主キーが定義されるカラム名
解説	主キー/外部キーがカラムに存在する表を修正しようとしました。

⇒ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int PRIMARY KEY, c2 int);  
CREATE TABLE t2 (c1 int, c2 int REFERENCES t1 (c1));  
ALTER TABLE t2 MODIFY c2 TYPE TO FLOAT;
```

ERROR 6249

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定された表に表制約があるので、表の変更ができ

	ません
引数	無し
解説	表制限のある表を修正しようとしてしました。

☞ 例

```
CREATE TABLE altt1 (c1 int) CHECK c1 > 100;  
ALTER TABLE altt1 MODIFY c1 NAME TO c2;
```

ERROR 6250

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	無効なホスト変数の使用; ': host_variable_name'はESQLプログラムでしか使用できません
引数	無し
解説	非ESQLプログラムで、「: ホスト変数」を指定しました。

☞ 例

```
SELECT c1 FROM where c2 = :v2 into :v1;
```

ERROR 6251

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表、一時表、ビューが変更できません
引数	無し
解説	システム表、一時表、ビューを修正しようとしてしました。

⇒ 例

```
CREATE TEMP TABLE tem1 (c1 int);  
ALTER TABLE tem1 ADD c1 int;
```

ERROR 6252

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リモート表やリモート表のシノニムは変更できません
引数	無し
解説	リモート表/リモート表に基づくシノニムを修正しようとした。

⇒ 例

```
CREATE SYNONYM syn1 FOR db1:tbl;  
ALTER TABLE syn1 ADD c1 int;
```

ERROR 6253

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トリガーアクションにストアド・プロシージャとその戻り値は使用できません
引数	無し
解説	トリガー・アクションにストアド・プロシージャの戻り値を指定しています。

⇒ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 BEFORE UPDATE ON t1 FOR EACH ROW (CALL sp1  
OLD.c1,2,3,4));
```

ERROR 6254

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースを作成／起動する際に、db@hostのようなデータベース・セクションは使用できません
引数	無し
解説	dbホストのようなデータベース・セクションを使ってデータベースを作成/起動しようとした。

ERROR 6255

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	実行ファイルが古いので、再ビルドして下さい
引数	無し
解説	実行ファイルにリンクされた後に、ESQLプログラムが準備されました。

○ 例

1. dmpgcc; test1.ec;
2. 実行ファイル test1にリンクします。
3. test1を実行します;
4. dmpgcc ...test1.ec;
5. test1を実行します。
6. test1.cを再コンパイルし、新しい実行ファイルにリンクします。

ERROR 6256

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	GIVE SEQUENCEとGIVE SEQはSERIALデータ型の カラムを追加/修正する時に使用します
引数	無し
解説	SERIALカラムの追加/修正以外の目的にGIVE SEQUENCE又はGIVE SEQコマンドを使用しようと しました。

☞ 例

```
ALTER TABLE altt1 MODIFY c11 TO c1 int GIVE SEQ;
```

ERROR 6257

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	主キーのあるカラムをNULLに修正、又は削除する ことはできません
引数	主キーが定義されているカラム名
解説	主キーがあるカラムをNULL可に変更/削除しようと しました。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int PRIMARY KEY, c2 int);  
ALTER TABLE t1 MODIFY c1 TYPE TO FLOAT;
```

ERROR 6258

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャを作成しようとした が、makefileが見つかりませんでした
引数	初期設定メイクファイル名
解説	インストールしたディレクトリ又はSPDIRにストア ド・プロシージャのメイクファイルがありません。

ERROR 6259

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	この新しいカラム名はすでに表に存在しています
引数	新しいカラム名
解説	カラム名を表に既に存在する名前に修正しようと しました。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int, c2 int);  
ALTER TABLE t1 MODIFY c1 NAME TO c2;
```

ERROR 6260

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラム属性を変更するための指定が重複しています
引数	無し
解説	一度に同じカラムの属性を複数回変更しようと しました。

⇒ 例

```
ALTER TABLE t1 MODIFY (c1 TYPE TO char(10), c1 TYPE TO int);
```

ERROR 6261

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	相関名のないカラムはトリガーのWHEN条件句に指定できません
引数	無し
解説	相関名の無いカラムを使ってトリガーのためのWHEN条件を作成しようとしてしました。

⇒ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 BEFORE INSERT ON SYSADM.t2 FOR EACH ROW WHEN (c1>1)  
(INSERT INTO SYSADM.t3 VALUES (100,200));
```

ERROR 6262

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シノニムにストアド・コマンドは作成できません
引数	無し
解説	シノニムにストアド・コマンドを作成しようとしてしました。

⇒ 例

```
CREATE SYNONYM syn1 FOR t1;  
CREATE COMMAND cmd1 AS SELECT * FROM syn1;
```

ERROR 6263

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表領域に表は作成できません
引数	無し
解説	SYSTABLESPACEに表を作成しようとした。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int) IN SYSTABLESPACE;
```

ERROR 6264

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引のあるカラムをBLOB/CLOBタイプに変更することはできません
引数	BLOB/CLOBに変更するカラムのタイプ
解説	カラムのデータ型をBLOB/CLOBに変更しようとしたが、カラムに索引があります。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int, c2 char(10));
CREATE INDEX idx1 ON t1 (c2);
ALTER TABLE t1 MODIFY c2 TYPE TO long varchar;
```

ERROR 6265

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	データベースがsingle-userモードで起動されたとき、又はすでにmulti-userモードになっているときには、このオプションが使用できません
引数	無し
解説	データベースがシングルユーザー・モードで起動しているときにこのオプションをセットしようとした。又は、既にマルチユーザー・モードです。このオプションを設定する前に、マルチユーザー・モードで「SET DBMODE SINGLE」を実行します。

ERROR 6266

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トリガー・アクションにシノニムやビューは使用できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6267

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トリガーのカスケードが無限ループになってしまいます
引数	無し
解説	無し

☞ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 AFTER INSERT ON t1 FOR EACH ROW (INSERT INTO t2
VALUES (NEW.c1);

CREATE TRIGGER trig2 AFTER INSERT ON t2 FOR EACH ROW (INSERT INTO t1
VALUES (NEW.c1).
```

ERROR 6268

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソース表の主キーはターゲット表の主キーにマッピングしなければなりません
引数	無し
解説	ソース表の主キーが、ターゲット表の主キーにマップされていません。

☞ 例

t1 のスキーマは(c1 int, c2 int, c3 int)主キー (c1)、 t2のスキーマは (c1 int, c2 int, c3 int)主キー(c1)です。このような場合にt1 (c1, c2)をt2 (c2, c1)にレプリケートすることはできません。

ERROR 6269

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャの定義に重複したパラメータがあります
引数	パラメータ名
解説	ストアド・プロシージャ定義のパラメータが重複しています。

○ 例

```
CREATE PROCEDURE ADD_member(char(20) name, char(20) tel, char(20) tel);
```

ERROR 6270

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソースファイルからプロシージャ名が取得できません
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャを使おうとしましたが、ソース・ファイル(.ecファイル)にキーワード「CREATE PROCEDURE」がありません。

ERROR 6271

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スキーマが変更されたので、トリガーの中止が無効になりました。再作成してください。
引数	トリガー名
解説	無し

ERROR 6276

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スキーマが変更されたので、参照アクションが失敗しました。外部キーを削除/再作成してください。
引数	無し

解説	これは特殊なエラーです。
----	--------------

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int PRIMARY KEY, c2 int);  
  
CREATE TABLE t2 (c1 int, c2 int, FOREIGN KEY (c1) REFERENCES t1 (c1) ON  
UPDATE CASCADE ON DELETE CASCADE);  
  
ALTER TABLE t1 MODIFY c1 NAME TO k1;  
  
UPDATE t1 SET k1=111;
```

ERROR 6277

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表定義の中に2つ以上のチェック・オプションがありました
引数	無し
解説	無し

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 INT, CHECK c1 > 10, CHECK c1 < 15);
```

ERROR 6278

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラム定義の中に2つ以上のNULLオプションがありました
引数	無し
解説	カラム定義に複数のNULLオプションを指定しました。

例

```
CREATE TABLE t1 (c1 int NULL NULL);
```

ERROR 6279

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラム定義の中に2つ以上の参照オプションがありました
引数	無し
解説	無し

ERROR 6280

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表定義の中に2つ以上の主キーがありました
引数	無し
解説	無し

例

```
CREATE TABLE t1 (c1 INT PRIMARY KEY PRIMARY KEY);
```

ERROR 6281

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラム定義の中に2つ以上の初期設定オプションがありました
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 6282

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定されたCコンパイラが見つかりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6283

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	副問合せの結果行の数が無効です
引数	無し
解説	副問合せから取得する結果行の数が無効です。

➡ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE c1 = (SELECT c1 FROM t2);
```

t2には複数のタプルがあります。

ERROR 6284

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トリガーのWHEN句では副問合せはサポートされていません
引数	無し

解説	述句のあるトリガーで副問合せを使用しようとした。
----	--------------------------

⇒ 例

```
CREATE TRIGGER trig1 AFTER INSERT ON t1 FOR EACH ROW WHEN (NEW.c1 >
(SELECT c1 FROM t2 WHERE t2, c1=2);
```

ERROR 6285

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	21S02
Error Message	バインドされていないか、読み取り専用か、又は SQL_COLUMN_IGNORE指定のため、更新できるカラムがありません
引数	無し
解説	拡張フェッチで、行セットのデータを更新するためにSQLSetPosを使おうとしました。ある更新したタブルでカラムが更新されるのを無視する場合、インジケータ・バッファの対応するカラムに SQL_COLUMN_IGNOREをセットすることができます。全ての選択カラムをSQL_COLUMN_IGNOREにセットすると、エラーになります。

ERROR 6286

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	UNIONしようとするカラムのデータ型が一致しません
引数	データ型が一致しないn番目のカラム。
解説	2つのカラムでUNION文を実行しようとした

が、2つのカラムのデータ型が一致しません。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c3 char);  
CREATE TABLE t2 (c1 int);  
SELECT c3 FROM t1 UNION SELECT c1 FROM t2;
```

ERROR 6287

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	rowsetの全ての行での操作適用でエラー
引数	無し
解説	行セットで（更新、削除、挿入）操作を試みましたが、行セットの1つのタプルで操作が完了しませんでした。

ERROR 6288

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	環境設定ファイルのストアド・プロシージャ・ディレクトリは無効です：絶対パスを指定して下さい
引数	DB_SpDirパス
解説	無し

ERROR 6289

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	問合せにリモート表がある時、setposできません
引数	無し
解説	リモート表から引き出した結果セットを更新するためにSQLSetPosを呼び出そうとしました。

ERROR 6290

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	自動コミットがオフの場合は、この操作を実行できません
引数	無し
解説	自動コミットがOFFの時に、SHRINK DATAFILE文のような自動コミットONの環境が必要なコマンドを実行しました。
対策	自動コミットONにセットします。

ERROR 6292

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表領域は圧縮できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6293

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	外部ジョインに無効なOUTER参照があります
引数	無し
解説	無し

☞ 例

```
SELECT c1 FROM t1 WHERE (c1 = (SELECT MAX(t2.c1) FROM t2 OUTER t3 WHERE  
t2.c1 = c3.t1 AND t2 = t1.c1));
```

ERROR 6294

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	FROM句の無いSELECT文では集計関数は使用できません
引数	無し
解説	無し

☞ 例

```
SELECT MAX(100);
```

ERROR 6295

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム・ストアド・プロシージャは削除できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6296

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャ名が長すぎます
引数	無し
解説	無し

ERROR 6297

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャのための引数が無効です
引数	無し
解説	指定した引数がストアド・プロシージャの規則に則っていません。

ERROR 6298

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムのタグと表のカラム名が一致しません
引数	無し
解説	XMLインポートのカラムのタグが、使用しているカラム名と一致しません。
対策	カラムのタグと表のカラム名に同じ名前を使って、XMLインポートを実行します。

ERROR 6299

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SELECT DISTINCT文の射影カラムリストにORDER BY句のカラムか式がありません
引数	ORDER BYカラム名、それが式である場合、空。
解説	ORDER BY句を射影リストに含む必要があります。
対策	SELECT DISTINCT文に、ORDER BY句の射影リストを追加します。

➡ 例

```
SELECT DISTINCT c1 FROM t1 ORDER BY c1+5;
```

ERROR 6300

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ORDER BY句の定数が整数ではありません、またはwindow関数のover order by句に使用されません
引数	無し
解説	ORDER BY句の定数には、整数のみ使用することができます。

➡ 例

```
SELECT * FROM t1 ORDER BY 3.99;
```

ERROR 6301

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	ORDER BY句で集計関数、window関数は使用できません
引数	無し
解説	ORDER BY定数には、整数のみ使用することができます。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 ORDER BY MAX(c1)+100;
```

ERROR 6302

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	INSERT INTO文で集計関数、window関数は使用できません
引数	無し
解説	INSERT INTOに集計関数の使用は認められません。

☞ 例

```
INSERT INTO t1 VALUES (MAX(c1));
```

ERROR 6303

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DBA権限のないユーザーは他のユーザーの表または表の所有者名が変更できません
引数	無し
解説	DBA以上のユーザーを除き、所有していない表の名

称や表の所有者名を変更することはできません。

例

ユーザーu1、或いはDBA以上の権限を有するユーザーのみが、このSQL文を実行できます。

```
ALTER TABLE u1.t1 RENAME TO u1.t2;
```

ERROR 6304

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表に従属オブジェクトがあるので、表名を変更することができません
引数	無し
解説	ビュー、ストアド・コマンド、ストアド・プロシージャ、トリガー、外部キーのような依存オブジェクトに関連している表の名前を変更することはできません。
対策	関連付けられている依存オブジェクトを削除し、表の名前を変更し、依存オブジェクトに再度関連付けます。

ERROR 6305

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	制約名があいまいです
引数	無し
解説	2つの異なる制約名を同時に使用しようとしてしました。
対策	一度に1つの制約名のみ使用することができます。2

番目のユーザーは、最初のユーザーが終了するまで待機、或いは同じ制約名を使用します。

ERROR 6306

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効のメディア型、もしくは非BLOBデータ型に対してメディア型を指定しています
引数	無し
解説	無効のメディア・タイプを備えたドメインを作成しようとしたか、または非BLOBデータ型カラム上にメディア・タイプを備えたドメインを作成しようとした。

⇒ 例

```
create domain logtype as clob media 'log';
create domain wordtype as char(10) media 'word';
```

ERROR 6307

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	21S02
Error Message	FROM 副SELECT句のカラムの数は、射影カラムの数と一致しません。
引数	無し
解説	無し

⇒ 例

```
select * from (select c2,c1 from t1) as foo (c1,c2,c3);
```

ERROR 6308

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	21S02
Error Message	無効のテキスト・インデックス・スケールです
引数	有効範囲
解説	無し

⇒ 例

```
create ivf text index tid1 on ivft1 (c1) scale 0;
```

ERROR 6309

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースはデータベース作成時のUDF失敗により起動できません
引数	無し
解説	データベースの作成時にUDFバインドエラー（UDFファイルが検出できないか、ファイルが壊れている）が発生します。

ERROR 6310

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	インデックス名はプライマリキー名と異なっていません
引数	無し

解説	pt1のインデックス名ix1をプライマリキー以外の名前に変更します。
----	------------------------------------

ERROR 6311

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	引数の数がストアードプロシージャ作成とjavaメソッドの間で適合していません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6312

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	Jarファイルが存在しません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6313

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	重複したJarファイルが存在しています
引数	無し
解説	無し

ERROR 6314

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーはJarファイルの所有者ではありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6315

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	JVMの起動に失敗
引数	無し
解説	無し

ERROR 6316

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クラスが見つかりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6317

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メソッドを検出できません

引数	無し
解説	無し

ERROR 6318

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	java ストアドプロシージャではjavaメソッドの引数のデータ型をサポートしていません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6319

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQL型とJava型間のデータ型変換をサポートしていません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6320

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	インデックス作成時にホスト変数は使用できません
引数	無し
解説	インデックス作成時にホスト変数は使用できません

--	--

➡ 例

```
create index idx1 on t1 (c1+?);
```

ERROR 6322

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	式索引の作成には集計関数を使用できません
引数	無し
解説	式索引作成時に集計関数を使用するとこのエラーが返されます

➡ 例

```
create index idx1 on t1 (max(c1));
```

ERROR 6323

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メディアタイプ数が最大値を超えています
引数	最大のメディアタイプ(32767);
解説	TEXT CONVERTER構文を使用して多くのドメインを作成しようとした場合にこのエラーが返されます

➡ 例

```
create domain serialvalue as clob text converter subclob(value, 1, 100);
```

ERROR 6324

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト転換関数は PURETEXTではありません、複数の引数を含むことができません、引数または返り方はBLOB タイプでなければなりません
引数	無し
解説	可能性のあるエラー原因： 1. PURETEXTがtext conveter関数の名前として使用された 2. 複数のtext conveter function引数が使用された 3. text converter functionの引数タイプがBLOB型ではない text conveter functionの返り値がBLOBでない

ERROR 6325

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リモート・データベースのユーザメディア・ドメイン・タイプでpuretext()を呼び出せません
引数	無し
解説	puretext で参照されるカラムがリモート・データベース上にあり、タイプがユーザ定義のメディア・ドメイン・タイプの場合このエラーが返されます

ERROR 6327

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ストアドプロシージャ実行失敗、DMERROR.LOGにて詳細情報を確認してください
引数	無し
解説	無し

ERROR 6328

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	未知のストアドプロシージャ言語
引数	無し
解説	無し

ERROR 6329

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	集合/グループ或いはサブクエリ句でwindow関数を使用することはできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6330

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	TMPTABLESPACEに一時表だけ作成できます
引数	無し

解説	DEFTABLESPACEに一時表t1 (c1 int)を作成します
----	------------------------------------

ERROR 6331

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	TMPTABLESPACEに普通表を作成することができません
引数	無し
解説	TMPTABLESPACEに一時表t1 (c1 int)を作成します

ERROR 6332

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	TMPTABLESPACEにファイルを追加することはできません
引数	無し
解説	ALTER TABLESPACE TMPTABLESPACE ADD DATAFILE f8 TYPE=BLOB

ERROR 6333

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	window 関数のover order by 句はORDER BY 整数が使用できません
引数	無し
解説	t1からc2,c1,c3, ROW_NUMBER() OVER (ORDER BY

1)を選択して行数とします

ERROR 6334

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時的なテーブルのインデックスは TMPTABLESPACEで作成されるべきで、 TMPTABLESPACEで一時的なテーブルのインデック スしか作成できません
引数	無し
解説	create temporary table t1(id int); create index idx_t1 on t1(id) in DEFTABLESPACE; create table t2(id int); create index idx_t2 on t2(id) in TMPTABLESPACE

ERROR 6335

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	永久表をSYSTABLESPACE 或いはTMPTABLESPACE まで移動できません
引数	無し
解説	alter table t1 move tablespace SYSTABLESPACE; alter table t1 move tablespace TMPTABLESPACE;

ERROR 6336

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	TMPTABLESPACEに永久表の索引を再作成すること

	ができません
引数	無し
解説	rebuild index idx1 for t1 in TMPTABLESPACE;

ERROR 6337

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	NON-TMPTABLESPACEに一時表に索引を再作成することができません
引数	無し
解説	rebuild index idx1 for tmp in DEFTABLESPACE;

ERROR 6338

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルからの一時ストアードプロシージャを作成することができません
引数	無し
解説	create temp procedure from 'sample.sp';

ERROR 6339

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ほかの表領域までシステム表の索引を移動することができません
引数	無し

解説	rebuild index TABLE_OWNER for SYSTEM.SYSTABLE in deftablespace;
----	--

ERROR 6340

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時ストアプロシージャで永久ストアプロシージャを置き換えることができません
引数	無し
解説	create procedure pre_sp language sql begin end; create or replace temp procedure pre_sp language sql begin end;

ERROR 6341

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DBA以外の権限を持つユーザーの表をその他の表領域に移動できません
引数	無し
解説	現在のユーザーはu1またはDBAでない場合、以下の 例でエラーが戻されます： alter table u1.t1 move tablespce ts2;

ERROR 6342

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	自動インデックスを同期にできません

引数	無し
解説	サービスサーバーが存在していません； 自動インデックスサーバーの電源がオフです； 自動インデックスがビジー状態です。

ERROR 6344

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効な変数名です
引数	無効な変数名
解説	接続変数とステートメント変数を取得していますが、その値が宣言されていません

4.15 エラーメッセージ6345 - 6370

ERROR 6345

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	タスクがすでに存在します
引数	無し
解説	その名前のタスクが既に存在します。

ERROR 6346

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	無効なタスク
引数	無し
解説	タスクタイプはSQL_STATEMENT、 STORE_PROCEDUREまたはEXECUTABLEでなければなりません

ERROR 6347

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	タスクが存在しません
引数	無し
解説	タスクが存在しません。

ERROR 6348

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スケジュールがすでに存在します
引数	無し
解説	その名前のスケジュールがすでに存在します。

ERROR 6349

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スケジュールが存在しません
引数	無し

解説	スケジュールを変更、削除するまたはそれを有効・無効にする前提条件は当該スケジュールが存在することです。
----	---

ERROR 6350

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なタイムテーブルにある分のフォーマットの説明
引数	無し
解説	タイムテーブルでの分の部分はタスクが実行すべき分間を表し、その値は0から59の間の値でなければなりません。その他の方式：'*'は「毎分」を指し、'1-3'は「一時間の第一、第二、第三分間の毎分」を指し、'4,5,6'は「一時間の第四、第五、第六分間に」を指し、'/4'は「四分間ごとに」を指します。

ERROR 6351

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なタイムテーブルにあるアワーのフォーマットの説明
引数	無し
解説	タイムテーブルでの時間の部分はタスクが実行すべき時間を表し、その値は0から23の間の値でなければなりません。その他の方式：'*'は「毎時」を指し、'6-8'は「一日の第六、第七、第八時間の毎時」を指し、'10,11,12'は「一日の第十、第十一、第十二時間

に」を指し、'2'は「二時間ごとに」を指します。

ERROR 6352

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なタイムテーブルにある日のフォーマットの説明
引数	無し
解説	タイムテーブルでの日の部分はタスクが実行すべき日を表し、その値は1から31の間の値でなければなりません。その他の方式：'*'は「毎日」を指し、'1-15'は「毎月の最初の15日間」を指し、'10,11,12'は「毎月の第十、第十一、第十二日に」を指し、'2'は「2日ごとに」を指します。

ERROR 6353

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なタイムテーブルにある月のフォーマットの説明
引数	無し
解説	タイムテーブルでの月の部分はタスクが実行すべき月を表し、その値は1から12の間の値でなければなりません。その他の方式：'*'は「毎月」を指し、'1-6'は「毎月の最初の6ヶ月間」を指し、'10,11,12'は「十月、十一月、十二月に」を指し、'2'は「二ヶ月ごとに」を指します。

ERROR 6354

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なタイムテーブルにある曜日のフォーマットの説明
引数	無し
解説	タイムテーブルで曜日の部分はタスクが実行すべき曜日を表し、その値は0から7の間の値でなければなりません。0は「日曜日」を表し、1は「月曜日」を表し、…6は「土曜日」を表し、7は「日曜日」を表します。その他の方式：'*'は「一週間の毎日」を指し、'1-5'は「毎週の月曜日から金曜日まで」を指し、'1,2'は「週の月曜日と火曜日」を指します。

ERROR 6355

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なタイムテーブルにある時間間隔のフォーマットの説明
引数	無し
解説	幾つかの特別な文字はタイムテーブルとして、使用されました。 minute—毎分を意味します hourly—毎時の最初の分を意味します midnight or daily—毎日のミッドナイトを意味します（毎日の最初の分） weekly—毎週の最初の分を意味します（毎週の月曜

	日の最初の分)
	monthly—毎月の最初の分を意味します（月の最初の日の最初の分)
	once—一度のみ実行することを意味します；今すぐ実行しようとする場合、「start_time」を「now()」に設定できます。例えば、call schedule_create('sche1','task1','once','now()');

ERROR 6356

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なトライ時間で、その値は1から525600の間の値でなければなりません
引数	無し
解説	once m n—一回のみ実行します。失敗する場合、n分間後にもう一度お試し、m(1≦m≦525600)回を試みることができます。

ERROR 6357

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なトライ時間間隔で、その値は1から1440の間の値でなければなりません
引数	無し
解説	once m n—一回のみ実行します。失敗する場合、n(1≦n≦1440)分間後に試します。

ERROR 6358

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	タスクは一つのスケジュールに使用されています
引数	無し
解説	<code>schedule_create('sche1','task1'....)</code> をコールして、スケジュールに使用されるタスクが削除できません。下記の例では、上記のエラーが出力されました。 <code>call task_drop('task1')</code>

ERROR 6359

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スケジュールの終了時間は少なくとも開始時間より1分間遅れです
引数	無し
解説	スケジュールの終了時間は少なくとも開始時間より1分間遅れでなければなりません。下記の例では、上記のエラーが出力されました。 <code>call schedule_create('sche1','task1','2017-12-12 12:12:12','2015-10-15 12:12:12');</code> <code>call schedule_create('sche1','task1','2017-12-12 12:12:12','2017-12-12 12:12:50')</code>

ERROR 6360

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	無効なタスク名です
引数	無し
解説	無し

ERROR 6361

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なスケジュール名です
引数	無し
解説	無し

ERROR 6362

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SYSADMのみ実行可能のタスクを作成することができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6363

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	setSystemOption()またはsetSystemOptionW()を使用してSCHSVを設定することができません；dmschsvrはオンライン設定をサポートしません
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 6364

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システムストアコマンドが削除できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6365

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なタスクの実行数で、その数は1から50の間の数でなければなりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6366

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なパス
引数	無し
解説	無し

ERROR 6367

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効な保持日数で、保持日数は0から36500の間の数でなければなりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6368

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効な開始時間で、一回限りのスケジュールの開始時間は大なりイコール現在の時間でなければなりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6369

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	IPリストに含まれるIPアドレスの数は50を超えてはいけません
引数	無し
解説	grant access to user1 '192.168.1.1','192.168.1.2'.....,'192.168.1.51';このステートメントの中のipアドレスの数は51で、50を超えたから、エラーを戻すことになります。

ERROR 6370

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーリストに含まれるユーザー名のは50を超えてはいけません
引数	無し
解説	grant access to user1,user2,user3.....user51 '192.168.1.1';このステートメントの中のユーザーの数は51で、50を超えたから、エラーを戻すことになります。

4.16 エラーメッセージ6501 - 6599**ERROR 6501**

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	NULL値可のカラムには主キーを作成できません
引数	NULL値可のカラム名
解説	NULL値可のカラムに主キーを作成しようとした。

ERROR 6502

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	親表の主キーが見つからない外部キーは作成できません
引数	無し

解説	外部キーを作成しようとしたソース表に主キーがありません
----	-----------------------------

➡ 例：

```
ALTER TABLE tb2 FOREIGN KEY fk1 (c1,c2) REFERENCES tb1;
```

外部キーを作成する際に、対応する参照元に一意索引を作成しませんでした。DBMSは参照元表の主キーを見つけようとしたましたが、ありませんでした。

ERROR 6503

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーが指定した参照カラム群から、一意索引となるものは1つも見つかりません
引数	無し
解説	ユーザーが指定した参照カラムに一意索引がありませんでした。

➡ 例

```
ALTER TABLE tb2, FOREIGN KEY fk1 (c1,c2), REFERENCES tb1 (c1,c2);
```

表tb1の中の参照されるカラム(c1, c2)に索引がありません。又は索引が一意の索引ではありません。

ERROR 6504

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーが索引から主キーを削除しました
引数	無し

解説

これは特殊なエラーです。

☞ 例

表tb1カラム(c1,c2)に索引「PrimaryKey」を作成し、それから表tb1からprimary keyを削除しました。DBMasterの主キーの初期設定名は「PrimaryKey」(表作成時にユーザーが「constraint」フレーズを名前に指定しない限り)ですが、「PrimaryKey」という名前で普通の索引を索引することもできます。表で主キーを削除しようとしたが、「PrimaryKey」という名前の索引を削除することになってしまいました。

ERROR 6505

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DROP INDEXで主キーを削除することができません
引数	無し
解説	参照されている索引を消去して主キーを削除しようとした。

☞ 例

表tb1の主キー(c1,c2)を修正し、tb1から索引PrimaryKeyを削除しようとした。表作成時にキー名を定義しない限り、主キーの初期設定名はPrimaryKeyです。内部名を使って主キーを削除することはできません。

ERROR 6506

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定された主キーが存在しません
引数	無し

解説	存在しない主キーを削除しようとしました。
----	----------------------

➡ 例

```
ALTER TABLE tb1 DROP PRIMARY KEY;
```

tb1には主キーがありません。

ERROR 6507

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定された外部キーが見つかりません
引数	無し
解説	指定した外部キーが存在しません。

➡ 例

```
ALTER TABLE tb1 DROP FOREIGN KEY fk1;
```

tb1には外部キーがありません。

ERROR 6508

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表に主キーや外部キーは作成できません
引数	無し
解説	一時表に主キー/外部キーを作成しようとしました。

ERROR 6509

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	主キーと外部キーのカラム数が一致しません
引数	無し
解説	主キーと外部キーのカラム数が等しくありません。

○ 例

```
ALTER TABLE tb2 FOREIGN KEY fk1 (c1,c2) REFERENCES tb1(c1);
```

ERROR 6510

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	主キーと外部キーのデータ型が一致しません
引数	無し
解説	参照元と参照先のカラムのデータ型が一致しません。

ERROR 6511

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	主キーがすでに存在します
引数	無し
解説	主キーが既に存在する表に主キーを作成しようとして しました。主キーは各表に1つだけ作成することができます。

└

ERROR 6512

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	外部キーがすでに存在しました
引数	無し
解説	既に同じ名前の外部キーが存在する表で、別の外部キーを作成しようとしてしました。

ERROR 6513

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの索引数が最大値を超えています
引数	索引カラムの最大数DB_MAXBTCOL
解説	33カラムを含む索引を作成しようとしてしました。

☞ 例

```
CREATE INDEX idx1 ON t1 (c1, c2, ..., c33);
```

カラムの最大数は32です。

ERROR 6514

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引が作成できません。表定義にカラム位置は最大値を越えるからです
引数	索引カラムの最大数：DB_MAXBTCID
解説	ターゲットのカラム位置を表示するストレージ数は制限です。例えば、表t1に128カラムc1, c2,..., c127, c128があって、ユーザーはt1に索引idx1を作成したい場合、索引に保存できるカラムの最大数は127になると、このコマンドは失敗になります。

ERROR 6515

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	空でない表のカラムをNULL値不可に変更（追加又は修正）する場合は、付与値の指定が必要です
引数	無し
解説	NULL値可の空のカラムをNULL値不可に変えようとしてしました。NULL値に置き換える値を指定する必要があります。

⇒ 例

```
CREATE TABLE t1(c1 int);
INSERT INTO t1 VALUES (5);
ALTER TABLE t1 MODIFY (c1 NULL TO NOT NULL);
```

ERROR 6516

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表は変更できません
引数	無し
解説	一時表を修正しようとしてしました。

⇒ 例

```
CREATE TEMPORARY TABLE tmp1(c1 int);
ALTER TABLE tmp1 SET LOCK MODE row;
```

ERROR 6517

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	表領域がすでに存在します
引数	無し
解説	既に存在する表領域の名前で新たに表領域を作成しようとした。

ERROR 6518

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定された表領域が見つかりません
引数	無し
解説	存在しない表領域を指定しました。

ERROR 6519

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルがすでに存在します
引数	重複するファイル名
解説	表領域に既に存在する名前を使って、表領域にファイルを追加しようとした。

ERROR 6520

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S01
Error Message	ソース表又はビューがすでに存在します

引数	無し
解説	既に存在する表/ビューを作成しようとしてしました。

ERROR 6521

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S02
Error Message	表又はビューが存在しません
引数	無効な表名
解説	指定した表またはビューが存在しません。

ERROR 6522

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	索引の作成時に重複したカラムを指定しました
引数	重複するカラム名
解説	索引の作成時にカラムが重複しています。

例

```
CREATE INDEX idx1 ON tb1 (c1,c2,c1);
```

ERROR 6523

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S22
Error Message	無効なカラム名です
引数	無効なカラム名
解説	存在しないカラムを呼び出そうとしてしました。

○ 例

```
SELECT cc1 FROM t1;
```

表t1にはcc1というカラムは存在しません。

ERROR 6524

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S11
Error Message	索引がすでに存在します
引数	無し
解説	既に存在する索引と同じ索引を作成しようとしてしました。

ERROR 6525

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S12
Error Message	索引がありません
引数	無し
解説	指定した索引が存在しません。

ERROR 6526

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S21
Error Message	表の作成/変更時に重複したカラムを指定しました
引数	重複するカラム名
解説	表の作成時/修正時に表に重複するカラムを作成しようとしてしました。

☞ 例

```
CREATE TABLE (c1 int, c2 int, c1 char(5));
```

ERROR 6527

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	全カラムの長さが最大値を超えています
引数	最大タプル長
解説	1タプルの全カラムの合計長さが最大タプル長を超えている表を作成しようとしてしました。

ERROR 6528

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの長さが0です
引数	無し
解説	カラム長を0にセットしようとしてしました。カラム長を0にセットすることはできません。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 char(0), c2 char(0));
```

ERROR 6529

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの定義で精度の指定が範囲を超えています
引数	有効な精度の範囲

解説	DECIMALデータ型のカラムのある表を作成しようとしたが、DECIMALカラムに指定した精度が、精度の許容最大値を超えています。
----	---

ERROR 6530

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの定義で精度の指定がスケールより小さいです
引数	無し
解説	カラム定義で精度をセットしましたが、スケールより小さいです。精度はスケール以上である必要があります。

➡ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 DECIMAL(15, 17));
```

ERROR 6531

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの定義で精度の指定が0より小さいです
引数	無し
解説	カラム定義のスケールを0より小さい値にセットしようとした。スケールは正の値又は0です。

➡ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 DECIMAL(15, -1));
```


ERROR 6532

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ラージオブジェクトのカラムを索引とすることはできません
引数	ラージオブジェクト・カラム名
解説	ラージオブジェクト・カラム (long varbinary、long varcharなど) に索引を作成することができません。

ERROR 6533

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムの数が最大値を超えています
引数	最大カラム (DB_MAXCOL)
解説	表の作成時/修正時に割り当てたカラムが多すぎます。

ERROR 6534

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	関数名エラー： 以前のバージョンでこの関数は既に削除されたか、ライブラリ名が変更されました
引数	無し
解説	関数を呼び出しましたが、その関数がありません。

ERROR 6535

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	関数ライブラリが見つかりません
引数	無し
解説	指定した関数ライブラリ・ファイルがありません。

ERROR 6536

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	関数の引数が定義したものと一致しません
引数	無し
解説	関数の引数が定義に合致しません。

ERROR 6537

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	関数の戻り値が定義したものと一致しません
引数	無し
解説	関数の戻り値が定義に合致しません。

ERROR 6539

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このビューは存在していますが、無効です

引数	無し
解説	リモート表にビューは存在しますが、無効です。

ERROR 6541

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ドメインが重複しています
引数	無し
解説	既に存在するドメインを新たに作成しようとした。

ERROR 6542

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	既に存在しているデータ型をドメイン名として使用できません
引数	無し
解説	既存のデータ型の名前をドメイン名にしようとした。

ERROR 6543

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ネスト・ドメインはサポートされていません
引数	無し
解説	他のドメインの中にドメインを構築（入れ子）しよ

	うとしました。
--	---------

ERROR 6544

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	初期設定値のASCII形式が長すぎます
引数	無し
解説	初期設定値のASCIIフォームが長すぎます。

ERROR 6545

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	存在していないドメインの削除はできません
引数	無し
解説	既に存在しないドメインを削除しようとしてしました。

ERROR 6546

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムに参照されているドメインは削除できません
引数	無し
解説	カラムによって参照されるドメインを削除しようとしてしました。

ERROR 6547

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	SERIALカラムは2つ以上指定できません
引数	無し
解説	表に2つ以上のSERIALデータ型のカラムがあります。

ERROR 6548

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	初期設定値やINSERTとして使用される関数には引数 は使用できません
引数	無し
解説	引数のある関数は、初期設定句やINSERT値として使 用できません。

ERROR 6549

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表にシノニムは作成できません
引数	無し
解説	一時表でシノニムを作成しようとしてしました。

ERROR 6550

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シノニムにビューは作成できません

引数	無し
解説	シノニムにビューを作成しようとしてしました。

ERROR 6551

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表/ドメインの作成/変更時のデータ型が無効です
引数	無効なタイプの文字列
解説	表/ドメインの変更又は作成時に無効なデータ型を使用しようとしてしました。

➡ 例

```
CREATE TABLE t1 (c1 inttt);
```

ERROR 6552

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SERIALデータ型のカラムをNULL/NOT-NULLを定義、変更することはできません
引数	無し
解説	SERIALデータ型のカラムにNULL値可/NULL値不可を指定しようとしてしました。

➡ 例

```
CREATE TABLE t1(c1 SERIAL NULL);  
CREATE TABLE t1(c1 SERIAL NOT NULL);
```

ERROR 6553

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SERIALデータ型のカラムに初期設定値は定義できません
引数	無し
解説	SERIALデータ型のカラムに初期設定値を指定しようとした。

⇒ 例

```
CREATE TABLE t1(c1 SERIAL DEFAULT 555);
```

ERROR 6554

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	FILEデータ型のカラムに初期設定値は定義できません
引数	無し
解説	FILEデータ型のカラムに初期設定値を指定しました。

⇒ 例

```
CREATE TABLE t1(c1 FILE DEFAULT '/tmp.txt');
```

ERROR 6555

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	制約句にホスト変数は使用できません
引数	無し
解説	制約句にパラメータを入れようとした。

☞ 例

```
CREATE DOMAIN dmhost int CHECK VALUE + ? > 12;  
CREATE TABLE t1 (c1 int CHECK VALUE + ? > 12);  
CREATE TABLE t1 (c1 int) CHECK c1 + ? > 12;
```

ERROR 6556

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	制約句に集計関数は使用できません
引数	無し
解説	制約で集計関数を使用しようとした。

☞ 例

```
CREATE DOMAIN dmaggre int CHECK SUM(VALUE) > 12;  
CREATE TABLE t1 (c1 int CHECK SUM(VALUE) > 12);  
CREATE TABLE t1 (c1 int) CHECK SUM(VALUE) > 12;
```

ERROR 6557

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定されたシノニムが見つかりません
引数	無し
解説	指定したシノニムがありません。

ERROR 6558

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シノニムが既に存在します
引数	無し
解説	既に存在するシノニムを作成しようとしてしました。

ERROR 6559

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表にビューは作成できません
引数	無し
解説	一時表でビューの作成を試みました。

ERROR 6560

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定されたファイルが見つかりません
引数	無し
解説	表領域で指定したファイルを見つけることができません。

ERROR 6561

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	s1000

Error Message	SERIALデータ型のカラムをNULL値に変更しました
引数	無し
解説	SERIALデータ型のカラムをNULL値を設定しました。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1(c1 SERIAL(1));  
UPDATE t1 SET c1=NULL WHERE c1=1;
```

ERROR 6562

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	s1000
Error Message	表領域の作成時にデータファイルを指定していません
引数	無し
解説	表領域作成時に指定したデータファイルがありません。

ERROR 6563

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SERIALデータ型のカラムにCHECK制約は定義できません
引数	無し
解説	SERIALデータ型のカラムにCHECK制約を定義しました。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1(c1 SERIAL CHECK VALUE > 5);
```

ERROR 6564

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	新しいカラムのNULL値がカラム制約に違反します
引数	無し
解説	ALTER TABLE文を使って空でない表に新規カラムを追加する際にカラム制限を加えようとしようとした。カラムが追加される時にその制限がコンフリクトします。

☞ 例

```
ALTER TABLE t1 ADD col INT CHECK VALUE > 0;
```

t1は空ではありません。カラムを追加する際にエラーになります。初期値はNULLです。

ERROR 6565

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表にファイル・オブジェクトは作成できません
引数	無し
解説	一時表にファイル・オブジェクトを配置しようとしてみました。

☞ 例

```
CREATE TEMP TABLE t1(c1 FILE);
```

ERROR 6566

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	定義したドメインの長が無効です
引数	無し
解説	ドメインを作成する時に、無効な長さを指定しました。CHARデータ型の最大長は3992です。

☞ 例

```
CREATE DOMAIN dmlength AS char(3993);
```

CHARデータ型の最大長は3992です。

ERROR 6567

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	組み込み関数と内部関数は作成できません
引数	無し
解説	組み込み関数の作成を試みました。

ERROR 6568

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	Windows のAPI関数 WNetGetUniversalNameのエラーです
引数	WnetGetUniversalNameの戻りコード
解説	Windows API関数のWNetGetUniversalNameにエラーが

発生しました。

ERROR 6569

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・コマンドが存在しません
引数	無し
解説	存在しないストアド・コマンドを実行しました。

例

```
EXECUTE COMMAND cm1;
```

ストアド・コマンドcm1は存在しません。

ERROR 6570

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・コマンド又はモジュールが既に存在しています
引数	無し
解説	既に存在しているストアド・コマンドやモジュールを作成しようとしました。

例

```
CREATE COMMAND cm1 AS SELECT * FROM t1;
```

ストアド・コマンドcm1は既に存在します。

ERROR 6571

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定されたトリガーが見つかりません
引数	無し
解説	指定したトリガーを存在しません。

ERROR 6572

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トリガーが既に存在します
引数	無し
解説	既に存在しているトリガーを作成しようとした。

ERROR 6573

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このタイプのトリガーが既に存在しています
引数	無し
解説	同じトリガー・イベント、同じアクション・タイムのトリガーが存在しています。(詳細については「SQL文と関数マニュアル」を参照して下さい)。

ERROR 6574

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このストアド・コマンドは存在していますが無効で

	す
引数	無し
解説	システム表で無効とみなされているストアド・コマンドを実行しました。

ERROR 6575

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャが見つかりません
引数	無し
解説	指定したストアド・プロシージャが存在しません。

ERROR 6576

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャが無効です
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャは存在しますが、「.so」ファイルが存在しません。

ERROR 6577

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このSQL構文はストアド・コマンドとして生成できません
引数	無し

解説	ユーザーが選択、挿入、削除、及び更新以外のSQL文でストアド・コマンドを作成しました。（ストアド・コマンド作成時には、選択、挿入、削除、更新などのSQL文を使用します。）
----	---

☞ 例

```
CREATE COMMAND dm1 AS GRANT CONNECT TO user1;
```

ERROR 6578

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースのリンク名が既に存在しています
引数	無し
解説	ユーザーが既に存在しているデータベースリンク名でデータベースリンクの作成を試みました。

ERROR 6579

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42S02
Error Message	データベースのリンクが存在しません。
引数	無効なリンク名
解説	無し

ERROR 6580

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表にテキスト索引は作成できません

引数	無し
解説	一時表でテキスト索引を作成しました。

⇒ 例

```
CREATE TEMPORARY TABLE t1(c1 int);  
CREATE TEXT INDEX tx1 ON t1(c1);
```

ERROR 6581

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト索引が既に存在しています
引数	無し
解説	既に存在しているテキスト索引の作成を試みしました。

⇒ 例

```
CREATE TEXT INDEX tx1 ON t1(c1);
```

テキスト索引tx1は既に存在します。

ERROR 6582

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なカラムにテキスト索引を作成しています
引数	無し
解説	ユーザーが指定したカラムでテキスト索引の作成を試みましたが、指定したカラムのデータ型には、その索引は作成できません。

☞ 例

```
CREATE TABLE t1(c1 SERIAL);  
CREATE TEXT INDEX tx1 ON t1(c1);
```

ERROR 6583

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキスト索引が存在しません
引数	無し
解説	テキスト索引が存在しません。

☞ 例 :

```
DROP TEXT INDEX tx1 FROM t1;
```

テキスト索引tx1が存在しません。

ERROR 6584

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	サブスクライバ表が存在しません
引数	無し
解説	レプリケーションのターゲット・サイトのサブスクライバ表が存在しません。

ERROR 6585

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	表レプリケーションが存在しません

引数	無し
解説	レプリケーションのために指定したパブリッシュ表が見つかりません。

ERROR 6586

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プロシージャの作成時に無効なパラメータタイプを指定しています
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャ作成時に不正なパラメータのタイプを使用しました。

ERROR 6587

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソースファイルの転送エラー
引数	無し
解説	ファイルからストアド・プロシージャを作成する際に、ソースファイルを開くことができませんでした。

⇒ 例

'proc1.ec'からプロシージャを作成しました。

ERROR 6589

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	コンパイル・エラー： エラー箇所
引数	エラー・メッセージのファイル名
解説	ESQLソースコードをCへ変換する際に発生したエラーです。問題を見つけるためにエラー・メッセージ・ファイルをチェックして下さい。

ERROR 6590

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソース コンパイル エラー： エラー箇所
引数	エラー・メッセージのファイル名
解説	ストアド・プロシージャのコンパイラ処理中にエラーが発生しました。問題を見つけるためにエラー・メッセージ・ファイルをチェックして下さい。

ERROR 6591

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リンクエラー： エラー箇所
引数	エラー・メッセージのファイル名
解説	ストアド・プロシージャのリンク処理中にエラーが発生しました。問題を見つけるためにエラー・メッセージ・ファイルをチェックして下さい。

ERROR 6592

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャの定義が長すぎます
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャを定義するSQL文の文字列が長すぎます。

ERROR 6593

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーはこのストアドプロシージャを実行する権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6595

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プロシージャにステータスがありません
引数	無し
解説	戻りステータスを記述せずに、ストアド・プロシージャからステータス値を取得しようとしてしました。

ERROR 6596

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	パラメータの数又はタイプが一致しません
引数	無し
解説	不正なパラメータを入力し、プロシージャを実行しました。

ERROR 6597

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャ定義が重複しています
引数	無し
解説	既に存在しているストアド・プロシージャを作成しようとした。

ERROR 6598

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	出力パラメータのバッファがありません
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャの出力パラメータをバインドするために定数を使用していません。

➡ 例

p1(3)を呼び出します。(パラメータは出力パラメータです。)

ERROR 6599

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このストアド・コマンドは存在しません。これはモジュール名です。
引数	無し
解説	モジュールの削除時に間違ってストアド・コマンドを削除しないようにするために、このエラーが表示されます。

4.17 エラーメッセージ 6600-6667**ERROR 6600**

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スキーマの変更によってこのESQLモジュールが無効となりました。再作成してください。
引数	コマンド名
解説	ESQLモジュールで使用する表スキーマが変更されました。ESQLモジュールを、再構築する必要があります。

ERROR 6601

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スキーマの変更によってこのストアド・プロシージャ

	ヤが無効となりました。再作成してください。
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャで使用する表スキーマが変更されました。ストアド・プロシージャを、再構築する必要があります。

ERROR 6602

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プロジェクトが既に存在しています
引数	無し
解説	無し

ERROR 6603

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	使用中のストアド・プロシージャは削除できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6604

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャ、トレース/エラーログ・ファイルを開けません
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 6605

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャ、トレース/エラーログ・ファイルのサイズが無効です
引数	無し
解説	ソース・クライアント・ファイルをサーバーに書き込む時、ユーザーが無効なサイズのストアド・プロシージャを与えました。

ERROR 6606

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアド・プロシージャ、トレース/エラーログ・ファイルに書き込めません
引数	無し
解説	ストアド/プロシージャ、トレース/エラーログ・ファイルの書き込みに失敗しました。

ERROR 6607

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プリプロセッサのためのストアド・プロシージャのソースファイルをコピーできません

引数	無し
解説	無し

ERROR 6608

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SYSTABLESPACEとDEFTABLESPACEまたは TMPTABLESPACEは削除できません
引数	無し
解説	無し

⇒ 例

```
DROP TABLESPACE SYSTABLESPACE;
```

ERROR 6609

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システムオプションを取得/セットするためのオプション名が無効です
引数	間違ったオプション名
解説	正しくないオプション名をGetSystemOption()もしくはSetSystemOption()システム・ストア・プロシージャへ渡しました。

ERROR 6610

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	組み込み関数と内部関数は削除できません
引数	無し
解説	内蔵もしくは内部関数をドロップすることができません。

ERROR 6611

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmudf.dllをロードできません
引数	無し
解説	DMUDF.DLLをロードすることができません

ERROR 6612

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システムまたは初期設定のデータベースファイルを削除できません
引数	無し
解説	システム表からシステムまたは初期設定のデータベースファイルの削除を試みるときに、このエラーが返されます。 システムと初期設定のデータベースファイルは、システム表から削除できません。

ERROR 6613

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	表領域から最後のデータファイルを削除できません
引数	無し
解説	表領域の最後のデータファイルの削除を試みるときに、このエラーが返されます。 表領域は、少なくとも 1 つのデータファイルを含む必要があります。

ERROR 6614

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データファイルはこの表領域に属していません
引数	無し
解説	ユーザーが指定した表領域に属していないデータファイルの削除を試みるときに、このメッセージが返されます。

ERROR 6615

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スキーマが存在しません、無効なスキーマ名です
引数	schema-id
解説	データベースに存在しないスキーマの修正または削除を試みるときに、このメッセージが返されます。

ERROR 6616

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	スキーマはすでに存在しています
引数	無し
解説	スキーマの作成を試みたが、データベースに同じ名前のスキーマがすでに存在するときに、このメッセージが返されます。

ERROR 6617

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テーブルを含むスキーマは削除できません
引数	無し
解説	テーブルを含むスキーマは削除できません

ERROR 6618

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	初期設定のスキーマを削除できません
引数	無し
解説	システムまたはデータベースの初期設定のスキーマの削除を試みるときに、このメッセージが返されます。 データベースから初期設定のまたはシステムのスキーマを削除することはできません。

ERROR 6619

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ドメインを含むスキーマは削除できません
引数	無し
解説	ドメインを含むスキーマは削除できません。

ERROR 6620

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プロシージャを含むスキーマは削除できません
引数	無し
解説	プロシージャを含むスキーマは削除できません。

ERROR 6621

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メモリテーブル内のBLOBに関連付けられたデータはサポートされていません。
引数	無し
解説	Create memory table t1 (c1 long varchar).

ERROR 6622

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シノニムが定義されているテーブル/ビューは削除できません
引数	無し

解説	シノニムが定義されているテーブル/ビューは削除できません。
----	-------------------------------

ERROR 6623

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケートされたテーブルは削除できません
引数	無し
解説	レプリケートされたテーブルは削除できません。

ERROR 6624

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	インデックスが定義されたテーブルは削除できません
引数	無し
解説	インデックスが定義されたテーブルは削除できません。

ERROR 6625

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキストインデックスが定義されたテーブルは削除できません
引数	無し
解説	テキストインデックスが定義されたテーブルは削除

できません。

ERROR 6626

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	トリガが定義されたテーブルは削除できません
引数	無し
解説	従属した複製を有するテーブルは削除できません。

ERROR 6627

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テキストインデックスが定義されたカラムは削除できません
引数	無し
解説	テキストインデックスが定義されたカラムは削除できません。

ERROR 6628

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	インデックスが定義されたカラムは削除できません
引数	無し
解説	インデックスが定義されたカラムは削除できません。

ERROR 6629

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビューが定義されたカラムは削除できません
引数	無し
解説	ビューが定義されたカラムは削除できません。

ERROR 6630

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スキーマの所有者からの接続を拒否できません
引数	無し
解説	スキーマの所有者からの有する接続を拒否できません。

ERROR 6631

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	テーブル所有者からの接続を拒否できません
引数	無し
解説	テーブル所有者からの接続を拒否できません。

ERROR 6632

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ドメイン所有者からの接続を拒否できません
引数	無し
解説	ドメイン所有者からの接続を拒否できません。

ERROR 6633

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プロシージャの所有者からの接続を拒否できません
引数	無し
解説	プロシージャの所有者からの接続を拒否できません。

ERROR 6634

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビューにリファレンスされているテーブルは削除できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6635

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	シノニムを所有するユーザからCONNECT権限を取り消すことはできません。
引数	無し

解説	無し
Error 6636 ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メディアドメインで参照される関数は削除できません
引数	無し
解説	メディアドメインに参照されている関数を削除しようとしたときにこのエラーが返されます。

⇒ 例

```
drop func1;
```

ERROR 6637

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	同じ表領域まで表を移動することはできません
引数	無し
解説	同じ表領域に表を移動できません

ERROR 6638

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続が切断されました
引数	無し

解説	接続が切断されました
----	------------

ERROR 6639

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プラットフォームをサポートしていません
引数	無し
解説	プラットフォームをサポートしていません

ERROR 6640

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	アフィニティーマスクが無効です
引数	無し
解説	アフィニティーマスクが無効です

ERROR 6641

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	linuxに高い権限を設定できません
引数	無し
解説	linuxに高い権限を設定できません

ERROR 6642

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	優先レベルが無効です
引数	無し
解説	優先レベルが無効です

ERROR 6643

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	マルチcpuの未知エラー
引数	無し
解説	マルチcpuの未知エラー

ERROR 6644

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	実行プロシージャにストアードプロシージャを代わることができなくて、自動コミットがオフを設定することもできません
引数	無し
解説	実行プロシージャにストアードプロシージャを代わることができなくて、自動コミットがオフを設定することもできません

ERROR 6645

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000

Error Message	ユーザー定義エラーコードとエラーメッセージを 戻します
引数	ユーザー定義エラーとエラーメッセージ
解説	SQLSPで戻されたエラーコード及びエラーとメッセ ージを使用しました。

ERROR 6648

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	表にはJSONCOLSカラムを持っていない場合、ダ イナミックカラムを追加することができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6649

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	表にはJSONCOLSカラムを持っていない場合、ダ イナミックカラムを変更することができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6650

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000

Error Message	ダイナミックカラムの当該アトリビュートが変更できませんが、タイプアトリビュートの変更のみをサポートします
引数	無し
解説	無し

ERROR 6651

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	表にはJSONCOLSカラムを持っていない場合、ダイナミックカラムを削除することができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6652

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	同時にJSONCOLSカラム及びダイナミックカラムの挿入または更新をすることができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6657

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000

Error Message	表にJSONCOLSカラムが既に存在している場合、再びJSONCOLSカラムを追加または修正することができません
引数	表にあるJSONCOLSカラムのカラムid
解説	一つの表には一つのJSONCOLSカラムのみが存在できます。

ERROR 6658

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	このタイプのダイナミックカラムを追加または修正することができません
引数	無効なダイナミックカラムのカラムタイプ
解説	ダイナミックカラムは下記のデータタイプをサポートしています： smallint、int、float、double、date、time、timestamp。

ERROR 6659

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	DYNAMICタイプカラムに当該属性を定義することができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6660

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQL State	HY000
Error Message	表の定義に複数のJSONCOLSカラムが存在します
引数	無し
解説	一つの表には一つのJSONCOLSカラムのみが存在できます。

ERROR 6661

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	JSONCOLSカラムにデフォルト値を定義することができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6662

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	JSONCOLSカラムにCHECK制約を定義することができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6663

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000

Error Message	JSONCOLSカラムが修正できませんので、このJSONCOLSカラムを削除または再作成してください
引数	無し
解説	無し

ERROR 6664

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	JSONCOLSカラムにNOT NULLを定義することができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6665

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	一時表にJSONCOLSカラムが存在できません
引数	無し
解説	create temp table t1 (c1 jsoncols)

ERROR 6666

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000

Error Message	ダイナミックカラムの記述情報が修正または削除できませんが、まずはダイナミックカラムの記述情報を追加してください
引数	ダイナミックカラムのカラム名
解説	無し

ERROR 6667

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	HY000
Error Message	JSONCOLSがビューのINSERT/UPDATEの操作時にサポートされません
引数	無し
解説	無し

4.18 エラーメッセージ 6802-6890

ERROR 6802

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースはセキュリティメカニズムを持っていません
引数	無し
解説	他のユーザーにアクセス権限を割り当てました。 (データベースには、セキュリティ機構がありませんので、権限を割り当てる必要はありません。)

ERROR 6803

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	28000
Error Message	無効な権限指定（接続時のユーザー名が無効です）
引数	無し
解説	存在しないユーザー名で、データベースの接続/起動を試みました。或いはユーザー名を指定しませんでした。

☞ 例

```
CONNECT TO db1;
```

ERROR 6804

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	28000
Error Message	無効な権限指定（接続時のパスワードが無効です）
引数	無し
解説	データベースの接続/起動を試みましたが、パスワードが無効です。

☞ 例

```
CONNECT TO db1 abcdefghi;
```

ERROR 6805

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	28000
Error Message	無効な権限指定(接続する時、ユーザー名がありません)

	ん。Configファイルに初期設定・ユーザー名も見つかりません)
引数	無し
解説	ユーザ名が指定されない、そして、初期ユーザ名は配置ファイルに指定されない時、ユーザはデータベースを接続/起動する時、このエラーが返します。

ERROR 6806

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	28000
Error Message	無効な権限指定（接続する時、パスワードがありません。Configファイルに初期設定・パスワードも見つかりません)
引数	無し
解説	ユーザ名が指定されるが、パスワードが指定されない時、ユーザはデータベースに接続/起動すると、このエラーが返します。

ERROR 6807

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	グループ名が無効です
引数	無し
解説	無効なグループ名を指定しました。

⇒ 例

```
ADD user1 TO grp1;
DROP GROUP grp1;
```

```
REMOVE user1 FROM GROUP grp1;
```

グループgrp1は存在しません

```
CREATE GROUP aaa;
```

aaaは既存のユーザーID。

ERROR 6808

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースに指定されたグループ名が既に存在しています
引数	無し
解説	既に存在しているグループ名でグループを作成しました。

○ 例

```
CREATE GROUP ggg;
```

gggは既存のグループ名。

ERROR 6809

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	あるグループを同じグループに追加することはできません
引数	無し
解説	同じグループを同じグループに追加しようとしてしました。

⇒ 例

```
ADD grp1 TO GROUP grp1;
```

ERROR 6810

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	PUBLICは予約語です
引数	無し
解説	DBMasterが予約語を有効とするときに”PUBLIC”が使用されるとエラーとなります。

⇒ 例

```
例1: Create group PUBLIC;
```

```
例2: Grant connect to PUBLIC;
```

ERROR 6811

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なユーザー名です
引数	Uid
解説	1. add user1 to grp1; (user1が存在しない場合) siaddgrp.cを参照してください。 2. alter password of user1 to a12345; (user1が存在しない場合) sialtpwd.cを参照してください。 3. grant RESOURCE/DBA to user1; (user1が存在しない場合) sigrant1.cを参照してください。 4. grant select on t1 to user1; (user1が存在しない、"PUBLIC"権限及びgroup idもない場合) sigrant2.cを参照してください。

	5. revoke CONNECT/RESOURCE/DBA/ACCESS from user1; (user1が存在しない場合) sirevok1.cを参照してください。
	6. revoke select on t1 from user1; (user1が存在しない、groupもない場合) sirevok2.cを参照してください。

ERROR 6813

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定されたグループに既に同じユーザー名が存在しています
引数	UID
解説	同名の別のユーザーが既に存在するグループに、同じユーザー名でユーザーを追加しようとしてしました。

➡ 例

```
ADD user1 TO GROUP grp1;
```

grp1には既にユーザーuser1がいます。

ERROR 6814

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	グループに特別な権限 (CONNECT/RESOURCE/DBA/SYSDBA/ACCESS)を 与えることができません
引数	gid
解説	grp1(grp1は既存のグループ名である場合)に CONNECT /RESOURCE/DBA/SYSDBA/ACCESS権限

を与えます

☞ 例

```
GRANT RESOURCE TO grp1;
```

ERROR 6815

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SYSADMは既に全権限を持っているため、SYSADMにオブジェクト権限を与えることができません。
引数	無し
解説	SYSADMへオブジェクト権限を与えようとする際に当該エラーが戻されます。

☞ 例

```
GRANT SELECT ON t1 TO SYSADM;
```

ERROR 6816

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SYSADMのいずれの権限も解除できません
引数	無し
解説	SYSADMの権限を取り消そうとしました。

☞ 例

```
REVOKE CONNECT FROM SYSADM;
REVOKE SELECT ON t1 FROM SYSADM;
```

ERROR 6817

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	自分自身にオブジェクト権限は割り当てられません
引数	無し
解説	自分自身にACCESS権限を与える際に当該エラーが戻されました。

☞ 例

```
GRANT SELECT ON t1 TO user1;
```

現在のユーザーは、user1です。

ERROR 6818

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	自分自身のオブジェクト権限は解除できません
引数	無し
解説	自分自身のオブジェクト権限を取り消そうとしました。

☞ 例

```
REVOKE SELECT ON t1 FROM user1;
```

現在のユーザーは、user1です。

ERROR 6819

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	グループに該当するユーザーがいません
引数	UID
解説	グループに所属していないユーザーを、グループから削除しようとしてしました。

⇒ 例

```
REMOVE user1 FROM GROUP grp1;
```

グループ grp1 に、user1 が所属していません。

ERROR 6820

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：グループ所有者ではありません。グループ所有者またはSYSADM/SYSDBA/DBA権限を持つユーザーのみはこのコマンドが実行できます
引数	無し
解説	SYSADM/SYSDBA/DBA権限を持つユーザーではなく、グループの所有者ではないユーザーが、次のようなコマンドを実行しようとする際に当該エラーが戻されます：グループにユーザーを追加、グループを削除、グループからユーザーを削除等。

⇒ 例

```
DROP GROUP grp1;
```

ユーザーはSYSADM、DBA権限がありません。またグループの所有者でもありません。

ERROR 6821

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：ユーザーは表/ビューのスキーマ所有者ではありません。コマンドを実行できるのは、表/ビューのスキーマ所有者だけです。
引数	無し
解説	表/ビューのスキーマ所有者でないユーザーが表/ビューの削除を試みるときに、このエラーが返されます。スキーマ所有者或いはDBA、SYSDBAまたはSYSADM権限を持つユーザーのみはその表/ビューが削除できます。

ERROR 6822

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	ユーザーはドメインのスキーマ所有者ではありませんが、ドメインのスキーマ所有者のみは当該コマンドが実行できます
引数	無し
解説	ドメインのスキーマ所有者でないユーザーがドメインの削除を試みるときに、このエラーが返されます。スキーマ所有者或いはDBA、SYSDBAまたはSYSADM権限を持つユーザーのみはドメインを削除することができます。

ERROR 6823

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：カレントユーザーはDBA権限を持って

	いません
引数	無し
解説	DBA権限をもっていないユーザーがグループの作成を試みる際に当該エラーが戻されます。DBA権限を持つユーザーのみはグループが作成できます。

ERROR 6824

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：カレントユーザーはRESOURCE権限を持っていません
引数	無し
解説	RESOURCE権限をもっていないユーザーは表を作成する際に当該エラーが戻されます。

ERROR 6825

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アドレス違反：SYSADM及びSYSDBA権限を持つユーザーのみは特別な権限(CONNECT/RESOURCE/DBA/ACCESS)を与えることができます
引数	無し
解説	user1（カレントユーザーはSYSADMまたはSYSDBA権限を持つユーザーでない場合）にCONNECT DBA RESOURCE権限を与える際に当該エラーが戻されます。

ERROR 6826

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：SYSADM及びSYSDBA権限を持つユーザーのみは他のユーザーの特別な権限（CONNECT/RESOURCE/DBA/ACCESS）を取り消すことができます
引数	無し
解説	user1(カレントユーザーはSYSADMまたはSYSDBAで無い場合)のCONNECT DBA RESOURCE権限を取り消す際に当該エラーが戻されます。

ERROR 6827

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：指定された操作を与える権限がありません
引数	sel ins upd del alt idx
解説	十分なアクセス権限を持っていないユーザーは他のユーザーにアクセス権限を与える際に当該エラーが戻されます。

ERROR 6828

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：指定した操作権限を解除する権限がありません

引数	sel ins upd del alt idx
解説	十分なオブジェクト権限を持っていないユーザーが、他のユーザーのオブジェクト権限を削除しようと試みました。

ERROR 6829

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：SELECTの権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6830

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：INSERTの権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6831

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：DELETEの権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6832

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：UPDATEの権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6833

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：REFERENCEの権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6834

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：ALTER TABLEの権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6835

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：指定した表に対する

	CREATE/CHECK INDEXの権限がありません
引数	無し
解説	表のオブジェクト権限を持っていないユーザーが、表に索引を作成しようとしました。

ERROR 6839

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：SYSADM及びSYSDBA権限を持つユーザーのみは他のユーザーのパスワードが変更できます
引数	無し
解説	SYSADM以外のユーザーが「ALTER PASSWORD OF... TO..」構文を使って他のユーザーのパスワードの変更を試みる際に当該エラーが戻されます。SYSADM及びSYSDBA権限を持つユーザーのみは他のユーザーのパスワードが変更できます。

ERROR 6840

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：SYSADMまたはSYSDBA権限を持つユーザーのみがDBA権限を持つユーザーに権限を割り当てます
引数	無し
解説	SYSADM権限を持っていないユーザー（user1）はDBA権限を持つユーザー（user2）にアクセス権限を与える際に当該エラーが戻されます。SYSADMまた

	はSYSDBAのみがDBA権限を持つユーザーに権限を与えることができます。
--	---------------------------------------

ERROR 6841

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：SYSADM及びSYSDBA権限を持つユーザーのみはDBA権限を持っているユーザーのオブジェクト権限が解除できます
引数	無し
解説	SYSADMまたはSYSDBA権限を持っていないユーザー（user1）はDBA権限を持つユーザー（user2）にアクセス権限を取り消す際に当該エラーが戻されます。 SYSADMまたはSYSDBAのみがDBA権限を持つユーザーに権限を取り消すことができます。

ERROR 6842

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	権限リストに重複した項目があります
引数	重複する権限、sel ins ...
解説	無し

⇒ 例

GRANT INSERT, INSERT ON t1 TO user1;

ERROR 6843

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	権限リストに指定したカラムが重複しています
引数	重複するカラム名
解説	カラムへのアクセス権限を割り当てる時に、権限リストのカラムが重複しています。

⇒ 例

```
GRANT INSERT (c1,c1) ON t1 TO user1;
```

ERROR 6844

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	余計な記述で、PUBLICはすべてのユーザーを含みます
引数	無し
解説	余分な権限付与の記述があります。

⇒ 例

```
GRANT SELECT ON t1 TO user1,PUBLIC;  
REVOKE SELECT ON t1 FROM user1,PUBLIC;
```

PUBLICには全てのユーザーが含まれます。つまり、user1に権限を与える/取り消す部分は余分です)。

ERROR 6845

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	古いパスワードが正しくありません

引数	無し
解説	クライアント・ユーザーがパスワードを変更しようとしたが（古いパスワードから新しいパスワードに）、変更するために入力された古いパスワードが誤っています。

ERROR 6846

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無限ループを引き起こすグループは追加できません
引数	無し
解説	グループに新規メンバーを追加しようとしたが、無限ループを引き起こす可能性があります。

➡ 例

```
ADD g1 TO GROUP g2;
```

g2は既にg1のメンバーです。これは、グループの循環チェーンを引き起します。

ERROR 6847

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表を修正しようとした
引数	無し
解説	無し

➡ 例

```
UPDATE SYSTEM.SYSTABLE SET TABLE_NAME = 'abc';
```

ERROR 6848

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーはデータベースを中止する権限を持っていません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6849

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーにはデータベースを起動する権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6850

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：SELECT権限を有するユーザーのみが表を共有ロックすることができます
引数	無し
解説	表へのSELECT権限を持っていないユーザーが、表のロックを試みました。

ERROR 6851

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：DELETEやUPDATE権限を有するユーザーのみが表を排他ロックすることができます
引数	無し
解説	表をロックする権限のないユーザーがロックを試みました。

ERROR 6853

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	オブジェクト所有者にそのオブジェクト権限は割り当てられません
引数	UID
解説	自分自身の所有しているオブジェクトへのオブジェクト権限を与えようとしてしました。

⇒ 例

```
GRANT SELECT ON user1.t1 TO user1;
```

ERROR 6854

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	オブジェクト所有者にオブジェクト権限を解除することができません
引数	UID

解説	所有しているオブジェクトへのオブジェクト権限を取り消そうとしました。
----	------------------------------------

➡ 例

```
REVOKE SELECT ON user1.t1 FROM user1;
```

表を有しているユーザーは、その表の完全な権限を待っています。自分が所有する表の権限を取り消すことはできません。

ERROR 6856

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なグループ名：指定されているグループ名は既存のユーザー名と同じかも知れません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6857

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザー名やグループ名にSYSTEMを使用できません
引数	無し
解説	無し

➡ 例

```
GRANT CONNECT TO SYSTEM;
```

ERROR 6858

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表を参照する外部キーの作成はできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6859

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	システム表に対して、シノニムの作成はできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6860

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表に対して権限の付与/解除はできません
引数	一時表名
解説	無し

➡ 例

```
CREATE TEMPORARY TABLE t1(c1 int);  
GRANT SELECT ON TABLE t1 TO user1;
```


ERROR 6861

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：EXECUTEの権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6862

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：プロジェクト所有者のみがこのコマンドを実行できます
引数	無し
解説	自分自身が所有していないプロジェクトを削除しようとしてしました。

⇒ 例

```
DROP PROJECT prj1;
```

ERROR 6863

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：ユーザーはストアド・コマンドのスキーマ所有者ではありません。ストアド・コマンドを削除できるのはストアド・コマンドのスキーマ所有者だけです。
引数	無し

解説	スキーマ所有者でないユーザー、またはDBA権限のあるユーザーがストアド・コマンドの削除を試みるときに、このエラーが返されます。
例	削除コマンド <code>uxx.cmd1</code> ; ストアド・コマンドのスキーマ所有者のみがストアド・コマンドを削除できます。

➡ 例

```
DROP COMMAND uxx.cmd1;
```

ERROR 6864

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：ユーザーはストアドプロシージャのスキーマ所有者ではなく、ストアドプロシージャのスキーマ所有者とDBA権限を持つユーザーのみはこのストアドプロシージャが削除できます
引数	無し
解説	スキーマ所有者でないユーザー、またはDBA権限のあるユーザーがストアド・プロシージャの削除を試みるときに、このエラーが返されます。
例	削除プロシージャ <code>uxx.cmd1</code> ; (ストアド・プロシージャのスキーマ所有者のみがストアド・プロシージャを削除できます)。

➡ 例

```
DROP PROCEDURE uxx.sp1;
```

ERROR 6865

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効な操作です（ビューにはselect/delete/update/insert以外の権限付与、権限解除はできません）
引数	無し
解説	データ修正の権限を持っているユーザーのみが、ビューの権限を付与/解除できます。

ERROR 6866

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	表の所有者かDBAのみが表レプリケーションを作成/削除できます
引数	無し
解説	無し

ERROR 6867

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	ユーザーはスキーマ所有者ではありません。コマンドを実行できるのは、スキーマ所有者だけです。
引数	無し
解説	スキーマ所有者でないユーザーがスキーマのコマンドの実行を試みるときに、このエラーが返されます。スキーマのコマンドを実行できるのはスキーマ所有者、またはDBA権限のあるユーザーだけです。

ERROR 6868

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	ユーザーはシノニムのスキーマ所有者ではありません。コマンドを実行できるのは、シノニムのスキーマ所有者だけです。
引数	無し
解説	シノニムのスキーマ所有者またはDBA権限を持つユーザーのみはスキーマからシノニムが削除できます。

ERROR 6869

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	入力されたIPアドレスが正しくありません
引数	無し
解説	入力されたIPアドレスではデータベースに接続できません。

ERROR 6870

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	以下では設定を更新できません： (SYSADM,'127.0.0.1')
引数	無し
解説	以下では設定を更新できません：

	(SYSADM,'127.0.0.1')
--	----------------------

ERROR 6871

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	SYSACLの許可レコードはすでに存在しています
引数	無し
解説	SYSACLでは複数の許可レコードを使用できません。

ERROR 6872

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：使用権限がありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6873

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	アクセス違反：ユーザーはSTATISTICS TABLE SETTING権限がありません
引数	無し
解説	DBAと表所有者はこの権限が持ちます。

ERROR 6874

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQL State	42000
Error Message	アクセス違反：SYSADMのみは他のユーザーにSYSDBA権限が与えられます
引数	無し
解説	無し

ERROR 6875

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	42000
Error Message	アクセス違反：SYSADMのみは他のユーザーにSYSDBA権限が取り消せます
引数	無し
解説	無し

ERROR 6876

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	42000
Error Message	アクセス違反：SYSADMのみはSYSDBA権限を持つユーザーのパスワードが変更できます
引数	無し
解説	無し

ERROR 6877

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	42000

Error Message	アクセス違反：SYSDBAはSYSDBA以下の権限を持つユーザーのパスワードを変更できます
引数	無し
解説	無し

ERROR 6878

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	42000
Error Message	アクセス違反：現在のユーザーはスケジュールのスキーマの所有者ではありません；スケジュールスキーマの所有者のみ当該コマンドが実行できます
引数	無し
解説	schedule_drop('user2.sche1'); (現在のユーザーはuser2で、SYSADMまたはDBA権限を持つべきです。)

ERROR 6879

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQL State	42000
Error Message	アクセス違反：現在のユーザーはタスクのスキーマの所有者ではありません；タスクスキーマの所有者のみ当該コマンドが実行できます
引数	無し
解説	task_drop('user2.task1'); (現在のユーザーはuser2で、SYSADMまたはDBA権限を持つべきです。)

ERROR 6880

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	スケジュールがそれに属しているタスクのみ使用することができます
引数	無し
解説	スケジュールの所有者とタスクの所有者は同じユーザでなければなりません。 <pre>call task_create('user1.task1','SQL_STATEMENT','insert into t1 values(1)');</pre> <pre>call schedule_create('user1.sche1','user1.task1',....);</pre> デフォルトユーザは現在のユーザーです。

ERROR 6881

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	システムタスクが作成できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6882

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	システムスケジュールが作成できません
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 6883

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	システムタスクが削除できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6884

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	システムスケジュールが削除できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6885

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	dmschsvrはすでに起動しています
引数	無し
解説	無し

ERROR 6886

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	42000
Error Message	システムタスクが変更できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6887

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	システムスケジュールが変更できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6888

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	システムスケジュールを有効にすることができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 6889

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	システムスケジュールを無効にすることができません

引数	無し
解説	無し

ERROR 6890

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	42000
Error Message	PUBLICがブラックリストのルールをサポートしないため、BLOCK権限をPUBLICに与えることが出来ません
引数	無し
解説	無し

4.19 エラーメッセージ 7102-7123**ERROR 7102**

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なファイル名：ファイル名が長すぎます
引数	無し
解説	この統計ファイル名は無効です。ファイル名が長すぎないかチェックしてください。

ERROR 7103

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルのオープン・エラー

引数	無し
解説	統計ファイルにアクセスできません。このファイルの存在を確認してください。

ERROR 7104

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルのEOF
引数	無し
解説	無し

ERROR 7105

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルの構文エラー
引数	無し
解説	統計ファイルに構文エラーがあります。

ERROR 7106

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに不正なデータベース名があります
引数	無し
解説	統計ファイルのデータベース名と現在のデータベース名が一致しません。

ERROR 7107

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに無効な所有者名があります
引数	無し
解説	統計ファイルの所有者名が無効です。

ERROR 7108

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに重複する所有者名があります
引数	無し
解説	統計ファイルに重複する所有者名があります。

ERROR 7109

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに所有者名がありません
引数	無し
解説	統計ファイルに所有者がありません。

ERROR 7110

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに無効な表名があります

引数	無し
解説	統計ファイルの表名が無効です。

ERROR 7111

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに表名がありません
引数	無し
解説	統計ファイルに表名がありません。

ERROR 7112

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに無効なカラム名があります
引数	無し
解説	統計ファイルのカラム名が無効です。

ERROR 7113

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルにカラム名がありません
引数	無し
解説	統計ファイルにカラム名がありません。

ERROR 7114

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに無効な索引名があります
引数	無し
解説	統計ファイルの索引名が無効です。

ERROR 7115

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに索引名がありません
引数	無し
解説	統計ファイルに索引名がありません。

ERROR 7116

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに無効な整数値があります
引数	無し
解説	統計ファイルの整数値が無効です。

ERROR 7117

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに無効な浮動小数点の値がありま

	す
引数	無し
解説	統計ファイルのFLOAT値が無効です。

ERROR 7118

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに無効な16進数の値があります
引数	無し
解説	統計ファイルの16進数値が無効です。

ERROR 7119

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	サンプル値が無効です
引数	無し
解説	統計を更新するために与えたサンプル率が無効です。有効値は1から100の間の整数です。

➡ 例

```
UPDATE STATISTICS t1 sample = 150;
```

ERROR 7120

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ビューで統計をUPDATE / UNLOAD / LOADすることはできません

引数	無し
解説	ビューの統計を更新/アンロード/ロードすることはできません。

ERROR 7121

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表で統計をUPDATE / UNLOAD / LOADすることはできません
引数	無し
解説	一時表の統計は更新/アンロード/ロードすることはできません。

ERROR 7122

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ロード・ファイルに無効な文字列型の値があります
引数	無し
解説	統計ファイルの文字列の値が無効です。

ERROR 7123

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	一時表に表統計を設置することはできません
引数	無し
解説	一時表に表統計を設置することはできません。

4.20 エラーメッセージ 7401-7403

ERROR 7401

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メディアバージョンが無効かサポートされていません
引数	無し
解説	メディアバージョンが無効か、サポートされていない場合このエラーが返されます

ERROR 7402

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メディアが無効または破損しています
引数	無し
解説	メディアが無効、または破損しているときこのエラーが返されます

ERROR 7403

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メディアが無効か暗号化がサポートされていません
引数	無し
解説	メディアが無効、もしくは暗号化がサポートされていないものであった場合このエラーが返されます

4.21 エラーメッセージ 7501-7555

ERROR 7501

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	メモリ不足です
引数	無し
解説	要求したコマンドを実行するための十分なメモリがありません。

ERROR 7502

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なカーソル名です
引数	無し
解説	以前に宣言されたことのないカーソルを開くか、取得するか、閉じようとしています

例

```
exec sql open testCur1;
```

ERROR 7503

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	記述は開かれたカーソルに関連付けられます

引数	無し
解説	開かれたカーソルに関連付けられている記述を準備または実行しようとしたときにエラーとなります。

☞ 例

```
exec sql prepare stmt1 FROM stmt_string;
exec sql declare cur1 cursor for stmt1;
exec sql open cur1;
exec sql execute stmt1;
```

ERROR 7504

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	定義しようとするカーソルはすでに宣言されています
引数	無し
解説	既に宣言したカーソルと関連している文を準備/実行しようとした。

☞ 例

```
exec sql prepare stmt1 FROM : stmt_string;
exec sql declare cur1 cursor for stmt1;
exec sql execute stmt1;
```

ERROR 7505

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	24000
Error Message	カーソルがオープンしていないか、既にクローズしているためにデータをフェッチできません

引数	無し
----	----

⇒ 例

```
exec sql declare cur1 cursor for select * from t1 into c1, c2; exec sql  
open cur1;
```

ERROR 7506

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	単一SELECT文では一行しかアクセスできません
引数	無し
解説	singleton select文で行をチェックしようとした が、結果が複数でした。ESQLプリプロセッサで-sol プションを設定して機能のチェックすることができ ます。初期設定はOFFです。

⇒ 例

```
exec sql select * from t1 into ;c1, :c2;
```

表 t1には2つの行があります。

ERROR 7508

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続がまだ行われていません
引数	無し
解説	ESQLプログラムに接続構文がありません。又は接続 できませんでした。

➡ 例

接続構文が無い時、次のESQLプログラムを実行します。

```
exec sql select * from t1 into :c1, :c2
```

ERROR 7509

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効な記述名です
引数	無し
解説	無効な記述名

➡ 例

```
Exec sql execute stmt1;
```

stmt1はまだ準備されていません。

ERROR 7510

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非問合せ文にカーソルは宣言できません
引数	無し
解説	非問合せ文にカーソルを宣言しました。

➡ 例

```
Exec sql prepare stmt1 from "insert into t1 values (100,200)"; exec sql  
declare cur1 cursor for stmt1;
```

ERROR 7511

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	単一SELECT文でカーソルは宣言できません
引数	無し
解説	カーソルは単一SELECT関数でデータを取得するために使用できないので、宣言するカーソルがありません。

ERROR 7512

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非問合せ文に出力ホスト変数は記述できません
引数	無し
解説	非問合せ文に出力ホスト変数を記述しようとした。

例

```
Exec sql describe select list for stmt1 INTO output_descriptor;
```

stmt1は問合せ文ではありません。

ERROR 7513

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ステートメントがまだ準備されていません
引数	無し
解説	非準備文を実行/記述しようとした。

ERROR 7514

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非問合せ文でEXECUTEを使ってカーソルをオープンすることはできません
引数	無し
解説	EXECUTE文を使ってカーソルをオープンしようとしてしました。

☞ 例

```
exec sql prepare stmt1 from "select * from t1";
exec sql execute stmt1;
```

ERROR 7516

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ESQL記述の操作が中止されました
引数	文、カーソル名
解説	トランザクションをコミットせずにDBから切断する時に、文/カーソルでput BLOB操作が取り消されました。

ERROR 7517

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	記述されたホスト変数の数が最大数を超過しています
引数	無し

解説	ディスクリプタ域の最大割り当てホスト変数が、文のホスト変数の数より少ないです。
----	---

ERROR 7518

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バインドされているカラムの数が多すぎます
引数	無し
解説	バインドされたカラム数が多すぎます。

例

```
exec sql select c1,c2 from t1 into :c1, :c2, :c3;
```

ERROR 7519

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バインドされているパラメータの数が多すぎます
引数	無し
解説	バインドされたパラメータが多すぎます。

例

```
strcpy(stmt1.arr, "insert into t1 values (:n1, :n2)");  
exec sql prepare stmt1 from :stmt1;  
exec sql execute stmt1 using :x1, :x2, :x3;
```

ERROR 7520

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	バインドされているパラメータの数が少なすぎます
引数	無し
解説	バインドされたパラメータが少なすぎます。

☞ 例

```
strcpy(stmt1.arr, "insert into t1 values (:n1, :n2)");  
exec sql prepare stmt1 from :stmt1;  
exec sql execute stmt1 using :x1;
```

ERROR 7521

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	書込み必要のデータがあります
引数	無し
解説	ESQL状態遷移によると、現在の状態がデータの出力で始まっています。ESQL状態には厳格なシーケンスがあります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR (必ずこのシーケンスに従います)

ERROR 7522

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データの書込み中です

引数	無し
解説	ESQL状態によると、現在の状態がデータの出力で始まっています。ESQL状態には厳格なシーケンスがあります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR (必ずこのシーケンスに従います)

ERROR 7523

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データの書き込みが終わりました
引数	無し
解説	ESQL状態遷移によると、現在の記述がデータの出力で始まっています。ESQL状態には厳格なシーケンスがあります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR (必ずこのシーケンスに従います)

ERROR 7524

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	カーソルのフェッチ後や問合せの実行後にはデータ を取得する必要があります
引数	無し
解説	ESQL状態遷移によると、現在の状態がデータの出力 で始まっています。ESQL状態には厳格なシーケンス があります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR (必ずこのシーケンスに従います)

ERROR 7525

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	stmtがまだ実行されていないのでデータの書き込み ができません
引数	無し
解説	ESQL状態遷移によると、現在の状態がデータの出力 で始まっています。ESQL状態には厳格なシーケンス があります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR (必ずこのシーケンスに従います)

ERROR 7526

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	問合せ文にデータを書き込めません
引数	無し
解説	ESQL状態遷移によると、現在の状態がデータの出力で始まっています。ESQL状態には厳格なシーケンスがあります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR (必ずこのシーケンスに従います)

ERROR 7527

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	begin_put_dataを記述しないと、データの書込み又はend_put_dataの記述ができません
引数	無し
解説	ESQL状態遷移によると、現在の状態がデータの出力で始まっています。ESQL状態には厳格なシーケンスがあります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR

	(必ずこのシーケンスに従います)
対策	データの出力は"begin put data"から始めなければなりません。データの出力のプロセスは以下のとおり： begin put data put data end put data

ERROR 7528

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBパラメータを問合せと関連付けられません
引数	無し
解説	問合せでBLOBデータ型のパラメータをバインドしようとした。

ERROR 7529

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	問合せでBLOBの書込みを取り消せません
引数	無し
解説	問合せでput BLOB文を取り消そうとした。

ERROR 7530

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	BLOBパラメータのない文にBLOBは書込めません
引数	無し
解説	無し

ERROR 7531

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データの書込み時にこの操作はできません
引数	無し
解説	ESQL状態遷移によると、現在の状態がデータの出力で始まっています。ESQL状態には厳格なシーケンスがあります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR (必ずこのシーケンスに従います)

ERROR 7532

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	これ以上書き込まれるパラメータがありません
引数	無し
解説	全パラメータがputされた後に、「PUT NEXT」操作を試みました。「PUT NEXT」操作ではなく、「END PUT」操作を呼び出して下さい。

ERROR 7533

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	書込まれるパラメータはまだあります
引数	無し
解説	全パラメータがまだputされていない時に、「END PUT」操作を試みました。「END PUT」操作ではなく、「PUT NEXT」操作を呼び出して下さい。

ERROR 7534

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なフェッチ操作で、スクロールできるカーソルを宣言する必要があります
引数	無し
解説	無し

ERROR 7535

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQLDAポインタが無効か割り当てられていません
引数	無し
解説	SQLDAのポインタが存在しない或いは無効です。

ERROR 7536

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	ホスト変数の数が無効です
引数	無し
解説	SQLDA関数のGetSQLDA()、又はSetSQLDA()を呼び出しましたが、次の3つのいずれかが発生しました。 入力ホスト変数番号が0より小さい。 入力ホスト変数が最大ホスト変数よりも大きい。 入力ホスト変数がSQLDAの最大ホスト番号よりも大きい。

ERROR 7537

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQLDAのフィールドオプションが無効です
引数	無し
解説	SQLDA関数のGetSQLDA()の入力域オプションが定義されていません。或いは、SQLDA関数のSetSQLDA()の入力域オプションが定義されていません。又はセットすることができません。

ERROR 7538

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザー・ログファイルへの出力エラー
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャの全トレース情報を書き込

	む十分なスペースがあるかどうかを確認して下さい。
--	--------------------------

ERROR 7539

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザー・ログファイルのクローズエラー
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャのトレース・ファイルを開 じることができませんでした。

ERROR 7540

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザー・ログファイルのオープンエラー
引数	無し
解説	ストアド・プロシージャのトレース・ファイルを開 くことができませんでした。

ERROR 7541

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	記述情報がないディスクリプタは使用できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 7542

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	関連するディスクリプタの情報は充分ではないので、記述文を実行/オープンできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 7543

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	SQLDAの入力できる数の最大値が無効です
引数	無し
解説	SQLDA関数allocate_descriptor_storage()を使ってSQLDAを割り当てようとしたましたが、入力SQLDAエントリ・サイズが0以下、又は2147483647より大きいです。

ERROR 7544

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	24000
Error Message	カーソルは既に宣言されています
引数	無し
解説	カーソルは宣言済みなので、再度宣言することはできません。

ERROR 7545

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	24000
Error Message	カーソルが既にオープンしています
引数	無し
解説	ESQL状態遷移により、カーソルの状態はオープンか取得状態なので、現在「カーソルの宣言」はできません。ESQL状態には厳格なシーケンスがあります： PREPARE/DECLARE CURSOR PUT/GET DATA END/CLOSE CURSOR (必ずこの順序で行います)

ERROR 7546

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データ長が0以下なので無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 7547

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	出力ホスト変数やディスクリプタが指定されていないBLOBは取得できません

引数	無し
解説	無し

ERROR 7548

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	単一タプル選択ではBLOBは取得できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 7549

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ホスト変数の配列サイズ以上の行数はフェッチできません
引数	無し
解説	行セットのサイズより大きい行数をフェッチするように指定しようとしてしました。

ERROR 7550

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBの取得時に2行以上をフェッチすることはできません
引数	無し
解説	GET DATA文でBLOBデータを回収しようとする時、

行セットのサイズは1でなければなりません。

ERROR 7551

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ゼロ又は負数の行はフェッチできません
引数	無し
解説	フェッチする行数に負数又は0を指定しました。

ERROR 7552

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	指定された入力ファイルのタイプが無効です
引数	無し
解説	ファイル・オブジェクトをputするために、 ESQL_STORE_FILE_CONTENTと ESQL_STORE_FILE_NAME以外の関数を呼び出そう としました。

ERROR 7553

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアドプロシージャプログラムに結果セットが返されなかった
引数	無し
解説	無し

ERROR 7554

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ストアドプロシージャプログラムに複数の結果セットは戻せません
引数	無し
解説	無し

ERROR 7555

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	実行文の後に入力パラメータの記述はできません
引数	無し
解説	無し

4.22 エラーメッセージ 7701-7719**ERROR 7701**

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	非同期表レプリケーションのログ・レコードが無効です
引数	無し
解説	非同期レプリケーションのログファイル(*.TRP)が壊れています。TRPファイルの不正な修正か、TRPフ

	ファイルにログ・データを書き込む際に発生した内部エラーかもしれません。
--	-------------------------------------

ERROR 7702

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	このスケジュールは存在しません
引数	無し
解説	存在しないスケジュールを修正しようとしてしました。 或いは、スケジュールが存在しない非同期表レプリケーションを作成しようとしてしました。

ERROR 7704

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	プロジェクト・リストに重複するカラムがあります
引数	無し
解説	重複するレプリケーション・カラムがあります。

⇒ 例

```
CREATE ASYNC REPLICATION rp1 WITH PRIMARY AS tb1 (c1,c2,c3)
REPLICATE TO db2:tb2 (c1,c2,c1);
```

ERROR 7705

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	異種非同期レプリケーションではデータの初期化は実行できません

引数	無し
解説	no_check（異種）レプリケーションに対し、「データをクリア」、又は「データをフラッシュ」、或いは「クリアしてからフラッシュ」オプションを試みました。

ERROR 7706

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	影響されるレコード数が1つだけではありません
引数	無し
解説	レプリケーションのソース表とターゲット表が異なります。

⇒ 例

ターゲット表にないタプルをソース表で削除しようとしてしました。

ERROR 7707

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	サブスクリプションのあるスケジュールは削除できません
引数	無し
解説	そのスケジュールに則ったレプリケーションがあるスケジュールを削除しようとしてしました。このスケジュールに基づくレプリケーションを全て削除してから、スケジュールを削除して下さい。

ERROR 7708

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	重複したレプリケーションです
引数	無し
解説	既に使用している名前のレプリケーションを作成しようとした。

ERROR 7709

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	スケジュールが重複しています
引数	無し
解説	同一のターゲット・データベースに対し、重複するスケジュールを作成しようとした。

ERROR 7711

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	同期を取るときにエラーが発生しました
引数	無し
解説	データの同期を取るときにエラーが発生しました。 DMERROR.LOGでエラー情報をチェックして、問題を解決して下さい。

ERROR 7712

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ODBC dllがロードできません
引数	無し
解説	ODBC dllのODBC32.DLLがロードできません。

ERROR 7713

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	異種レプリケーションではリモート・スキーマをチェックできません
引数	無し
解説	異種表レプリケーションは、リモート・スキーマをチェックすることができません。

ERROR 7714

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カスケードするサブスクリプションがない同期レプリケーションの生成はできません
引数	無し
解説	同期表レプリケーションで、非カスケード機能を使うことはできません。

ERROR 7715

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ディストリビュータが使用中です
引数	無し
解説	ディストリビュータがあるDBを同期している時に、他のユーザーが別の同期を要求しました。

ERROR 7716

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レプリケーションの全サブスクライバを削除することはできません
引数	無し
解説	レプリケーションには、最低1サブスクライバが必要です。

☞ 例

レプリケーションrp1には1加入者（db2:t2）があります。レプリケートを削除してレプリケーションrp1を修正しようとしてしました。

ERROR 7717

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ログデータが2Gを超えています
引数	無し

解説	ログを取るデータのサイズが2Gを超えることはできません。挿入の場合、ログを取る新規データ。更新の場合、新旧データ。削除の場合は旧データ。
----	--

ERROR 7718

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	異種レプリケーションでは高速非同期表レプリケーションを実行できません
引数	無し
解説	DBMasterとOracleのように異なる種類のデータベース間で高速非同期表レプリケーションを適用しようとした。

ERROR 7719

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	高速非同期レプリケーションにSTOP ON ERRORオプションを指定しています
引数	無し
解説	高速非同期表レプリケーションには、STOP ON ERRORオプションは適用できません。

4.23 エラーメッセージ 8001-8077

ERROR 8001

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルの値の型はサポートされていません
引数	無し
解説	環境設定ファイルの値の型は、DBMasterでサポートされていません。

ERROR 8002

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルにキーワードの入力が必要です
引数	キーワード
解説	dmconfig.iniファイルにキーワードに指定された値がありません。
対策	dmconfig.iniファイルにキーワードと値を追加します。

ERROR 8003

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigの値が長すぎます
引数	dmconfig値の戻りサイズと最大サイズ
解説	dmconfig.iniファイルに指定されているキーワードの値が長すぎます。
対策	キーワードの値をDBMasterのシステム制限の範囲内に収まるように修正します（255文字）。

ERROR 8005

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルの入力形式のエラー、或いはキーワードが長すぎます
引数	キーワード
解説	dmconfig.iniファイルに指定されているキーワード形式が正しくないか、キーワードの長さが256文字を超えています。
対策	キーワード形式を修正してDBMasterのシステム制限の範囲内にします（256文字）。

ERROR 8006

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigの値は整数ではありません
引数	キーワード値
解説	dmconfig.iniに指定されているキーワードの値が整数値ではありません。或いは、値が長すぎます。
対策	dmconfig.iniのキーワードの値を整数値に変更します。

ERROR 8007

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルに指定されたデータベースのセク

	ションが見つかりません
引数	無し
解説	dmconfig.iniファイルには、起動あるいは接続しようとしているデータベースの構成セクションがありません。次の2つの可能性があります。 データベースが未だ作成されていません。 dmconfig.iniからデータベース構成セクションが削除されました。
対策	起動あるいは接続しようとしているデータベース名が正しいことをチェックします。データベースは、使用する前に作成されていなければなりません。 既にデータベースが作成されているならば、データベースの構成セクションをdmconfig.iniに追加します。ただし、BLOBまたはジャーナル・ファイルに関連するキーワードを変更しているときは、正しく元に戻さないと、データベースを起動あるいは接続することができなくなるかもしれません。

ERROR 8008

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルにデータベースのセクションが作成できません
引数	無し
解説	データベースを作成しようとしたますが、dmconfig.iniファイルが書き込み禁止になっています。
対策	dmconfig.iniファイルの書き込み禁止をOFFにし、再

度データベースを作成します。

ERROR 8009

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルが存在しません
引数	無し
解説	dmconfig.iniファイルのデータを更新・挿入しようとしたが、ファイルがありません。
対策	サーチパス上にdmconfig.iniファイルが存在することを確認めます。

ERROR 8010

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルのクローズ・エラーです
引数	無し
解説	オープンしたdmconfig.iniファイルが何らかの理由でクローズできません。
対策	オペレーティング・システムのエラーです。ファイルを使用している間に、ファイルが削除/移動/書き込み禁止にされなかったか確認チェックします。ファイルに異常がなければ、エラーを起こした命令を再度実行します。

ERROR 8011

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルを書込む時のI/Oエラーです
引数	無し
解説	無し

ERROR 8012

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	DB_DBDIRをカレント・ディレクトリにセットできません。ディレクトリが長すぎるかも知れません。
引数	無し
解説	カレント・パスの最大長は70です。カレント・パスに他のパスを使ってみて下さい。

ERROR 8014

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	初期設定がディレクトリにインストールされていません
引数	無し
解説	UnixプラットフォームにDBMasterをインストールしている間、セットアッププログラムは初期設定のDBMasterユーザー"dbmaster"に対する初期設定のディレクトリエントリを見つけることができません。ユーザーdbmasterに対する初期設定のディレクトリエントリがみつかりません。

対策	DBMasterを再インストールします。
----	----------------------

ERROR 8030

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルをバックアップするための一時ファイルを開けません
引数	無し
解説	DBMasterがdmconfig.iniファイルのバックアップを取ろうとしましたが、バックアップディレクトリにファイルを作成する権限がありません。
対策	バックアップ・ディレクトリにファイルを作成する権限をもっていることを確認します。

ERROR 8031

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	バックアップ履歴ファイルにバックアップIDがありません
引数	無し
解説	JServer Managerでバックアップからデータベースをリストアしようとしたますが、ファイルは自動的にバックアップされないので、履歴ファイルにバックアップIDがありません。
対策	バックアップIDと手動でバックアップしたバックアップ・ファイルの間の関係を記憶しておきます。それによって正しいファイルをJServer Managerに与える

	ことができます。それ以外では、JServer Managerは、バックアップからファイルを適切にリストアできません。
--	--

ERROR 8032

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22018
Error Message	無効な16進法のフォーマットです
引数	無し
解説	無し

ERROR 8040

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	古いバックアップ履歴を戻すことはできません
引数	無し
解説	古いバックアップ履歴ファイルを読む権限または新しい .bak ファイルに書き込みを行う権限がユーザーにはありません。
対策	関連ファイルの読み取り/書き込み権限があることを確認します。

ERROR 8050

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	無効なdatetimeフォーマットです

引数	無し
解説	無し

ERROR 8051

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	DATE型のフォーマットが無効です(日付の区切りが無効です)
引数	無し
解説	日付デリミタ・フォーマットが無効です。

ERROR 8052

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	DATE型のフィールドがオーバーフローしています(日付が無効です)
引数	無し
解説	無し

ERROR 8053

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	DATE型のフィールドがオーバーフローしています(日付整数が無効です)
引数	無し
解説	無し

ERROR 8054

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	TIME型のフォーマットが無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 8055

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	TIME型のフォーマットが無効です (時刻の区切りが無効です)
引数	無し
解説	無し

ERROR 8056

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	TIME型のフィールドがオーバーフローしています (時刻の値が無効です)
引数	無し
解説	無し

ERROR 8057

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	TIME型の時刻整数が無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 8058

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	TIMESTAMP型のフォーマットが無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 8059

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	TIMESTAMP型のフィールドがオーバーフローしています (TIMESTAMPの値は無効です)
引数	無し
解説	無し

ERROR 8060

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	無効なdatetime時間間隔です
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 8061

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22007
Error Message	曜日指定が無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 8063

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	フォーマットが無効です
引数	無し
解説	無効な文字列フォーマットによる一般エラーです。

ERROR 8064

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	キーワードの値が引用符で括った内容と一致しません
引数	キーワード値
解説	スペースのあるキーワード値は、ダブルクォーテーションで括ります。左側だけに(")マークがあり右側がない場合は、エラーが戻ります。

ERROR 8066

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クライアントとサーバの間に非互換のローカルコード設定があります
引数	無し
解説	1.クライアントとサーバは異なるDB_LCODEを有しています。 2. クライアントは異なるDB_LCODEで2台のサーバに接続します。

ERROR 8067

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	フィールドを解析しているときに、説明ファイルのフィールド位置にエラーが発生しました
引数	無し
解説	1.可変形式ファイルでは、フィールド位置が正しいかどうかを確認します。 2.固定形式ファイルでは、フィールド位置が超過していないかどうかを確認します。

ERROR 8068

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfig.iniのパスワード値が長すぎます

引数	無し
解説	無し

ERROR 8069

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	AESのキー長は16, 24, 32でなければなりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8070

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラム認証に失敗しました :
引数	xercesエラー
解説	カラム認証失敗時にこのメッセージが返されます

ERROR 8072

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データの暗号化または復号化が失敗します
引数	無し
解説	データの長さが16バイトアラインでない場合に、このエラーメッセージが戻されます。

ERROR 8077

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なJSONフォーマット
引数	無し
解説	無効なJSONフォーマット

4.24 エラーメッセージ 8100-8300**ERROR 8101**

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	メモリ以外
引数	無し
解説	無し

ERROR 8102

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	宣言したシンボル構文が間違っています
引数	無し
解説	無し

ERROR 8103

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	無効なsql入力ファイル拡張子名、正確にはfilename.sp です
引数	無し
解説	無し

ERROR 8104

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	プレプロセッサに接続データベース名を提供しません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8105

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	プレプロセッサに接続所属者名を提供しません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8106

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	S1000
Error Message	無効なストアプロシージャデータタイプ
引数	無し
解説	無し

ERROR 8108

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	宣言セクションに主変数の名が見つかりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8109

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	多すぎる入力ホスト変数がバインドできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8110

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	無効なインジケータデータタイプ。長い整数として宣言する必要があります
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 8111

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	バインド引数の数は実際の出力引数と同じです
引数	無し
解説	無し

ERROR 8112

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	アレイ型のホスト変数を入力ホスト変数として使用できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8113

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	ストアードプロシージャの戻り変数はバインド出力ホスト変数に使用しなければなりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8114

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	無効なデータタイプ
引数	無し
解説	無し

ERROR 8115

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	アレイ型のホスト変数をインジケータとして使用できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8116

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	多すぎる出力ホスト変数がバインドできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8117

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000

Error Message	ストアドプロシージャの入力変数はバインド入力ホスト変数に使用しなければなりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8118

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	コードを生成する時エラーが起こる
引数	無し
解説	無し

ERROR 8119

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	多すぎるカーソル
引数	無し
解説	このエラーはストアドプロシージャで128以上の異なるカーソルステートメントが定義された際に発生します。

ERROR 8120

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	spファイルを解析する時エラーが起こる
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 8121

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	SPを終了する時エラーが起こる
引数	無し
解説	無し

ERROR 8122

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	宣言されないシンボル
引数	無し
解説	無し

ERROR 8123

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	宣言されないカーソル名
引数	無し
解説	無し

ERROR 8124

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	S1000
Error Message	シンボルもう定義された
引数	無し
解説	無し

ERROR 8125

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	入力/出力ファイルを開けません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8127

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	レスファイルが閉じれません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8128

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	無効な十進データタイプ。正確なのはDECIMAL(p, s, double)です
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 8129

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	SELECT ... INTO ...構文がサポートできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8130

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	違法なbreak文
引数	無し
解説	無し

ERROR 8131

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	違法なcontinue文
引数	無し
解説	無し

ERROR 8132

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	S1000
Error Message	重複なカラム定義
引数	無し
解説	無し

ERROR 8133

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	複数な結果セットを返すことをサポートしません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8134

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	カーソルが閉じています
引数	無し
解説	無し

ERROR 8135

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	カーソルを閉じません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8136

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	臨時なカーソルではありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8137

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	カーソルの無効なカラム名
引数	無し
解説	無し

ERROR 8138

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	ストアドプロシージャが見つかりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8139

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	ストアドプロシージャの引数番号或いはタイプがマ

	タッチしません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8140

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	レベル名がマッチしていません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8141

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	多すぎる条件
引数	無し
解説	このエラーはストアドプロシージャで128以上の異なるコンディションが定義された際に発生します。無し

ERROR 8142

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	無効なSQLSTATE値
引数	無し
解説	無し

ERROR 8143

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	宣言されない条件名
引数	無し
解説	無し

ERROR 8144

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	無効なデータタイプ。正確なのはCHAR又はVARCHARです
引数	無し
解説	無し

ERROR 8145

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	多すぎる準備句
引数	無し
解説	このエラーはストアードプロシージャで128以上の異なるプリペアードステートメントが定義された際に発生します。

ERROR 8146

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	S1000
Error Message	準備されない
引数	無し
解説	無し

ERROR 8147

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	分配を解除されません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8148

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	動的なカーソルが準備できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8149

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	戻ったカーソルが閉じれません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8150

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	ストアドプロシージャに戻りカーソルがない或いは 戻りカーソルが開けません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8151

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	プロシージャを作成する場合定義したRETURNS リ ストがありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8152

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	変数はナンバーではありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8153

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	S1000
Error Message	表現に変数タイプがマッチしません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8154

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	表現に無効な操作
引数	無し
解説	無し

ERROR 8155

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	無効なdatetimeフォーマット
引数	無し
解説	無し

ERROR 8156

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	識別子の総合長さは最大長さを超えます
引数	無し
解説	無し

ERROR 8157

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	識別子が規則でなければなりません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8158

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	初期値と変数タイプがマッチしていません
引数	無し
解説	無し

ERROR 8159

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	複数の引数が指定できません
引数	無し
解説	無し

4.25 エラーメッセージ 8325-8349**ERROR 8325**

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY019
Error Message	評価中に結果がオーバーフローしました
引数	無し
解説	結果がデータ型の最大値を超えました。

ERROR 8326

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY019
Error Message	評価中に結果がアンダーフローしました
引数	無し
解説	結果がデータ型の最小値よりも小さくなりました。

ERROR 8327

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	22012
Error Message	ゼロで除算しています
引数	無し
解説	0（ゼロ）で割ろうとしました。

ERROR 8328

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS_WITH_INFO
ODBC SQLState	01004
Error Message	評価中に結果データが切り捨てられました
引数	無し
解説	評価を行っている際に結果データが切り捨てられま

	した。
--	-----

ERROR 8329

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	カラムのデータ型に互換性がないので、データ型を変換できません
引数	無し
解説	データ型が表のカラムのデータ型と互換していません。

ERROR 8330

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	複数索引キーを作成するのに必要なメモリが多すぎます
引数	無し
解説	指定した条件リストのサイズは、多重索引検索キーを構築するには大きすぎます。
対策	多重索引検索キーを構築する条件リストのサイズを減らします。

⇒ 例

```
SELECT col1 FROM table1 WHERE col1 IN (1, 3, ...,99999);
```

多重索引検索キー (1, 3, 5,,99999)の個数は、DBMasterのシステム制限をオーバーします。

ERROR 8332

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	式や述語が必要とするメモリが大きすぎます
引数	無し
解説	式または述語があまりにも多くの比較メモリを必要とします。DBMasterのシステム制限を越えています。
対策	条件を評価する際の式または述語のサイズを減らします。

ERROR 8333

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	式や述語の定数が大きすぎます(64KBを超える)
引数	無し
解説	式/述語の定数データが大きすぎます(64KBを超えています)。

☞ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE c1=DATA;
```

DATAは、64 KBを超える非常に長い文字列です。

ERROR 8334

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	式や述語のホスト・データが大きすぎます(64KBを超える)
引数	無し
解説	式/述語のホスト・データが大きすぎます(64KBを超えています)。

⇒ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE c1=?;
```

64 KBを超える非常に長い文字列のホスト・データ。

ERROR 8335

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	式や述語のキーデータが大きすぎます(64KBを超える)
引数	無し
解説	式/述語の索引データが大きすぎます(64KBを超えています)。

⇒ 例

```
SELECT * FROM t1 WHERE c1=DATA;
```

DATAが64 KBを超える非常に長い文字列の場合に、c1カラムで索引スキャンを行いました。

ERROR 8336

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	内部変換中にchar/binaryのデータが切り捨てられました

	た
引数	無し
解説	文字とバイナリの間でデータ変換を行うときにデータが切り捨てられました。あるいは、アイテム間のサイズが異なるため互いのデータが切り捨てられました。
対策	サイズの異なる文字／バイナリ間のデータ転送を止めます。

ERROR 8337

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	23000
Error Message	表制約に反しています
引数	無し
解説	表制約に適合していません。

ERROR 8338

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	23000
Error Message	カラム制約違反が発生しました
引数	カラムが違反している引数
解説	カラム制約違反が発生しました。

ERROR 8340

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	内部関数のホスト引数としてBLOB型は使えません
引数	無し
解説	組み込み関数で、ホスト引数にBLOBデータ型を使うことはできません。

ERROR 8341

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	関数の引数が範囲外か無効な値です
引数	無し
解説	組み込み関数の引数の値が正しくありません。
対策	適正な値を与えて関数を再度呼びます。

ERROR 8342

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ホスト変数の式/述語にはNULL値は認められません
引数	無し
解説	式/述語のホスト・データにはNULLデータを使えません。

例

```
dmSQL> UPDATE t1 SET c1 = 2 WHERE c2 = ?;
dmSQL/Va1> NULL
```

ERROR 8344

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	ホスト変数の式/述語では初期設定値が認められません
引数	無し
解説	式/述語のホスト・データには初期設定データを使えません。

☞ 例

```
dmSQL> UPDATE t1 SET c1 = 2 WHERE c2 = ?;  
dmSQL/Va1> DEFAULT
```

ERROR 8345

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	MATCHパターンが無効です
引数	無し
解説	パターンに無効な条件演算子 (a & b) 、 ((a b)) があるか、パターン長が長すぎます。

ERROR 8346

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データ型間で互換性がないのでCAST変換できません
引数	無し
解説	型のCAST変換オペレーションの互換性についてはDBMasterマニュアルを参照してください。

ERROR 8347

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ソースデータが無効なのでCAST変換できません
引数	無し
解説	ソースデータの形式が正しくありません。或いは有効値の範囲外です
対策	データソースの正しい形式と有効値を確認して下さい。

ERROR 8348

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	式インデックスカラムのホストデータが長すぎます。（256バイトを超過）
引数	無し
解説	無し

ERROR 8349

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	インデックスキーの全体の長さが最大長（4000バイト）を超えています
引数	無し
解説	無し

4.26 エラーメッセージ 8401-8410

ERROR 8401

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	Java2ランタイム環境が見つかりませんでした
引数	引数なし
解説	DBMasterは、システムでJava 2ランタイム環境を見つけることができませんでした。

ERROR 8402

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	JVMが見つかりませんでした
引数	引数なし
解説	DBMasterは、システム上にJava仮想マシンを見つけることができませんでした。

ERROR 8403

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	JVMをロードできませんでした
引数	引数なし
解説	DBMasterは、システムでJava仮想マシンをロードできませんでした。

ERROR 8404

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	JVMのバージョンの互換性がありません
引数	引数なし
解説	システムのJava仮想マシンバージョンは、Javaツール要件と互換性がありません。

ERROR 8405

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	JVMの作成に失敗しました
引数	引数なし
解説	アプリケーションを起動するとき、Java仮想マシンの作成に失敗しました。

ERROR 8406

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	JVMへのカレントスレッドのアタッチに失敗しました
引数	引数なし
解説	Java仮想マシンに現在のスレッドを添付できませんでした。

ERROR 8407

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	GetCreatedJavaVMを呼び出せませんでした
引数	引数なし
解説	GetCreatedJavaVMコマンドを呼び出している間に、エラーが発生しました。

ERROR 8408

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	JNIインターフェースが見つかりませんでした
引数	引数なし
解説	Javaネイティブインターフェイスをロケートしている間に、エラーが発生しました。

ERROR 8409

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	JVM GetEnvから不明なエラーが返されました
引数	引数なし
解説	Java仮想マシンコマンドGetEnvから不明なエラーが発生しました。

ERROR 8410

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	jvm.cfgをオープンできませんでした
引数	引数なし
解説	jvm.cfgを開けませんでした

4.27 エラーメッセージ 9150-9899

ERROR 9150

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	S1000
Error Message	エラーはシステムコール中に発生しています
引数	無し
解説	無し

ERROR 9500

Error Message	メモリが足りません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9600

ODBC Return Code	SQL_SUCCESS
ODBC SQLState	Null
Error Message	テープドライブにテープがありません。
引数	無し
解説	無し

ERROR 9601

Error Message	dmSQL構文エラー
引数	無し
解説	無し

ERROR 9602

Error Message	カラムと値がマッチしません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9603

Error Message	サポートしません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9604

Error Message	ここに整数になるべきです
引数	無し
解説	無し

ERROR 9605

Error Message	ここにフロートになるべきです
引数	無し
解説	無し

ERROR 9606

Error Message	ここに文字列になるべきです
引数	無し
解説	無し

ERROR 9607

Error Message	ここに図になるべきです
引数	無し
解説	無し

ERROR 9608

Error Message	ファイルが開けません：
引数	無し
解説	ファイルが存在しませんので、開けません

ERROR 9609

Error Message	ファイルを書き入れるエラー
引数	無し
解説	無し

ERROR 9610

Error Message	ファイル名が長すぎる
引数	無し
解説	無し

ERROR 9611

Error Message	ファイルの最後に至る
引数	無し
解説	無し

ERROR 9613

Error Message	値が範囲以外になる
引数	無し
解説	無し

ERROR 9614

Error Message	スクリプトファイルのハンドルはオーバーフローです
引数	無し
解説	無し

ERROR 9615

Error Message	dmSQL内部エラー
引数	無し
解説	無し

ERROR 9617

Error Message	接続ハンドルはオーバーフローです
引数	無し
解説	無し

ERROR 9618

Error Message	無効な接続ID
引数	無し
解説	無し

ERROR 9619

Error Message	データベースに見つけません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9620

Error Message	接続ハンドルは使用中
引数	無し
解説	無し

ERROR 9621

Error Message	今の使用が接続しません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9622

Error Message	完了しないコマンドのEOF
引数	無し
解説	無し

ERROR 9624

Error Message	間違った番号或いは範囲以外
引数	無し
解説	無し

ERROR 9625

Error Message	間違った文字列或いはマッチしません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9626

Error Message	文字列は長すぎて、無視になる
引数	無し
解説	無し

ERROR 9627

Error Message	設置は無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 9628

Error Message	コマンドがここに許せません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9629

Error Message	値のリスト構文エラー
引数	無し
解説	無し

ERROR 9631

Error Message	パスは存在しません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9632

Error Message	完了しないコメント
引数	無し
解説	無し

ERROR 9634

Error Message	指定したデータタイムが無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 9635

Error Message	指定したデータタイムが無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 9636

Error Message	ファイルが存在した
引数	無し
解説	無し

ERROR 9637

Error Message	コマンドが長すぎて、省略されます
引数	無し
解説	無し

ERROR 9638

Error Message	Blobソースファイルが一致しません、値のステートから終了します
引数	無し
解説	無し

ERROR 9639

Error Message	セーブポイントがなく、セーブポイントを再利用してワークをコミットします
引数	無し
解説	無し

ERROR 9640

Error Message	アンロードの場合、コマンドを許せません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9641

Error Message	アンロードの場合、コマンドをサポートしません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9642

Error Message	無効なhexフォーマット
引数	無し
解説	無し

ERROR 9643

Error Message	一時ファイルを作成できません；ディスク書き入れる権限をチェックしてください
引数	無し
解説	無し

ERROR 9644

Error Message	Isql機能はここに使用できません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9645

Error Message	Init Heapエラー
引数	無し
解説	無し

ERROR 9646

Error Message	Init isql Envエラー
引数	無し
解説	無し

ERROR 9647

Error Message	エラーを起こす前の状態
引数	無し
解説	無し

ERROR 9648

Error Message	行セットのサイズを超えません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9649

Error Message	データ構造を追加する場合のxdci内部エラー
引数	無し
解説	無し

ERROR 9650

Error Message	無効なハンドル或いは接続失敗
引数	無し
解説	無し

ERROR 9651

Error Message	無効なブロック区切り
引数	無し
解説	無し

ERROR 9700

Error Message	コマンドをロードする前ワークをコミットします
引数	無し
解説	無し

ERROR 9701

Error Message	トランザクション（コマンドをロード前）が存在するとロールバックする
引数	無し
解説	無し

ERROR 9702

Error Message	ロードするコマンドがロールバック
引数	無し
解説	無し

ERROR 9703

Error Message	コマンドをロードする中にワークをコミットする
引数	無し
解説	無し

ERROR 9704

Error Message	システムオブジェクトをアンロードできません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9705

Error Message	ユーザーテーブルが見つけません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9706

Error Message	バックアップするジャーナルファイルがありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9707

Error Message	DBA或いはプロジェクト所有者だけはプロジェクト/ モジュールをロード/アンロードできます
引数	無し
解説	無し

ERROR 9708

Error Message	DBA或いはプロジェクト所有者だけはプロジェクト/ をロード/アンロードできます
引数	無し
解説	無し

ERROR 9709

Error Message	結果は終了する
引数	無し
解説	無し

ERROR 9710

Error Message	データがありません
引数	無し
解説	無し

ERROR 9711

Error Message	エラーが起こすと、スクリプトコマンドの実行が終了
引数	無し
解説	無し

ERROR 9712

Error Message	エラーが起こすと、スクリプトコマンドの実行が終了、トランザクションがロールバック或いはコミットされる
引数	無し

ERROR 9713

Error Message	ブロック区切りは長すぎて、切り捨てます
引数	無し
解説	無し

ERROR 9899

Error Message	無効な文字を無視になります
引数	無し
解説	無し

5 中止エラー・メッセージ

この章は、DBMasterで起きるかもしれない中止エラー・メッセージの全てのリストです。中止エラー・メッセージは、実行トランザクションがなんらかの予期せぬ状態によって中断したことを意味します。トランザクションの操作によっては、トランザクションを中止するような問題に遭遇するかもしれません。エラーの解説は、エラー・メッセージに表示されます。トランザクションを再開する前に、トランザクションやデータベース設定に修正が必要です。

5.1 中止メッセージ 10105-18065

ERROR 10105

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY001
Error Message	メモリ不足によりトランザクションが削除されました
引数	無し
解説	オペレーティング・システムのメモリ不足により、トランザクションがアボートされました。
対策	使用していないプロセスを停止するか、メモリを追加します。

ERROR 10107

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY001
Error Message	アクティブトランザクションが他のプロセスによって中断されました
引数	無し
解説	ユーザーはABORT CONNECTIONコマンドを実行する際に当該警告メッセージが戻されます。

ERROR 10329

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	BLOBデータの書込みエラーのため、トランザクションをロールバックします
引数	エラー・ソース・メッセージ
解説	最初にBLOBがデータを問題なくPUTした場合、次回データをPUTする際のエラーは全てこのエラーに替わります。この処理は、全てのトランザクションをロールバックし、実際のエラーがそれに付随します。

ERROR 10851

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルに無効な値があります
引数	無効な値、キーワード、有効な値の範囲

解説	dmconfig.iniファイルのキーワードに無効な値があります。
対策	各キーワードの有効パラメータ値の範囲については、「データベース管理者参照編」を参照してください。

ERROR 11011

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有メモリにアクセスする際にエラーが発生しました
引数	無し
解説	共有メモリを割当てる際か、マッピングする際にエラーが発生しました。
対策	データベースを終了し、再起動します。

ERROR 11016

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	内部のsavepointがありません、トランザクションはエラーのためロールバックしました
引数	無し
解説	内部セーブポイントの定義が見つけれられなかったSQL内部エラー、あるいはput BLOB上のエラー

ERROR 11206

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルを生成/オープンできません
引数	ファイル名
解説	接続しようとするデータベース・ファイルを探し当てることができません。
対策	dmconfig.iniに指定されているファイルのパスが正しいことを確かめます。

ERROR 11207

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルをクローズできません
引数	ファイル名
解説	無し

ERROR 11208

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルを読み取れません
引数	ファイル名
解説	オペレーティング・システムに内部エラーの可能性 があります。

ERROR 11209

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ファイルの書き込みができません。ディスクが一杯、または書き込み保護になっていないか確認します。
引数	ファイル名
解説	オペレーティング・システムに内部エラーの可能性があります。

ERROR 11210

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルの使用が拒否されました
引数	ファイル名
解説	このファイルへのアクセス権があるかを確認して下さい。

ERROR 11211

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ディスク又はquotaの容量がありません
引数	ファイル名
解説	ディスクが一杯です。ディスク領域を空けるために不要なファイルを削除して下さい。

ERROR 11212

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	オープン・ファイルの数が多すぎます
引数	ファイル名
解説	使用していないファイルを閉じてください。又はオープンするファイルを数を最大まで拡大するためにシステムの環境設定を行って下さい。

ERROR 11213

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイル又はディレクトリが存在しません
引数	ファイル名
解説	正しいファイル/ディレクトリ名を入力したかどうか確認して下さい。

ERROR 11214

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルの同期を行っているときにファイル・システムエラーが発生しました
引数	ファイル名
解説	オペレーティング・システムに内部エラーの可能性あります。

ERROR 11215

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	ファイル内の位置を探索中にファイル・システムエラーが発生しました
引数	ファイル名
解説	ユーザの操作システムは内部エラーが起こす

ERROR 11217

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルの切り捨て操作時にファイル・システム・エラーが発生しました
引数	ファイル名
解説	オペレーティング・システムに内部エラーの可能性 があります。

ERROR 11218

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	引数が正しくないのでファイル・システムエラーが 発生しました
引数	ファイル名
解説	オペレーティング・システムに内部エラーの可能性 があります。

ERROR 11219

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000

Error Message	読み取り又は書き出しに有効なファイル・ハンドル ありません
引数	ファイル名
解説	オペレーティング・システムに内部エラーの可能性 があります。

ERROR 11220

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ファイルサイズのリソース制限のためファイルを作 成できません
引数	ファイル名
解説	ファイルシステム形式の最大ファイルサイズを超え るファイルを作成しようとすると、失敗します。

ERROR 11221

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	zipファイルのオープン/クローズエラー
引数	ファイル名
解説	zipファイルのオープン/クローズエラー

ERROR 11222

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	zipファイルの読み取り/書き込みエラー

引数	ファイル名
解説	zipファイルの読み取り/書き込みエラー

ERROR 11311

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナルが一杯です： トランザクションが取消されました
引数	無し
解説	アクティブ・トランザクションが多すぎジャーナルの使用可能領域が無くなったために、ユーザーのトランザクションがアボートされました。アボートされたトランザクションの全てのオペレーションは失われます。
対策	NONBACKUPモードのシステムでは、トランザクションのオペレーション数を減らすべきです。あるいは、ジャーナル・ファイルのサイズを変更することができます（変更方法については、Error 1310を参照）。 BACKUPモードのシステムでは、完全バックアップまたは増分バックアップを実行する必要があります。

ERROR 11312

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リカバリ時に有効なジャーナル状態ブロックがありません

引数	無し
解説	クラッシュしたデータベースをリカバリしようとしたが、ジャーナル・ファイルに正しいジャーナル・ステータス・ブロックがありません。
対策	正しいジャーナル・ファイルの組を与えてクラッシュ・リカバリが完了できるようにします。クラッシュ・リカバリは、有効なジャーナル・ファイルが無いと失敗します。

ERROR 11314

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	無効なページが多すぎるためにデータベースをリカバリできません
引数	無し
解説	クラッシュ後にデータベースをリカバリしようとしたが、あまりにも多くの無効なページがデータベースにあり、リカバリできませんでした。クラッシュ・リカバリを実行するときにデータベース・ファイルを間違えたために起こったエラーかもしれません。
対策	正しいデータベース・ファイルを使用してクラッシュ・リカバリしたことを確かめます。正しいデータベース・ファイルを使用して出たエラーであれば、バックアップ・データファイルを使用することができます。あるいは、強制起動を試みることができます。バックアップ・データファイルを使用すると、バックアップを取った後に入力したデータでジャーナルから掃き出されたトランザクションのデータは

全て失われます。それでもデータベースを起動することができないときは、CASEMaker社のサポート員に相談してください。

ERROR 11315

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リカバリ中に無効なページが見つかりました
引数	無し
解説	リカバリ中、DBMasterは修復不可能なページを発見しました。DMERROR.LOGで詳細を確認してください。。
対策	正しいデータベース・ファイルを使用してクラッシュ・リカバリしたことを確かめます。正しいデータベース・ファイルを使用して出たエラーであれば、バックアップ・データファイルを使用することができます。あるいは、強制起動を試みることができます。バックアップ・データファイルを使用すると、バックアップを取った後に入力したデータでジャーナルから掃き出されたトランザクションのデータは全て失われます。それでもデータベースを起動することができないときは、CASEMaker社のサポート員に相談してください。

ERROR 11421

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	40001
Error Message	デッドロック： トランザクションをロールバックします

引数	無し
解説	トランザクションは、デッドロックを引き起こしたのでアボートされました。デッドロックを回避する方法については「データベース管理者参照編」をご覧ください。

ERROR 11424

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	40001
Error Message	索引ノードのデッドロック：トランザクションロールバック
引数	無し
解説	トランザクションは、索引ノードのデッドロックを引き起こしたのでアボートされました。ユーザーはこのエラーが見えません、このエラーはERR_DEADLOCKにマップされます。

ERROR 11604

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データ/索引ページに無効なデータがあるので、トランザクションをロールバックします
引数	無し
解説	データベース・ファイルが損傷しています。トランザクションがロールバックしました。

ERROR 11605

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	損傷ページの取得 : ページ最後のtimestampとページ・ヘッダのtimestampが一致しません。トランザクションをロールバックします。
引数	無し
解説	データベース・ファイルが損傷しています。トランザクションがロールバックしました。

ERROR 13007

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	重大なエラーのためにチェックを続行できません。トランザクションは取消されました
引数	無し
解説	重大なエラーのために、DBCCはチェックを中止し、トランザクションは取り消されました。

ERROR 16209

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	リモート接続エラーのために分散トランザクションが中止されました
引数	txエラーを引き起こしたリモート・データベースの解説。

解説	リモート接続エラーによって分散トランザクションは中止されました。
----	----------------------------------

ERROR 18065

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	unicodeマップ配列を初期化できません。それはメモリが不足しているか、あるいはコードページ・ファイルを読むことができないからです。
引数	無し
解説	unicodeコードページ・ファイルが見つからないかあるいは壊れています。 unicodeマップ配列を初期化するとき、システムはメモリを使い果たしました。

6 切断エラー・メッセージ

この章は、DBMasterで起こりえる切断エラー・メッセージの全てのリストです。切断エラー・メッセージは、トランザクションの実行がなんからの予期せぬ状態によって中断されたことを意味します。トランザクションの操作によっては、トランザクションを中止し、データベースへの接続を閉じるような問題に遭遇するかもしれません。エラーの解説は、エラー・メッセージに表示されます。データベースに再接続し、トランザクションを順調に完了するために、トランザクションやデータベース設定を修正します。

6.1 切断メッセージ 20901-21012

ERROR 20901

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースが中断されました
引数	無し
解説	使用中のデータベースが他のユーザーによって終了させられました。
対策	権限をもっているならばデータベースを再起動することができます。あるいは、何故データベースが終了したのかをシステム管理者と相談します。

ERROR 20904

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	共有メモリが無効です。共有メモリは他のアプリケーションが使用しているか、内部エラーが発生しました。
引数	無し
解説	DCCAに割当てられた共有メモリをアクセスしようとしたが、他のアプリケーションプログラムが最後DCCAメモリをアクセスしたときの内部エラーによってDCCAメモリが変更されています。
対策	データベースを再起動します。

ERROR 20906

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続は中止されました
引数	無し
解説	他の処理が現在の接続を切断しました。

ERROR 20908

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーが接続していないか、すでに切断されています
引数	無し

解説	無し
----	----

ERROR 20911

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベース終了時に接続は中止されました
引数	無し
解説	データベース終了の際に接続が切断されました。

ERROR 20912

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	アプリケーション・プログラムとデータベース・サーバーのバージョンが違います
引数	二つの処理のバージョン (ENGからの情報)
解説	APとデータベース・サーバーのバージョン(又はクライアント/サーバー)が合致しません。

ERROR 20914

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レジストリ・ファイルが無い、またはオープンできません
引数	レジストリ・ファイル名
解説	DBMasterのレジストリ・ファイルが見つかりません。削除されたかもしれません。

ERROR 20915

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レジストリ・ファイルに無効なデータがあります
引数	無し
解説	DBMasterのレジストリ・ファイルのコンテンツが無効です。不正なファイルが指定されました。

ERROR 20916

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	接続数がユーザーのライセンス数を超過しています
引数	接続ユーザー数
解説	クライアント・ユーザーの総数が、システムで認められたユーザー・ライセンス数を超過しています。

ERROR 20917

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	レジストリ・ファイルに無効なシリアル番号があります
引数	無し
解説	無し

ERROR 20919

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	操作中に接続が中止されました
引数	無し
解説	データベース操作を実行中に接続が切断されました。

ERROR 21003

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ユーザーがBREAKキーで処理を中断しました
引数	無し
解説	無し

ERROR 21012

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースの共有メモリを解除する際にエラーが発生しました
引数	無し
解説	共有メモリを開放するときにエラーがありました。
対策	データベースを再起動します。

6.2 切断メッセージ 21521-25350

ERROR 21521

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08S01
Error Message	サーバーへのデータ送信ができません
引数	無し
解説	サーバーがクラッシュ、又はネットワークが切れました。

ERROR 21522

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08S01
Error Message	サーバーからのデータ受信ができません
引数	無し
解説	サーバーがクラッシュ、又はネットワークが切れました。

ERROR 21523

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クライアントへのデータ送信ができません
引数	無し
解説	クライアント・システムがクラッシュ、又はネットワークが切れました。

ERROR 21524

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	クライアントからのデータ受信ができません
引数	無し
解説	クライアント・システムがクラッシュ、又はネットワークが切れました。

ERROR 21525

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	キューがオーバーフローしているため、サーバーへのデータ送信ができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 21526

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	キューがアンダーフローしているため、クライアントからの受信ができません
引数	無し
解説	無し

ERROR 21527

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	要求するブロックが無効です
引数	無し
解説	無し

ERROR 21528

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	サーバーが処理をフォークできません
引数	無し
解説	処理を完了するのに充分ではありません。

ERROR 21529

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベース名とポート番号の設定が矛盾しています
引数	無し
解説	ポート番号AAAでXXXデータベースに接続しようとしてしまいましたが、ポート番号AAAにあるデータベースはYYYで、XXXではありません。

ERROR 21530

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	dmconfigファイルにキーワード(DB_PTNUM)の入力が

	必要です
引数	無し
解説	DB_PtNumキーワードが、dmconfig.iniファイルに定義されていません。

ERROR 21531

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ポート番号が無効です
引数	無し
解説	有効なポート番号は1025 - 65535 です

ERROR 22401

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ライセンスファイルが見つからないか開けません
引数	ライセンスファイル名
解説	DBMasterライセンスファイル損失または、削除された可能性があります

ERROR 22402

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ライセンスファイルに無効なデータがあります
引数	無し
例示	DBMaster ライセンスファイル内容が無効です。不正

なファイルです

ERROR 22403

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ライセンスファイルに無効なシリアル番号
引数	無し
解説	無し

ERROR 22404

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ライセンスファイルが両立しません
引数	無し
解説	無し

ERROR 22407

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	データベースサイズがライセンスの許容サイズを超えています
引数	無し
解説	ライセンスの許容ファイルサイズ超過

ERROR 22409

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	08S01
Error Message	無効なマシンid
引数	無し
解説	無し

ERROR 25350

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	08S01
Error Message	接続はすでに切断されていますが、データベースがシャットダウンされるまたはネットワークへの接続が失敗します
引数	無し
解説	このエラーは、クライアント/サーバー環境でのみ発生します。クライアントがサーバーに接続しようとして、そのサーバーが終了、又はネットワーク・ハードウェア接続問題が発生しました。

7 クラッシュ・エラー・メッセージ

この章は、DBMasterで起こりえる全てのクラッシュ・エラー・メッセージのリストです。クラッシュ・エラー・メッセージは、予期せぬ状態によってトランザクションの実行が中断したことを意味します。トランザクションの操作によっては、全ユーザーが保留しているトランザクションを全て中止し、データベースを終了しなければならないような問題に遭遇します。エラーの内容は、エラー・メッセージに表示されます。問題を解決するためにデータベースを再起動し、トランザクションを順調に完了するために、トランザクションやデータベース設定を修正して下さい。

7.1 クラッシュメッセージ 30001-30017

ERROR 30001

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナル・ファイルかデータ・ファイルが損傷されていますので、データベースを終了します。
引数	無し
解説	無し

ERROR 30002

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナルレコードに無効なデータがあるので、データベースをシャットダウンしてください
引数	無し
解説	無し

ERROR 30003

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナル・ブロックに無効なデータがあります。データベースを終了します。
引数	無し
解説	無し

ERROR 30004

ODBC Return Code	SQL_ERROR
ODBC SQLState	HY000
Error Message	ジャーナル・レコードのオフセット値が無効です。データベースを終了します。
引数	無し
解説	無し

ERROR 30017

ODBC Return Code	SQL_ERROR
------------------	-----------

ODBC SQLState	HY000
Error Message	非ジャーナル・モードでエラーが発生しましたが、データベースをシャットダウンしてください
引数	無し
解説	無し

